

ムトス飯田まちづくり 活動報告集



第32回ムトス飯田賞
華齡なる音楽祭実行委員会



第32回ムトス飯田賞
夢くらぶ



ムトス飯田

平成28年度
ムトス飯田推進委員会

「ムトス」という言葉は、広辞苑の最末尾の言葉「んとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味が込められており、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は、昭和57年3月に市が作成した「10万都市構想」において、理想とする都市像の実現に向けての行動理念・合言葉として「ムトス」を使用しました。

飯田市自治基本条例（平成19年4月1日施行）にも、まちづくりに進んで参加するムトスの精神について謳われております。「ムトス」を地域づくりの合言葉にして、私たち一人ひとりの心の中にある「地域を愛する想い、自分ができることからやってみよう」とする自発的な意志や意欲、具体的な行動をあらわし、住みよいまちづくりをめざしています。

ムトス飯田表彰事業は、「ムトス飯田の精神を広めるために役立ててください」という一市民の寄付が契機となり、昭和60年度に創設されました。以来、「ムトスの精神」が際立ち、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰してきました。この賞には、受賞者のムトスの活動をたたえ励ます気持ちと、受賞者の生き生きとした活動の姿が、私たち一人ひとりの秘めているムトスと呼び起こし、市民活動が発展していくことへの「期待」が込められています。ムトス飯田賞は、創設から今回の第32回までに、68団体と2個人に授与され表彰されております。

ムトス助成事業は、平成3年度からふるさと創生の1億円を基金として、公益的な地域づくり活動を支援するために、独創的で波及効果のある地域づくりの活動に対して助成事業を開始しました。毎年、団体・個人からの助成金申請に対して、会長（飯田市長）と各分野で活動する市民でつくる「ムトス飯田推進委員会」が審査し、ムトスの精神にふさわしい団体等に助成をしています。平成27年度までに443の団体・個人の活動を支援してきました。

飯田市のまちづくりは、多様な主体の協働により、団体や個人、NPO・NGO、各地区のまちづくり委員会などに支えられています。右肩上がりの時代が終わり社会経済が停滞し先が見えにくい状況の中、市民協働の広がりへの期待が大きくなってきています。市民を軸に、多様な主体が地域で連携して取り組む「結い」が、今後の飯田市のまちづくりには大変重要になります。

ムトス飯田推進委員会では、市民の皆様の活動状況を広く情報提供して、今後のまちづくりや協働の参考にしていただくよう、ムトス飯田に係る団体等を中心にした「活動報告集」を毎年発行しています。新たな繋がりや構築や連携、地域づくり活動の一助としていただければ幸いです。

この活動報告集を作成するにあたり、情報提供をいただきましたムトス飯田助成団体、歴代ムトス飯田賞受賞団体、まちづくり委員会等及びNPO法人の皆様をはじめ、ご協力いただきました方々に、深く感謝とお礼を申し上げます。

皆様のご活躍と、今後の更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。

平成29年2月

ムトス飯田推進委員会

— 目 次 —

I 第32回 ムトス飯田賞受賞団体のご紹介	ページ
・ 華齢なる音楽祭実行委員会	1
・ 夢くらぶ	2
II 平成28年度 ムトス飯田助成事業 助成団体活動報告	ページ
まちづくり・地域づくり応援事業	
・ NPO法人信州自然エネルギー研究会	3
・ ふれあいボランティアもみじの会	5
・ 虎岩の文化財を守る会	7
・ 華齢なる音楽祭実行委員会	9
・ 千代野外音楽祭実行委員会	11
・ NPO法人よつば	13
・ 天龍峡マルシェ実行委員会	15
・ 小沢川小水力発電事業体設立準備委員会	17
・ 中郷自治会	19
・ 橋南まちづくり委員会(ラベンダーによる香りのあるまちづくり)	21
・ 遠山郷やらまい会	23
・ ありんこカンパニー	25
・ 龍江四区地域づくり委員会	27
・ 天龍峡この指とまれ食プロジェクト	29
・ 「子どもに昔話を声で伝えよう」実行委員会	31
・ りんご並木に花を植える会	33
・ 下黒田東有志の会「繋(つなぎ)」	35
・ やきいも集会ともちつき会	37
・ 丸山まちづくり委員会(風越山麓わくわくプロジェクト)	39
・ 押出七二会	41
・ アクティブ座光寺	43
・ 羽場まちづくり委員会(サル去れ警備隊)	45
・ 羽場セントラルパーク愛護会	47
・ 千代河鹿がえるまつり実行委員会	49
・ つながる虹の会	51
・ いいださんぼ会	53
・ あんじゃーね遠山守り隊	55
・ シェアスペース“桜咲造”	57
多様な主体が連携する協働活動	
・ GARDEN4S(ガーデンズ)・amuse labo(高校生実行委員会)	59
・ 千代地区まちづくり委員会・上久堅地区まちづくり委員会	61

Ⅲ 市民活動団体のご紹介（情報提供いただいた団体）

1 ムトス飯田賞 受賞団体（受賞年度順）			ページ
・伊那史学会	平成元年度	第5回受賞	63
・飯田文化協会	平成3年度	第7回受賞	64
・伊那谷自然友の会	平成6年度	第10回受賞	65
・飯田市民吹奏楽団	平成8年度	第12回受賞	66
・飯田市連合婦人会	平成11年度	第15回受賞	67
・上飯田夕市グループ	平成12年度	第16回受賞	68
・飯田観光ガイドの会	平成12年度	第16回受賞	69
・朗読奉仕の会「声の輪」	平成13年度	第17回受賞	70
・飯田子ども劇場	平成13年度	第17回受賞	71
・ひさかた風土舎	平成14年度	第18回受賞	72
・黒田人形保存会	平成14年度	第18回受賞	73
・飯田交響楽団	平成15年度	第19回受賞	74
・科学工作教室推進研究会	平成16年度	第20回受賞	75
・竜丘自由学校	平成17年度	第21回受賞	76
・木沢地区活性化推進協議会	平成17年度	第21回受賞	77
・杵原学校応援団	平成20年度	第24回受賞	78
・おもしろ科学工房	平成21年度	第25回受賞	79
・麻績の里振興委員会	平成21年度	第25回受賞	80
・遠山山の会	平成22年度	第26回受賞	81
・社会医療法人栗山会 飯田病院	平成22年度	第26回受賞	82
・北方古老に聞く会	平成23年度	第27回受賞	83
・大宮通り桜保存会	平成25年度	第29回受賞	84
・南信州獅子舞フェスティバル実行委員会	平成26年度	第30回受賞	85
・長野県飯田OIDE長姫高等学校 高校戦隊テックレンジャー	平成26年度	第30回受賞	86
・地域ぐるみ環境ISO研究会	平成26年度	第30回受賞	87
・NPO法人 南信州おひさま進歩	平成26年度	第30回受賞	88
・天龍峡昭和乙女の会	平成27年度	第31回受賞	89
2 ムトス飯田助成事業 平成26、27年度の助成団体等			ページ
・キッズ山本大作戦推進委員会			90
・遠山郷観光協会			91
・春日二八会			92
・橋北面白倶楽部			93

3 まちづくり委員会等	ページ
・ 橋北まちづくり委員会	94
・ 橋南まちづくり委員会	95
・ 羽場まちづくり委員会	96
・ 丸山まちづくり委員会	97
・ 東野まちづくり会議	98
・ 座光寺地域自治会	99
・ 松尾地区まちづくり委員会	100
・ 下久堅地区まちづくり委員会	101
・ 上久堅地区まちづくり委員会	102
・ 千代地区まちづくり委員会	103
・ 龍江地域づくり委員会	104
・ 竜丘地域自治会	105
・ 川路まちづくり委員会	106
・ 三穂まちづくり委員会	107
・ 山本地域づくり委員会	108
・ 伊賀良まちづくり協議会	109
・ 鼎地区まちづくり委員会	110
・ 上郷地域まちづくり委員会	111
・ 上村まちづくり委員会	112
・ 南信濃まちづくり委員会	113

4 特定非営利活動法人（NPO法人）	ページ
・ あやめ	114
・ ニイハオ	115
・ みんなの手	116
・ 飯伊学生防犯対策支援協会	117
・ 七和の会	118
・ 南信州バイコロジー協会	119
・ 共に歩む会	120
・ ひなた	121
・ 南信州クラブ	122
・ 緑のそよ風	123
・ 飯田ブルーベリー振興会	124
・ おしゃべりサラダ	125

華齡なる音楽祭実行委員会

～ 高齢者と若者の協働による文化事業の推進 ～

高齢者社会と言われる現代。様々な分野、特に文化芸術においては、現役を終えた60歳を超えても尚現役で活躍している人々が多い。平成25年、出場資格60歳以上と言うユニークな音楽祭『華齡なる音楽祭』が始まった。

今年で4回目を数え、心配していた入場者数は700人を超えるまでになってきた。当初は有志の数名だった運営スタッフも長野県シニア大学飯伊学部のシニア大学生とそのOB、更に地元の高校生も加わり老若男女相まみえる中、この事業の推進力として大活躍。高齢者と若者の協働という素晴らしい世代間交流を自然に育んでいる。

出演者は生き生きとして参加しており、参加団体も県内外に広がりつつある。さらなる音楽祭の充実、世代間交流に挑戦していく。

- ◆代表者 福島 茂喜
- ◆発 足 平成25年度
- ◆会 員 50名



夢くらぶ

～ やりたいことをやりながら地域のために ～

「地域のメインストリートなのに伸びっぱなしの草とゴミ」

という地域の課題をきっかけに二人の男性が声を上げて発足し、すでに11年目。「道路清掃」や「献血奉仕活動」、「地域の防災用品のためのプルタブ収集」、「地域行事への協力」などの多種多様な活動を仲間とともに続けてきた。

形にとらわれず「やりたいことをやりながら」という発想ながら、活動が地域の仲間づくりや地域貢献につながっている。20代から70代までの幅広い世代が同じ活動を楽しみながら行っていることも魅力。

大きな活動ではないが地道に続けており、参加者が楽しく地域につながっていることが、会員を増やしつつ11年を迎えた理由だろう。

まさに「ムトス」から始まった活動。今後は楽しみである。



- ◆代表者 木下 武人
- ◆発 足 平成18年度
- ◆会 員 35名



取組名称	シジミの住める川の復活
団体名	特定非営利活動法人信州自然エネルギー研究会
代表者氏名	林 宗吉
地区名	龍江

取組みの目的	当NPO法人は、太陽光等自然エネルギーを利用した小規模発電事業、過度の化学肥料農薬に依存しない地域特質に適合した小規模農業等を行い中山間地域の振興に寄与することを目的としている。
具体的内容	当NPO法人が目指す農林事業と密接な関係を有す河川環境の改善に取り組む。環境標生物であるシジミの育成を通して環境学習をさらに収穫したシジミを通して食生活学習を実践して地域の人々と交流を図る。



説明 畑の片隅に整備したシジミ圃場



説明 県水産試験場のシジミ飼育槽



説明 シジミ圃場の手作り看板



説明 シジミ収穫祭

取組の経過	平成28年2月 ムトス申請 平成28年3月 シジミ圃場選定 平成28年5月～7月 圃場整備(畑の土を取除き川砂の投入 および周辺草刈り) 平成28年7月 ムトス助成団体交流会参加 平成28年9月 県水産試験場諏訪支場訪問学習、近所の川でシジミ採取 平成28年10月 県水産試験場シジミ圃場見学、近所の川にてシジミ採取 平成28年11月 シジミ学習会、シジミ収穫祭打合わせ、近所の川でシジミ採取 平成28年12月 シジミ収穫祭(新聞記者含めて22名参加)
取組の効果	1) 近所の川にてのシジミ採取を通して環境学習ができた。(シジミノ生育条件:水の清浄度、河川の底床、流速etc) 2) シジミ圃場を整備したことにより周辺部の雑草除去等により景観が改善された。 3) シジミ収穫祭では地域の人々が参加してくれて交流ができた。また同時にシジミ圃場隣の畑の無農薬サツマ芋収穫および焼き芋を行って収穫祭が盛り上がった。
今後の取組	1) 地域の中でシジミ生育可能な場所は複数あり、本事業の成功を見て他の地域内団体が同様の取り組みをする場合、アドバイスをしたい。 2) 昔の河川にはシジミだけでなく、カジカや沢蟹が棲息していた。これらも環境指標生物であり、今後の環境問題としてカジカや沢蟹の育成にも挑戦してみたい。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	160,420
	うち助成金(見込み)	126,000
主な経費内訳 (上位3項目)	視察・研修	82,490
	シジミ収穫祭	22,960
	広報	21,500

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ふれあい歌うボランティア
団体名	ふれあいボランティア もみじの会
代表者氏名	中島 茂
地区名	

取組みの目的	障がい者・高齢者の介護施設を訪問し、利用者さんと歌や踊りで交流し高齢者たちが元気で楽しく暮らせることを願うものです。
具体的内容	大正琴・ハーモニカ・音響機器による演奏で、懐かしい童謡・唱歌・抒情歌・歌謡曲などを諸施設の利用者さんと、手づくりの歌集をめくりながら一緒に歌う活動をしています。時には独唱やフラダンスなどを取り入れ、体操になるような簡単な踊りもメニューにしています。まだ活動経験は2年ぐらいで、同じようなメニューですが、要請依頼は29年度の12月まで予約が入っている状態です。活動実績は今年度の4月～11月の8か月で、訪問回数153回・会員の参加人数1093人・利用者さんとの交流人数延べ4225人となっています。



取組の経過	平成22年頃、歌の好きな人たちで定期的集まって歌いながら、ある地域に出て歌のボランティアをしたところ好評を受けました。しかし当時の会の運営に不満を感じた者たちで別途のボランティアグループ(もみじの会)を立ち上げ、今の様な活動をはじめたのです。以前はテレビによる「カラオケ」的なものでしたが、歌集をつくり大正琴・ハーモニカの演奏に合わせて、会員のリードと一緒に歌ってもらったら大変喜ばれたので、懐メロや歌謡曲など知っている歌を音響機器による音楽に合わせて唄うことで、一層皆様に喜んでいただけるようになったのであります。
取組の効果	1、訪問施設が予想よりはるかに多くて、予約なしでは訪問に応じられないほどになっています。2、利用者さんが喜んで私たちの活動内容を受け入れて頂き、同じメニューでも覚えた歌などを繰り返し歌って笑顔になり元気を出しています。3、施設の職員からも歓迎され、予約の日程を数か月ごとに計画されています。4、重度の利用者さんたちも顔の表情を変え、口ずさんだり身体を動かそうとして、とても良いリハビリ効果となっていると思います。
今後の取組	現在の活動内容を続けながら、更に利用者さん及び高齢者様に喜んでいただくために創意工夫し、体操的な踊りを増やすなど一緒に楽しめるメニューを研究して参りたいと思っています。それについては、楽器や音響機器の更新等の経費が課題となりますので、ご支援のほど宜しくお願い致します。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		236,846円
うち助成金(見込み)		90,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	音響機器代	203,860円
	衣裳代	18,188円
	印刷代	14,798円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	(飯田市有形文化財) 虎岩旧瀧澤医院周辺整備事業
団体名	虎岩の文化財を守る会
代表者氏名	池田 健一
地区名	下久堅

取組みの目的	飯田市有形文化財に平成20年指定されている虎岩の「旧瀧澤医院」は、平成26年滝沢瑞穂院長の死去により、その後管理者不在の状態となり、敷地内および家屋とも荒廃し、貴重な擬洋風病棟は暴走族のたまり場となり喫煙や時計塔窓ガラス破壊など蹂躪もあって存続が危惧されていた。所有者の委託により対応を市文化財担当者・下久堅まちづくり委員会・虎岩区で協議した結果、地元虎岩の有志により「虎岩の文化財を守る会」を立ち上げた。あわせて虎岩には天然記念物に指定された「嵯峨坂ざぜんそう自生地」もあり、草刈を中心とした周辺整備を行う。また見学者が訪れやすく安心して見学できるよう、道路からの案内看板や駐車場の設置、リーフレットなどの案内書を作成していく。
具体的内容	両文化財とも放置したままだと荒廃し失われる恐れがあって、常に人の手が加わる周辺環境整備として雑木の伐採や草刈りが欠かせない。昨年来、旧瀧澤医院では安全確保のため竹垣を施工、母屋座敷を大々的に大掃除して、障子はひさかた和紙で張替えるなど会員の拠点づくりをしてきた。それによって、昨年は下久堅公民館のひさかたウォーキングや今年30周年を迎えた飯田市のやまびこマーチの記念コースにも組み込まれ、285名もが参加。会員は接待に当たっていた。今年は活動に不可欠である駐車場造成をムス助成金を得て行うとともに、破損していた廊下の復元や、母屋玄関破風の屋根を復元している。また井戸で豊富に湧く飲み水を清頭i命水と命名、水質検査をクリアして活用を呼びかける一方、メインである大石垣や時計塔の景観向上のためケヤキやアラカシ・カキなどを伐採し、池に錦鯉を放した。嵯峨坂でも下部からの駐車場から遊歩道、観察用木道を整備し説明看板を移転設置している。



駐車場の基盤整備へ



母屋玄関屋根の破風復元作業



母屋屋根の補修作業



ムス助成金を得て完成させた駐車場

取組の経過	<p>6月 7日 ムトス助成金採択 (270,000円)</p> <p>6月26日 駐車場基盤整備 土止め用丸太搬入 梅古木など伐採整地</p> <p>7月 5日 広域農道からの案内表示設置 駐車場P看板設置</p> <p>7月20日 土止め用石積み石材・山砂搬入</p> <p>7月27日 石積み基礎掘削 丁張り</p> <p>7月29～30日 石積み工事 目地生コン充填</p> <p>8月 1日 駐車場盛り土土砂16台搬入</p> <p>8月 2日 山砂いれて整地作業</p> <p>8月 9日 砕石8台購入敷き均して駐車場完成</p> <p>8月14日 南信州新聞紙面に駐車場完成のニュース掲載</p> <p>8月21日 孟宗竹林整備・大石垣雑木伐採など周辺整備</p> <p>9月 4日 母屋玄関屋根の破風復元</p> <p>9月29日 玄関の間整備し資料等を展示</p> <p>10月12日 嵯峨坂駐車場砂利29台搬入敷き均し完成へ</p> <p>10月16日 ケヤキ・アラカシ等伐採</p> <p>12月18日 嵯峨坂ざぜん草自生地説明板下部へ移転再設置</p>
取組の効果	<p>○閉鎖され埋もれ朽ちていくばかりだった文化財が世に出て、下久堅ウォーキングコースや飯田市のやまびこマーチの記念コースにも組み込まれ、下久堅小学校では2学年の探検見学コースとして取り上げられ定例化、多くの人に知ってもらえるようになった。</p> <p>○幽霊屋敷だった母屋座敷の破れ障子をひさかた和紙で張替えることで、改めて地域の特産だった和紙の良さや価値を広めることができ、会員の交流親睦はもとより、市内歌会などの会場としても活用されるようになった。</p> <p>○雑木で覆われていた大石垣や鬱蒼と茂っていた孟宗竹林・柿などを伐採して城石積みの見事な景観を復元でき、メインである擬洋風病棟の時計台を半ば隠していたケヤキの大木や上部崖地のアラカシ等を伐採、訪れて写真を撮るカメラマンが増えている。</p> <p>○明治期の植栽以来の庭園内の庭木を大々的に整枝剪定し、高い石垣上には安全対策として竹垣をめぐらせ定期的に草刈り等に心がけてきたので景観上もすっきり整い、広い庭園内は会員の焼肉懇親会などにも活用されている。</p>
今後の取組	<p>○取り組みを継続するには、会員の確保維持が一番にあつて二番目には活動基金の確保がある。ここ数年の取り組みの印象から篤志寄付は期待できないので、ムトス助成金はもちろん県の元気づくり支援金なども積極的に活用していく。</p> <p>○旧瀧澤医院は擬洋風病棟ばかりでなく、大石垣から母屋と庭園、便所や土蔵や水場に加えて清頭翁が馬で往診したとされる明治期の馬屋や薬草園跡などすべての遺構に価値がある。今後可能なかぎり復元していきたい。将来史跡公園化を理想としている。</p> <p>○現在、電気が引かれていないため時計台の時計を始め様々なシステムが稼働しない。暴走族およ火災予防上も相応の対応が急がれる。</p> <p>○多くの人に知ってもらい価値を認識していただくには、茶会や展示会など母屋の活用を今後考えていく。</p> <p>○嵯峨坂ざぜん草自生地では花の時季が限られるため、遊歩道周辺を整備してササユリやワスレナグサなど憩いの観光地としての発展を目指す。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		1,029,000
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	案内看板代	388,800
	駐車場造成費	237,525
	整地用砂利代	99,618
	土止め石材・山砂	66,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	高齢者と若者の協働による文化事業の推進
団体名	華齢なる音楽祭実行委員会
代表者氏名	福島 茂喜
地区名	飯田市

取組みの目的

高齢者社会と言われる現代では様々な分野、特に文化芸術においては現役を終えた60歳をこえても尚現役で活躍している人々が多い。そんなことから出場資格60歳以上と言うユニークな音楽祭『華齢なる音楽祭』を企画実践している。連続4回開催しているが、出演者は生き生きとしていて観客も会場の鼎文化センター満席となる盛況ぶりである。そして、この運営スタッフには、長野県シニア大学飯伊学部のシニア大学生とそのOB、併せて地元の高校生が加わり老若男女相まみえるなか、この事業の推進力として大活躍である。シニア大学生と高校生、出演者と高校生がともに助け合いこのユニークな音楽祭が、高齢者と若者の協働という素晴らしい世代間交流が自然と生まれている。さらなる音楽祭の充実、世代間交流に挑戦。

具体的内容

代表福島茂喜の発想で彼の飯田高校の同期生が推進母体となり2013年にスタート。毎年4月に年間スケジュールを作成月1回平均の会議をもって推進している。音楽祭の開催時期は毎年9月中旬である。過去4回の開催状況は次のとおりである。

回数	出演資格	範囲	参加団体	観客数	運営スタッフ
第1回(2013年)	60歳以上	飯伊	12団体	600人	有志数名
第2回(2014年)	60歳以上	中南信	17団体	650人	有志+シニア+高校生
第3回(2015年)	60歳以上	県内外	16団体	700人	有志+シニア+高校生
第4回(2015年)	60歳以上	県内外	15団体	700人	有志+シニア+高校生

県内外からの評価も高く、日本国際童謡館館長で歌手の大庭照子さんは第3回の折、友情出演をしてくださった。



説明 演奏するアコーディオングループ



説明 華麗なフラダンスチーム



説明 高校生とシニア大生の受付



説明 満堂あふれる観衆

取組の経過	<p>第4回華齢なる音楽祭における会議等の経過</p> <p>4月25日 第1回実行委員会 タイムスケジュールの検討と決定。チラシ原稿検討。</p> <p>5月15日 第2回実行委員会 チラシ配布。広告・スポンサー募集。記者会見。</p> <p>6月20日 第3回実行委員会 出演者とりまとめ。前売り発売。</p> <p>7月4日 第4回実行委員会 ポスター配布。出演者と実行委員会合同会議。</p> <p>8月22日 第5回実行委員会 進行等詰めの会議。出演者合同会議。</p> <p>9月12日 第6回実行委員会 最終打ち合わせ。出演者合同会議。</p> <p>9月17日 第7回実行委員会 リハーサル。会場準備。</p> <p>9月18日 第4回華齢なる音楽祭 700人超の大観衆で大盛況だった。</p> <p>10月15日 第8回実行委員会 実行委員全員による総括会議。</p> <p>第5回華齢なる音楽祭を開催する方向で全員で確認する。それぞれの立場での頑張りがあり盛り上がった総括会議であった。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ●普通の音楽祭では高齢者のグループは若い団体の間で控えめであったが、この音楽祭では高齢者の出演者が主役で輝いている。 ●あまり大掛かりな宣伝もしていないのに、年々増える観客の数に驚きを禁じ得ない。このイベントの不思議な力を感じ世の中の人々に訴えるものがあるのかと感じる。 ●数名の有志で初めてイベントが、長野県シニア大学飯伊学部のシニア大学生地元の各高校の高校生がスタッフに加わったことで、実行委員会に活気ができスムーズな運営ができています。正に老若男女による協働のモデルではないかと思う。 ●音楽祭の出演者がバラエティーに富んだジャンルであるため、見る側としてもとても楽しめるステージが出来上がっていると思う。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●継続することが大切であると思っている。運営経費の捻出は色々工夫があるが、何としても継続することを第一義としたい。 ●運営スタッフ・出演者とも広く募集して何方でも係ることができるイベントにしたい。 ●年間スケジュールをその年の始めに決定することで、実行委員会の運営がやりやすくなっている。今後もこの方式を継承していきたい。 ●毎年同じ出演者でなくより多くの人に出てもらえる音楽祭にしたい。 ●第3回に友情出演をしてくれた日本国際童謡館館長で歌手の大庭照子さんが、2017年横浜港開港100周年事業の一つとして『華齢なる音楽祭IN横浜』を企画中であると聞く、実現すれば大変素晴らしいことで、開催には協力を惜しまないつもりである。このイベントが大きくなりぬりを起こしうる証のように感じる。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		1,050,000
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	会場費(鼎文化センター使用料)	192,400
	音響・照明等	364,000
	チラシ・ポスター・プログラム等印刷物等	257,000
	その他	236,600

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	千代野外音楽祭
団体名	千代野外音楽祭実行委員会
代表者氏名	森山 賢治
地区名	飯田市千代

取組みの目的	「千代野外音楽祭」として開催し、千代地区に関係する様々の音楽ジャンルのプロやセミプロの演奏を聴く機会とし、千代地区の地区民が音楽に楽しむ機会とすると同時に飯田下伊那地区の人達にも千代地区に来て頂き、地区を知ってもらい、交流する機会とする。又「学輪飯田」や「ワーキングホリデイ」などで千代地区を訪れる全国各地の人達にも呼びかけ参加してもらうことにより、「自然と人情と文化の豊かな千代」を、音楽を通して理解して頂く機会とする。
具体的内容	飯田市千代地区にある「野外ステージ」を会場に、飯田ウエーブ「ザ・ファイナル」の入賞者や千代地区にゆかりのあるミュージシャンに、様々なジャンルのミュージックシーンを演出して頂き、千代地区を訪れたことのない飯田下伊那の皆様や、「学輪飯田」や「ワーキングホリデイ」で千代地区に関わりのある皆様に、更には多くの千代地区民に、この音楽祭を通じて千代地区の良さを感得、又再確認して頂く、又飯田ウエーブに参加の皆様には出演、動員等のご協力をお願いし、援助して頂く。又多くの人達を動員する為に、楽しみの一環として、音楽＋仕掛け花火、打上げ花火、屋台の設営も行う。



説明

カラオケ&舞踊



説明

小沢あき子&関口郷子



説明

千代山村広場音楽観賞風景



説明

仕掛け花火

取組の経過	<p>3月19日 第2回千代野外音楽祭実行委員会設立 5月20日 第1回実行委員会 自己紹介、全体会 6月21日 第2回実行委員会 出演者選考、出演プラン作成 7月22日 第3回実行委員会 広報 チラシ、ポスター試作 8月19日 第4回実行委員会 全体会、最終打ち合わせ 8月21日 第2回千代野外音楽祭実施 第1部 カラオケ、バンド演奏 第2部 アマチア、プロによる演奏 歌手小沢あき子さん、司会千代ふるさと大使関口郷子さん 第3部 音楽+仕掛け花火、打上げ花火 会場には地区内、外約400名以上の観客、屋台の品も予定より早く完売、会場、ステージ一体となり盛大な音楽祭が出来ました。</p>
取組の効果	<p>この企画をきっかけに若い人と中高年の皆様との交流、地区民どうしの新たなつながりができました。又地元の「地域振興委員会」「くるみの会」「商工会千代支部」等に出店を協力して頂き、地区民にアピールできました。チラシ、ポスター等活用した結果地区外からの来客も多く千代を知って頂く機会となり、来年に向けての足掛かりとなりました。</p>
今後の取組	<p>○実行委員会の早期立ち上げ、(各区から選任し年齢層を幅広くする又女性委員を多く選任する) ○出演者の選任、(地元のアーティスト中心に様々なジャンルのアマチア、プロを選ぶ) ○集客、(実行委員を中心に各種団体との連携を強化し集客に努力する)</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		725,927
うち助成金		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	花火代	270,000
	音響、重機、発電機リース、ポスターチラシ代	257,360
	出演者謝礼	160,000
	その他	38,567

*活動写真を入れてください。

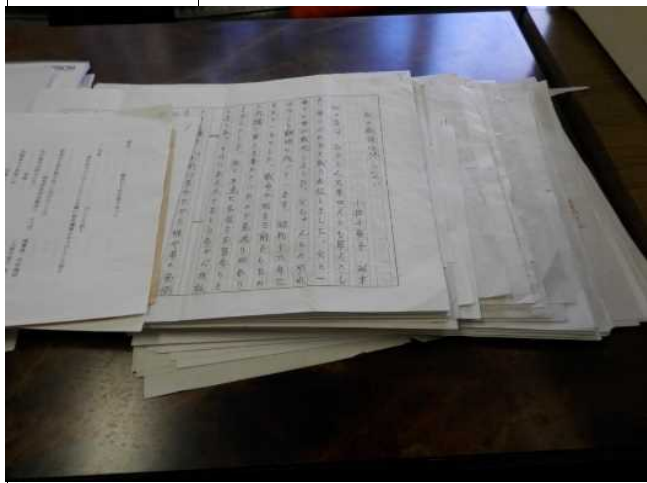
*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	戦後70年を振り返っての記念誌の発行
団体名	特定非営利活動法人 よつば
代表者氏名	理事長 今村隆昭
地区名	山本

取組みの目的	<p>戦後70年が過ぎ、戦争を知らない世代が圧倒的に多くなっている。戦争時代を生きてきた人たちは、戦争によって人生が大きく変わった人もおり、その苦しみや悲しみ更に悲惨さの証を後世に伝え、二度と戦争をしてはならないことを伝えたい。</p> <p>また高齢者のできる役割として、地域に何を残すか何をすべきかを考える。</p>
具体的内容	<p>「NPOよつば」に参加している人たちは、80～90歳近い方々であるため、戦争時代を生き抜いてきた人たちである。その尊い体験を歴史の証人として執筆してもらい、冊子にまとめ後世に伝えていく。</p> <p>書けない人は、無理をしないようにして聞き取りをしてまとめる。</p> <p>印刷部数は120部。</p>



取組の経過	<p>6月10日 ムトス助成金が交付されることについて報告</p> <p>6月17日 編集委員会立ち上げ</p> <p>6月24日 原稿用紙配布(締め切りを9月末まで)依頼</p> <p>9月23日 編集委員会(執筆状況確認)</p> <p>10月 7日 編集委員会(提出の無い方に督促)</p> <p>10月14日より11月11日まで聞き取り執筆</p> <p>11月25日 編集委員会(編集方法及び文書の校正)</p> <p>12月 2日 印刷発注先決定</p> <p>12月 9日 印刷発注</p> <p>2月10日 納品予定</p>
-------	--

取組の効果	<p>○執筆は自ら生きてきた人生の証であり、一つのまとめとなった</p> <p>○年をとり、書くことはほとんど無くなったが、書いてみれば自分自身の自信に繋がったと思う</p> <p>○軽度痴呆障害の方も、聞き取りにより協力してくれた</p> <p>○安全保障の論議が出ている中で、戦争は二度としてはいけないことや平和の尊さを確認できた</p>
今後の取組	<p>○完成後公民館、小中学校へ贈呈し平和学習に利用してもらう</p> <p>○2月19日開催の公民館大会の分科会(高齢期を支え合いと生甲斐持って)において、事例発表をする予定</p> <p>○今後飯田市全体に地域住民が高齢者を支える取り組みができることを期待(共助社会の構築)</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	368,000
	うち助成金(見込み)	243,000
主な経費内訳 (上位3項目)	パンフレット・案内図・冊子作成印刷	368,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	天龍峡マルシェ
団体名	天龍峡マルシェ実行委員会
代表者氏名	竹村公秀
地区名	天龍峡(川路・龍江)

取組みの目的	<p>落込んだ天龍峡を何とかしたい！ この思いを持つ内外の仲間が集まり、三遠南信自動車道の開通を再生のラストチャンスと位置づけて開催した。 将来的には飯伊の南に位置する市町村にも呼びかけ、天龍峡ICでの開催を目論む。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・担当国会議は月一回、部門委員会は必要の都度、その他実行委員会役員会等の開催によりきめ細かな徹底を図った。 ・テント市＝19店舗24ブース、地元野菜及び加工品、五平餅等食の提供、豊橋からヤマサちくわ、浜松から餃子等の提供(遠州からサンマ提供による試食含む) クラフト市＝66店舗66ブース、県内外から個人作家の創作品販売 ・イベント＝ミニSI運行、青空ギャラリー、地元龍神の舞、鈴岡太鼓他多数の出演 ・本部＝リンゴ甘酒サービス、リンゴ数あて、スタンプラリーなど実施



説明

龍神の舞



説明

賑わうテント市



説明

駐車場のクラフト市



説明

景気よく鈴岡太鼓

取組の経過	28年2月17日 今年度マルシェ素案作り(限定役員による) 28年3月23日 担当責任者会議(素案及び実行委員の決定) 28年4月19日 事務局会議 28年4月28日 担当責任者会議(催事の詳細内容決定) 28年5月10日 ムトス聞き取り 28年5月26日 実行委員会(企画・募集案内・チラシ等決定) 28年6月28日 実行委員会(交通整理・警備・誘客・チラシ等決定) 28年7月24日 ムトス飯田交流会 28年8月26日 担当者会議 28年9月28日 実行委員会全体会議(詳細事項徹底) 28年10月25日 担当責任者会議(詳細確認) 28年10月30日 南信州 天龍峡マルシェ開催 28年11月14日 反省会
取組の効果	出展者のアンケート・聞き取り結果とも全員が喜んでいて。来年もぜひ呼んでくださいとの声があり 関係者一同大成功と確信した ・昨年の反省を踏まえ、龍江・川路と分散していたのを一か所にまとめたのが成功要因 ・多くの女子高校生がボランティアで参加があった。生徒たちにも意義のあったことと思う。 ・三遠南信の交流が初めてできた。今後につなげたい。
今後の取組	目標はあくまでも「南信州 天龍峡マルシェ」の継続開催にあります。 反省会にも出たが、役員の若返り化を図る必要がある。また交通整理・警備等に多くの人数を必要とするが、いかに人数を工面するかも重要である。 多くの出展者や地元の人たちから「良かった・良かった」と喜ばれる当イベント、何としても継続しなくてはならない。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		787,710円
うち助成金(見込み)		270,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	催事費	210,000円
	宣伝費	

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	上村御膳プロジェクトの推進
団体名	小沢川小水力発電事業体設立準備委員会
代表者氏名	委員長 前島 衛
地区名	上村地区

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・上村の活性化は食から、をキーワードに、地域の食文化を活用した地域振興、地域活性化に資する食のおもてなし体制を構築すること、本物にこだわり食材、生産者、料理全てに地元を入れ込んだ上村地区の食の総称として上村御膳を育て上げる。 ・地区の古民家を活用して上村御膳を提供する拠点を構築し、上村に来なければ味わえない上村御膳を提供する体制を整える。ゆくゆくは、この拠点にとどまらず、地区内の誘客施設や誘客イベント等で提供していくオール上村体制での上村御膳提供を目指す。 ・オール上村体制で上村御膳を販売、提供していくにあたっての母体となる組織の設立を目指す。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・三角寿司をはじめ、開発したメニューをレシピ化し、上村御膳のメニューの調理方法について統一性を持たせていく。メニュー作成にあたっては、地域の伝統食に詳しい方からも調理方法等の情報提供をいただくなど、協力していただく。 ・昨年度招聘した専門家からのアドバイスを受けて、クルミやエゴマはもとより、伝統食マップで整理した地域の食材を活かした第二、第三段のメニュー開発を行う。 ・準備委員会と連携して、販売体制構築に向けたルール等、上村地区全体でプロジェクトを推進していく体制づくりに着手する。



説明 アドバイザーとの新メニュー開発検討



説明 夏の膳試食会(名城大フィールドワーク)



説明 「民宿このた」での実地研修



説明 ウォーキングイベントで提供した秋の膳

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回ミーティング(2016.6.22) 3月に実施した上村御膳お披露目会の振り返りと本年度の取り組みについて ・第2回ミーティング(2016.7.20) 3月に提供した冬の膳のレシピのとりまとめと夏の膳のメニューの検討 ・夏の膳の試食 名城大学経済学部井内尚樹教授ゼミのフィールドワークでの夏の膳の提供 ・第3回ミーティング(2016.9.13) 夏の膳の提供の振り返りとこれまで開発したメニューのとりまとめ ・第4回ミーティング(2016.10.17) 秋の膳の開発に向けた検討 ・秋の膳の提供(2016.11.13) 第二回遠山里倶楽部ウォーキングイベントでの秋の膳の提供 ・第5回ミーティング(2016.11.14) 秋の膳の提供の振り返りと「民宿このた」での新たなメニュー開発に向けた実地研修
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・今年3月に提供した冬の膳に続き、アドバイザーの有益なアドバイスによって、既にメニュー考案を行った三角寿司等を加えた夏の膳、秋の膳の開発が実現した。 ・実際に開発したメニューを、イベント等の機会を提供でき、今後のメニュー開発に向けた課題等を抽出することができた。 ・同じ遠山郷で、実際に地元の食材を活用して、来訪者に料理を提供している「民宿このた」での実地研修で、提供する側に喜ばれる、おいしい、と思わせる提供の仕方について研修ができた。 ・これまで考案したメニューのレシピ化について、専門家のアドバイスをもとに着手することができた。
今後の取組	<p>上村御膳を提供する事業体(組合や会社等)の設立 ⇒今後、販売していくにあたって発生する売上金の管理やプロジェクトを推進していくための母体となる組織化を目指します。</p> <p>オール上村体制での上村御膳プロジェクトの推進 ⇒現在上村地区で行われている遊休農地活用プロジェクトとも、地域おこし協力隊員の仲立ちで連携して、上村御膳の食材の地域内確保に努めつつ、地域の農家にも応援してもらえよう仲間作りを進めます。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	310,000円
	うち助成金(見込み)	189,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	アドバイザー招聘謝金	200,000円
	メニュー開発にかかる経費	

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	流宮岩(ながれみやのいわ)を活用した地域づくり (花桃の里整備事業)
団体名	中郷自治会
代表者氏名	自治会長 熊谷 金光
地区名	飯田市上村

取組みの目的	<p>中郷地区は、国道152号の沿線に位置しているにもかかわらず「素通りの中郷」といわれ、観光客が通過してしまっている。一昨年飯田美術博物館の坂本先生に依頼し、観光資源の発掘に取り組んできた結果、国道沿いある巨石が約2億年前の地層のかけらであると発見できた。非常に価値のある岩石であるため、この岩を活かした地域づくりに取り組み地域に元気を取り戻すことを目的に事業を実施した。</p> <p>昨年に引き続き、周辺及び対岸の斜面に花桃の苗を植栽し、花桃の里としての整備に取り組んだ。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○花桃の苗の植栽 ○巨石周辺の整備



説明

急傾斜地への植栽①



説明

急傾斜地への植栽②



説明

日頃の管理も怠りません



説明

熊?

取組の経過	5月14日 花桃の植栽(地区住民21名参加) 5月29日 巨石周辺の環境整備 7月 3日 流宮岩苔落とし作業 9月25日 流岩周辺整備作業 11月25日 今年最後の水やり
取組の効果	南アルプスがユネスコエコパークに登録された以降、遠山郷地域の新たな魅力が発信された年であり、全国ジオパークの見学コースにも選ばれ情報発信をすることが出来た。 さらにこの流宮岩は国道152号の沿線に位置するため目立ち、車をとめて見学するにも条件が良いことから、見学する人も数多く見受けられるようになり素通りの中郷と言われたが汚名を晴らすことが出来た。 地域住民が一丸となり植栽や周辺整備を行い“自分のこと”と捉え、地域を盛り上げて行こうという機運になった。 また、隣接する喫茶かみでは、岩をモチーフにしたクッキー“ロックッキー”を考案・販売するなど地区住民、事業所が一体となって取組ことができた。
今後の取組	巨石周辺及び対岸一体に花桃をさらに植え、環境整備を行う。また、四季を通じて楽しめるような環境づくりをしたいと考えています。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		38,770
うち助成金(見込み)		24,000
主な経費内訳 (上位3項目)	原材料費	38,770

*活動状況がわかる写真を入れてください。

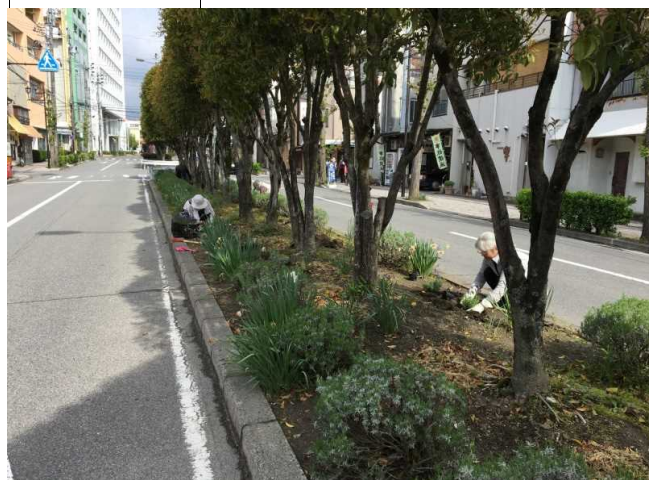
*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ラベンダーによる香りのあるまちづくり
団体名	橋南まちづくり委員会
代表者氏名	会長 原 勉
地区名	橋南

取組みの目的	<p>通り町の植樹帯にあるラベンダーは、平成20年度日本アロマ環境協会賞を受賞したもので、まちをラベンダーの色と香りで包み込み、中心市街地の活性化を目標としたものです。</p> <p>植樹後、7年以上を経過し、徐々に樹勢が弱くなってきているものもの見受けられることから、今回そういったものを更新し、色と香りを向上させたい。</p>
具体的内容	<p>樹勢の弱くなってきたラベンダーを更新し、色と香りを向上させ、中心市街地の活性化にも寄与します。</p> <p>植樹には、まちづくり委員会の会員だけでなく、道路を管理する土木課、通り町周辺の事業者、通勤路とする合同庁舎職員のみなさんと共同作業を行い、皆が協力して道路環境の維持向上を目指します。</p>



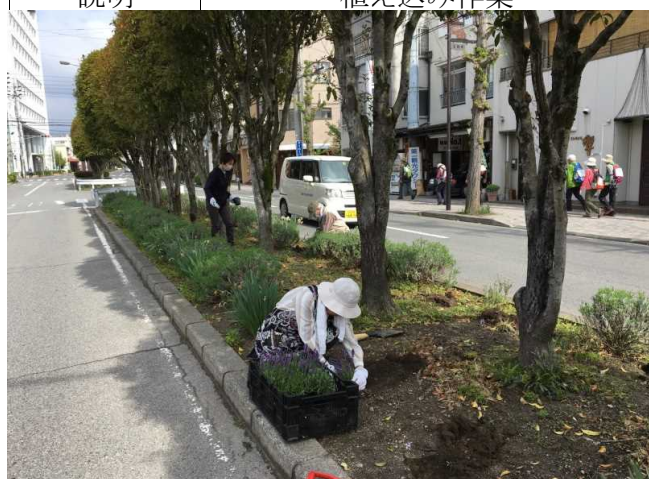
説明

植え込み作業



説明

植え込み作業



説明

植え込み作業



説明

開花

取組の経過	<p>4月24日(日)、橋南まちづくり委員会(環境委員会)役員、周辺住民有志ほかの参加をいただき、ラベンダーの植え込みを行った。</p> <p>その後、手入れ等により満開を迎える事ができた。</p> <p>満開後のラベンダーは、自由に摘み取っていただき、家庭等でそのまま、あるいはラベンダースティックなどに加工していただき、香りを楽しんでいただいている。また、7月17日(日)の橋南夏まつりにおいては、ラベンダー加工体験コーナーを設け、ラベンダーの加工体験を行っていた。</p>
取組の効果	<p>樹勢の弱っていたラベンダーを新しいものに更新したことにより、花の香りが強くなり、色も鮮やかになった。</p> <p>市街地を訪れる郡市民、観光客に大変喜ばれている。</p> <p>また、ラベンダー加工を体験していただいたことにより、ラベンダーの香りがただよふ家庭が増えている。</p>
今後の取組	<p>施肥、除草等の管理を継続していき、ラベンダーをもっと繁殖させていきたい。通り町の植樹帯にあり、肥料が少なく成長がおもしろくないため、施肥には特に注意していきたい。</p> <p>また、ラベンダー加工等を通じて、市民の交流も広げていきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		164,240
うち助成金(見込み)		114,000
主な経費内訳 (上位3項目)	ラベンダー苗	84,240
	作業用エプロン	80,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	秋葉街道・青崩峠 復旧・保全活動、ウォーキング大会
団体名	遠山郷やらまい会
代表者氏名	山崎 語
地区名	南信濃
取組みの目的	秋葉街道は塩の道(物流)、信仰の道として栄えた。また静岡県水窪町と南信濃とはかつて林業など同一経済圏であった。したがって街道の往来は頻繁であり、現在よりも交流が深かった。 三遠南信道の青崩峠トンネル工事が始まり、完成すれば南信濃と水窪間は7分で通行できるということらしい。便利になるが、旧秋葉街道は忘れ去られてしまう。 この歴史ある秋葉街道の難所であった青崩峠道をレクリエーションの場として後世へ残していきたい。安全確保のため、登山道整備を行い、多くのウォーキング参加者を募る。 人が通れば、道は残り、後世にも続いていく。 そのために年2回(春・秋)ウォーキング大会を開き、恒例としていきたい。
具体的内容	①登山道の整備。踏み板・手すりの補修。東屋の傾倒を正した。 ②急傾斜地の手すり・ロープを設置。 ③ウォーキング大会のチラシ・ポスターを制作。8月下旬から参加者募集開始。 ④コース看板の製作・設置。 ⑤参加者199名、スタッフ・サポート隊36名、合計235名。予想外の大盛況となった。



説明

遊歩道整備



説明

東屋の傾倒を補正



説明

ウォーキング大会出発式



説明

吊り橋を渡ってゴール

取組の経過	<p>3月31日 青崩峠古道下見(第1回)補修箇所など確認。 7月13日 青崩峠古道補修作業。 8月23日 南部建設事務所へ道路使用許可申請。 9月29日 第1回実行委員会(水窪と合同)。コースとエイド設置箇所の確認 10月13日 コース看板設置。 10月24日 第1エイドのしだれ桜剪定・施肥。コース看板矢印再塗装。 10月26日 実行委員会最終打ち合わせ。当日の役割分担を決定。 10月30日 ウォーキング大会実施。 11月4日 参加費収入および昼食代などの支出の精算(水窪にて) 12月22日 ウォーキング大会反省会 1月26日 次回(4月30日)へ向けての第1回企画会議</p>
取組の効果	<p>①峠道の安全を確保できた。 ②200名もの参加者を得て、将来に期待できる確信が持てた。 ③連携の輪が広がり、新たなコミュニティの拡大に期待できる。 ④浜松市(水窪町)との親交を深め、県境を超えたグローバルな視点を得ることができた。</p>
今後の取組	<p>秋葉街道・青崩峠道にはそこに住んでいた人々の歴史遺産もあり、中央構造線が並行していることから露頭や気の間もある。そうした場所の案内ができるガイドを養成し、ウォーキングだけでなく地元の歴史・文化や自然を紹介することによって参加者の好奇心を満たして、さらなる盛況を期待したい。そのことにより活動の幅を広げ、流入人口の大幅な拡大につながるよう頑張っていきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		417,500
うち助成金(見込み)		233,000
主な経費内訳 (上位3項目)	ポスター・チラシ・ワッペンなど印刷物	199,000
	看板制作費(設置も含む)	43,500
	マイクロバス使用料(燃料費含む)	79,000
	エイド記念スタンプ(原画制作、スタンプ台含む)	45,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ありんこパーク(子育て支援イベント)
団体名	ありんこカンパニー
代表者氏名	中山ひろみ
地区名	

取組みの目的	<p>・核家族が増え、少子化の現在、子育てに不安を抱く親も多くいる中、飯田市内での活動を行う事で、この地域に暮らしている親子が関わり、つながる事で孤立化を防ぐ一翼を担う事業をしたい。</p> <p>・かつて、市の子育て支援事業で行っていた『ふれあいポッポランド』のような、休日に家族と一緒に経験し日々の生活に生かせるようなイベントが必要だと感じた。</p>
具体的内容	<p>飯田市松尾公民館にて、概ね乳幼児から小学校低学年とその家族を対象に、家族と一緒に楽しめるプラ版キーホルダーや、箱車、カレンダーの作れるコーナーや、輪なげ、魚つりゲーム、絵本やお絵かきで遊べるコーナーを設置。</p> <p>11時からは「劇団桃屋☆ももや」によるおもしろいパフォーマンス クリスマス劇場も行いました。</p>



説明

スタッフ一同



説明

魚つりあそび



説明

箱車作り



説明

桃屋☆ももや

取組の経過	H28.3.16 ありんこカンパニー発足 H28.3.31 第1回打ち合わせ会 H28.4.4 第2回打ち合わせ会 H28.5.8 第3回打ち合わせ会 H28.5.11 市役所聞き取り会 H28.7.1 製作品準備第1回 H28.7.16 製作品準備第2回 H28.7.20 製作品準備第3回 H28.7.24 ムトス交流会参加 H28.8.20 製作品準備第4回 H28.9.6 チラシ製作 H28.10.3 製作品準備第5回 H28.10.21 製作品準備第6回 H28.10.25 製作品準備第7回 H28.11.14 チラシ配り H28.11.29 製作品準備第8回	H28.12.2 製作品準備第9回 H28.12.5 第4回最終打ち合わせ H28.12.11 当日イベント H28.12.25 報告書製作日
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシを見てイベントに参加してくれる人が多くいた ・製作コーナーだけでなく、おもちゃコーナーで遊ぶ人の姿も沢山あり、観劇も含めて楽しんでもらえた ・製作や遊びを通して関わりや、話をする事で新たな出会いがあり交流を深める事ができた ・飯田女子短大生、高校生、地域の方のボランティア参加により、多方面による地域間交流もできた 	
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ありんこパークを継続して開催していく ・今回の実施内容を基に、益々親子が一緒に楽しめる活動および、内容を充実させていきたい 	

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		251,600
うち助成金(見込み)		140,000
主な経費内訳 (上位3項目)	制作材料費	69,468
	チラシ印刷料	40,000
	出演者謝礼	20,000

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	龍江4区の元気を創造する活動
団体名	龍江四区地域づくり委員会
代表者氏名	藤本 義隆
地区名	龍江四区

取組みの目的	龍江4区で10回目を迎えるぼたる祭りは、地域一体となった祭りとして定着してきており、地域住民にさらに認知され、4区全体の3世代の住民が集えるお祭りとするべく、統一したユニホームを作成し実行委員の意識を高め、参加する住民の喜びを高めたい。 併せて、4区の元気を創造するために、地域の良さを見直す学習会を開催するとともに、150戸の地域に7つの神社が維持され、御柱や綱引き大会が行われていること、分校跡地が地域の財産として維持されていること、よりあい処「ぼたる」が地域住民の拠り所となっていることなどを広く知らしめるマップを作成する。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼたる祭りを区の地域づくり委員会が主体となる実行委員会主催としていく 参加予定団体としては、公民館・壮年の会・消防団。七和紅葉会・高齢者クラブ・NPO法人等を想定している 祭りで使用するハッピーとビブスを統一したデザインで作成する ・龍江4区自慢マップを作成する 地区の自慢できる施設などを記したマップを作成し、地域住民に配布するとともに、七和館の拠点としたツアーの仕組みを企画するグッズとして使用する。 ・農村文化協会から講師を派遣していただき、全国の地域おこしの事例を学び、今後の地域づくりに生かすヒントを探る事を目的に学習会を開催する

	<p>地域づくりを考える講演会のご案内</p> <p>「私が住む処、魅力いっぱい?」</p> <p>「みんなで考えよう「1%取り戻し」で地域は守れる 大丈夫!」</p> <p>講師：大池 俊二さん（農山村文化協会）</p> <p>日時 2月19日（日） 午前9時～12時 場所 龍江四区公民館（コミュニティー消防センター） 主催 龍江四区地域づくり委員会 後援 龍江地域づくり委員会 龍江公民館 NPO法人七和の会 龍江4区公民館 龍江地区産業振興会議</p> <p>【開催を計画したい】 龍江四区に住み、働き、頑張っている私達ですが、地区の会合では「少子高齢化が進んでいる」「このままでは年寄りだけの地域になってしまう」「草刈が出来ない家庭が増えている」等々の話がよくされます。 ぼたる祭りが10回を超え、人が集まる機会もあります。七和館の農産物直売も頑張っているとわれます。桜祭りには屋台を出して四区の頑張りを龍江の皆さんにアピールもしました。よりあい処「ぼたる」には赤ちようちんが灯り、大勢の皆さんが毎週末に集まってワイワイやっています。 これからの私たちが住む龍江四区を考えると、地域を回って元気の出る取り組みを見てきている皆さんから見たこの地はどんなものなのかを、聞いてみることもいいかと考えて企画しました。 みんなで、これからのチャレンジも考えながら、講演会を開いてみませんか。地区外に住んでる家族、親戚や友達も誘って出かけてください。</p> <p>【講師の紹介】 大池俊二さん（農文協関東甲信越支部長） 【農村文化協会】 月刊誌「現代農業」を発行。 季刊誌「地域」で、全国の地域おこしの活動を、取り組み皆さんの声を中心に掲載。 全国を取材・営業で回る社員の皆さんは、原付バイクで地域の隅々を巡回しています。</p> <p>☆ 講演会参加者には、資料として、 『季刊地域25号』を配布予定。 問合せ先：副区長 熊谷秀男 090-2466-3272</p>
写真	
表	<p>法被</p>  <p>ビブス</p> 
裏	 
説明	<p>作成した法被とビブス</p> <p>説明</p> <p>講演会の開催告知チラシ</p>

取組の経過	5月 法被とビブスの作成 地元の女性がデザインし。市内の業者に発注 6月 第10回ほたる祭り開催 2月 地域づくり講演会を実施 3月 4区自慢マップの作製
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りを通じて、地域住民の一体感を醸成するとともに、地域の新たな魅力を実感していただき、地域への愛着心を定着させる ・各種グループのイベント参加・企画がスムーズにいくように、統一したユニホームを作成する。 ・地域自慢マップを作成・配布、活用することで、住民の地域に対する愛着心を再発見してもらい、外からのツアー客の招へいで新たな動きを作っていく。 ・外部から有識者を招へいし、全国の地域づくりの事例を紹介いただき、住民の地域の魅力再発見の動機づけをする
今後の取組	来年度は、3年計画の最終年度となるので、活動のチェックと仕上げに取り組みたい

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		392,800
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	講演会開催	
	地域地図作成	100,000
	イベント用品購入	100,000
		192,800

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	オリジナル名物「天峡まん」で天龍峡を元気に！
団体名	天龍峡この指とまれ食プロジェクト
代表者氏名	松尾真由美
地区名	天龍峡(川路 龍江)

取組みの目的	天龍峡では来峡者に気楽に提供できる名物の食べ物がないと数年前から課題があってもそのままになっている現状がある。そこで地元の食材を利用して、天龍峡オリジナル名物を目指して、観光客や地元住民に提供できればと「天峡まん」の開発販売をH25年秋から取り組んでいる。26、27年とトスの助成金をいただき、必要品など揃えたり、商品検討など行ってきました。地元のイベントなどを中心に販売を行う事ができているので、さらに名物として自信ある商品として、助成金にたよらずに、販売提供が継続できるようにし、天龍峡の活性化に取り組む。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・天龍峡オリジナルふかしまん「天峡まん(肉野菜入り、おたふくこしあん入り)を天龍峡でのイベント、市内でのイベントなどで販売し、地元催事の盛り上げと天龍峡のPRを行う。 ・天龍峡そばとのコラボの検討を行う。 ・地元中学の天龍峡知る会などの学習会の場で天峡まんを提供し地元生徒に、天龍峡の景観だけでなく食についても知ってもらうきっかけにする。 ・オリジナル名物など取組の団体との交流を行い、天龍峡での今後の活動にいかす。



説明 天峡まん(肉野菜入り)



説明 イベントにて販売



説明 検討会議



説明 高校生との交流

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> *「天峡まん」販売実施日 ・4/3天龍峡さくらグルメ祭り ・4/24天龍峡八重桜祭り ・5/29天龍峡「天童よしにショー」 ・7/24ムトス交流会での提供 ・8/21千代野外音楽祭 ・9/3天龍峡をどり ・10/31天龍峡マルシェ ・11/3丘の上フェスティバル(酒メッセ) *7/22飯田OIDE長姫高校商業科(地域人教育)の意見交換会 (8/1天龍峡について知ってもらう交流会) *天龍そばとのコラボ検討 *竜峡中学の天龍峡知る会での「天峡まん」提供とアイデア交換 *「新野まんまん会」の視察、商品検討会実施(予定) *この指とまれ会議(4/21,6/10,7/21,8/19,9/16,11/11,1/26,2/)
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「天峡まん」を販売することで、観光客や地元住民に、気楽に食べてもらえた。 ・「千代野外音楽祭」「丘の上フェスタ」の販売や、ムトス交流会での提供など地区外の方にもPRができ、「また食べたい」、「いつどこで販売してるか」、の声も聞かれた。 ・高校生との意見交換することで、まだまだ可能性はあると感じた。 ・他地区の活動を知り、広い目で天龍峡を見る大切さを学んだ。 ・地元の食材を使うことで、地元農産物のPRにつながり、地産地消につながった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント販売だけでなく、天龍峡で定期的に販売できる体制をつくり、天龍峡オリジナル名物として、自立自信をもってお客様に提供したい。(空き店舗活用にもつなげたい) ・仕込みから販売までの人材確保を確立したい。 ・天龍峡賑わい作りのきっかけにしていきたい、(特に平成31年度には天龍峡大橋完成予定に向けて) ・天龍峡地元住民への影響力がひろがり、数十年前の賑わいのある天龍峡を取り戻すきっかけにしたい。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		250,000
うち助成金(見込み)		151,000
主な経費内訳 (上位3項目)	備品	98,000
	消耗品	30,000
	使用料	45,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	小澤俊夫講演会
団体名	子どもに昔話を声でつたえよう実行委員会
代表者氏名	佐藤圭代
地区名	飯田市鼎名古屋

取組みの目的	昔話は、まだ絵本も文字もない昔むかしから、私たちの祖先が、子どもに、声で語って聞かせてきた優れた伝承文学です。昔話には、私たちの祖先の子どもへの愛情、子どもへのメッセージなど、多くの良いものが込められていると言われています。さまざまなメディアの氾濫する現代社会のなかで育つ子ども達にとって、人と人が触れ合い、目を合わせ、声でコミュニケーションをとる経験がいかに大切かということを、昔話の大切さを通して知ってもらい、子育てに役立てて頂けるようにと企画しました。
具体的内容	昔話研究の第一人者である小澤俊夫先生(筑波大学名誉教授・小澤昔話研究所所長)を講師にお招きし、計2回の講演会と1回の講座を開催した。①6月10日(金)午後7時～9時 飯田市立中央図書館「小澤俊夫講演会 子どもになぜ昔話が必要か～昔話が語る子どもの成長～」②「子どもの育ちに大切なこと～小澤俊夫先生の 昔話が語る子どもの成長」11月14日(月)午前9時30分～11時30分 伊賀良公民館(和室) ③「昔話を語ってみませんか 小澤俊夫先生のむかしばなし語り方秘伝」11月14日(月) 午後1時～3時 柳田國男館



説明 6月10日 中央図書館での講演会



説明 11月14日午前 伊賀良公民館での講演会



説明 11月14日午後 柳田國男館での講座

取組の経過	当初は6月10日(金)午後19時～21時:飯田市立中央図書館での講演会のみを企画していたが、120席予定のチケット販売数に対して、150人の動員があったうえ、当日までチケットの問い合わせが続くなど、盛況だったこともあり、11月にも再度講演会を企画することとなった。11月の講演会は、6月の会と開催日時を平日の午前中、場所を託児室つきの和室に変え、子育て中の母親にもより聞いてもらいやすいように工夫した。おかげで、こちらも150人の動員数があり、小さな子どもをもつお母さんたちも大勢参加して下さった。また、6月の会で向か費話に興味をもって下さった方が多かったことから、小澤先生の昔話研究のきっかけを与えた柳田國男の研究所だった柳田國男館で、語り方秘伝講座も開催した。こちらも、チケットがすぐ完売となるほどの盛況ぶりで、60人の動員があった。11月の2回の講座の結果、昔話を学びたいという方が40人近く生まれた。
取組の効果	6月、11月の講演会ともに、「子どもにとって大切なことははにかを考えさせられた」、「昔話を子どもにもっと読んであげたい、語ってあげたいと思った」、「昔話の捉え方が変わった」、「子ども達に本物を生の声で伝えていきたいと思った」など、参加者の8割以上から「大変良かった」というアンケート結果を頂いた。また、講座で紹介させた本がその後図書館で多く貸し出されたり、紹介された昔話その後教室や図書館、家庭でよく読まれたり語られる光景が見られたり、嬉しい効果が得られた。また、講座参加者から、昔話を語ってみたいという方が40人近く生まれ、昔話を勉強していく新しい会が発足することとなった。
今後の取組	昔話を学んで語っていく会「おはなしのいす」の勉強会を、月に一度開いていく。そして、参加者が、家庭や学校など、身近な子どもに声で昔話を伝えていける環境作りをお手伝いする。 「おはなしのいす」第一回入門講座 平成29年1月21日(金) 10:15～11:45 上郷図書館

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	322,259
	うち助成金(見込み)	109,659
主な経費内訳 (上位3項目)	講師謝礼	250,000
	チケット・チラシ製作費	26,419
	講師宿泊費	16,100

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	りんご並木の周縁における花々の定植・景観美化活動
団体名	りんご並木に花を植える会
代表者氏名	原 勉
地区名	飯田市橋南地区・その他有志団体・個人・企業

取組みの目的	りんご並木は飯田市民の心の拠り所であり、かつての大火からの復興を象徴するシンボルとして、また観光拠点のひとつとして、今でも多くの人々が訪れる憩いの場所となっています。私たちはそんな地域を代表する場所の周囲にチューリップを中心とした花々を定植させることにより、当地の景観美化に努めています。もともと橋南地区に住む方が自発的に始めた活動だったのですが、その輪が少しずつ広がり、今や飯田東中学校の皆さんの「並木活動」とも連携し、多くの有志が参加する団体となりました。今後も、私たちはりんご並木を花々で彩り、美しい「丘の上」、美しい「飯田の街並み」を維持できるような環境作りに注力してまいります。
具体的内容	◎昨年(平成28年)12月6日にチューリップを中心とした花々を植え付けしました。 ■チューリップ球根約6,000球、パンジー約500株 花々は毎年ゴールデンウィーク前後に満開となり、「やまびこマーチ」や「ゆるキャラフェスタ」などの大きなイベント時に、来訪者や通行人の目を楽しませています。 ◎今年も開花後はチューリップ球根を一斉作業により掘り取り、収穫した球根は次年度も使えるように下処理をして備蓄する予定です。 ◎作業に合わせて周囲に生えた雑草などの除去作業も行い、りんご並木の環境保全に努めていく所存です。

			
説明	開花直後の様子	説明	各ブロックごとにチューリップの色を変えています。
			
説明	球根植えの様子	説明	球根の掘り取り作業の様子

取組の経過	<p>[1年間の主な活動]</p> <p>◎5月下旬:開花したチューリップ球根の掘り取り作業、および雑草の除去作業、清掃等 【毎回約40名参加】(飯田東中学校との合同作業)</p> <p>◎5月下旬:掘り取ったチューリップ球根の選別・外皮むき作業など</p> <p>◎6月～11月:来年度に向けたチューリップ球根の備蓄管理</p> <p>◎11月～12月:活動支援のキャンプ募集活動</p> <p>◎12月初旬:チューリップ、その他花々の植付け作業 【毎回約40名参加】(飯田東中学校との合同作業)</p> <p>◎1月～冬季:植えた土壌の状態確認、大雪時における対応など</p> <p>■球根の掘り取り作業、植え付け作業は、いずれも飯田東中学校の皆様と日程を事前に調整して、摘花作業やりんごの収穫作業に合わせて相互に協力し合いながら行っています。</p> <p>■春の「球根掘り取り作業」、そして初冬の「球根植え作業」の2大作業は、いずれも地元在住の皆様、地元企業の皆様、その他有志を含め、総勢約40名の協力体制によって行っています。</p>
取組の効果	<p>◎りんご並木の周囲が色鮮やかなチューリップ、さらにその他の花々で彩られることにより、一層の景観向上が図られ(添付写真を参照下さい)、当地を訪れる来訪者、通行者、さらに地元の方々にとっての憩いの場所となっていると自負しています。</p> <p>◎飯田市の象徴「りんご並木」の環境が整備され、中心市街地活性化の一助となっています。</p> <p>◎飯田東中学校の「並木活動」を地元市民がサポートするという好循環が生まれ、世代や住所、所属を超えた、新たなユニバーサルな協力体制が広がっています。</p>
今後の取組	<p>◎当会の周知活動を活発化し、地域や属性によらず、賛同者の和を広げていく。</p> <p>◎賛同して頂いた方が気軽に作業に参加できるよう、用具の整備と充実を図っていきたい。</p> <p>◎チューリップ主体の定植を軸としながらも、他の花種を今まで以上に増やし、さらなる景観美化を構築していきたいと考えています。</p> <p>◎開花時期に合わせた鑑賞会、写真撮影会などの企画実施。</p> <p>◎飯田東中学校との連携を確固たるものとし、並木活動への支援体制をさらに強化していきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		260,000
うち助成金(見込み)		157,000
主な経費内訳 (上位3項目)	チューリップ球根の購入費	138,000
	パンジー購入費	55,000
	花・球根植え/掘り取り作業に係る備品等の経費	30,000

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	野底山秋の輝き事業(もみじライトアップ&イルミネーション)
団体名	下黒田東有志の会「繫」
代表者氏名	野牧 詔男
地区名	飯田市上郷黒田(下黒田東)

取組みの目的	<p>地域資源の良さに気付きアピールし、足を運んでもらうきっかけ作りの事業としている。市街地から近い場所にあるが、野底山森林公園を知らない人も多い。普段の喧騒から少し離れ、自然の中へ入るだけでも気分が違う。もみじライトアップも今年で5回目、イルミネーションは3回目でそれぞれ定着しつつある。継続する事で、訪れる人も増えてきているので、今年は場所・期間など内容の再検討をして取り組んでいきたい。人と人、地域と地域の繋がりを深める事業としたい。</p>
具体的内容	<p>今年はライトの当て方、もみじの色付にの良し悪しを問わずに、より効果的に魅せられるよう工夫した。とりわけイルミネーションの飾付けではテーマに、環境、を取りあげ、有線電飾以外に、山の自然を生かし資源を大切にという意味も込めて長野県内では2番目の使用である、LED太陽光発電装置「ペットボトル」での装飾を実施。地元の企業始め住民の多くの方のご協力で実施できた。また、今年も地元の保育園2園の協力があり、親子、家族連れで毎夜賑わった。竹宵での飾付けとコンサートも実施。こちらも定着してきている。</p>



説明

ペットボトル工作教室



説明

ペットボトル設置風景



説明

もみじライトアップ



説明

ペットボトル点灯風景

取組の経過	<p>飯田市が環境都市を掲げていることから、今年は山という自然の中での事業という事で、初めてイルミネーションに「ペットボタル」を使用することになり、昨年の協賛金の他に、その分についても地元企業を中心に協力をお願いすることにした。</p> <p>また開催前には会員で山の落ち葉掃きなどもおこなっている。</p> <p>期間はもみじライトアップは10月30日から、イルミネーションは11月3日からとした。</p> <p>協賛企業の募集は夏より始め、ポスター、チラシへの企業名掲載をした。</p> <p>また、今回は個人へも積極的に声掛けをした。まちづくり委員会や財産区などの会議でも事業の趣旨を説明し、協力を呼び掛けた。</p> <p>地域の祭りなどへも参加し、会の周知や事業をPRした。</p> <p>イルミネーションで使用したペットボタルについては、工作教室を開催し、環境についての意識を持つきっかけ作りも行い、作成後には参加者全員で設置をし点灯式を迎えた。</p> <p>今年は「かがやきコンサート」のタイトルで11月12日に開催し、ジャンルが様々な6団体による演奏となった。</p> <p>この後、お礼状の発送をもってすべての事業を終了とする。</p> <p>今回は新聞だけでなく、ラジオ出演などとしてより広い地域への広報へも力を入れた。</p>
取組の効果	<p>回数を重ねた取り組みにより、徐々に周知が出来てきたと感じる。毎年楽しみにしてくれる方も増え、会員の励みとなっている。特に今年は開催期間中、何度も足を運んで下さる方が増え、リピーターの方が新しい方を連れてきてくれることも多くなった。のべ来場者数は当初目標の1,000名を大幅に超え、2,000人弱となった。また、平日でも来場者が多く、駐車場の整理なども連日行った。</p> <p>協賛募集では、会員の呼びかけに協賛企業は78社、住民協力は150名となり大きな支えとなった。ライトアップをするもみじの数も昨年より増やし、川の淵のもみじにも光を当てて橋の上から眺めてもらった。</p> <p>初の試みとしてのペットボタルの評判が大変よく、次年度も引き続き取り入れていきたいと考えている。コンサートが定着しており、今年も琴、雅楽、太鼓、二胡、吹奏楽、童謡などの多彩なジャンルの団体に参加してもらうことができた。</p>
今後の取組	<p>案内看板の設置をしたが、まだまだわかりにくく課題である。</p> <p>ライトアップとイルミネーション事業には引き続き取り組んでいくが、地域の催事へも積極的に参加し、会員の増強と会の周知を図っていきたい。</p> <p>イベントを通して、他の季節にも野底山に足を運んでもらえるきっかけとなるような事業にしたい。山の自然を大切に活かせる事業でありたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		600,000
うち助成金(見込み)		200,000
主な経費内訳 (上位3項目)	備品費	420,000
	広告費	70,000
	賃借料	36,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	やきいもともちつきの会
団体名	やきいも集会ともちつきの会
代表者氏名	仲村光子
地区名	飯田市松尾城

取組みの目的	空き地を利用して、お年寄りや障害のある人、子どもたち等が気軽に立ち寄ったり、過ごしたり、活動したりできる場を設けたい。今年度は、イベントや農作業への参加を呼びかけ、回数を重ねることで理解者や協力者を募りたい。
--------	--

具体的内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 田んぼや畑を耕し、苗植えの準備をする。(4月) 2 ジャガイモの種芋植え、田植え、さつまいもの苗植えをする。(4～6月) 3 必要に応じ、草取り・水の管理など (5～9月) 4 田んぼの一部を不耕起にし、めだかなどが住めるようにする。 5 野菜・もち米の収穫 (7～10月) 6 イベント開催 (1)ポップコーンと竹まきパン集会(5月) (2)やきいも集会 (10月) (3)もちつき集会 (11月) 7 施設研修 (秋～冬期 富山県共生施設) 8 松尾文化祭に活動内容の展示 (2月)
-------	--



説明 竹まきパン&みんなであうたいましよう



説明 田植え



説明 やきいも集会



説明 もちつき集会

取組の経過	<p>5/ 7 竹巻きパン、ポップコーン&うたいましよう /22・29 田植え 6/12 さつまいもの苗植え 19 ポップコーンの種とり、その後種まき 7/24 ムトス決定団体による広報PR 30 じゃがいも掘り&めだかすくい 8月中旬より田んぼの草取り 10/ 8 北側田んぼ稲刈り 11日終了 10 南側田んぼ稲刈り修了 14 はざかけ終了 16 さつまいも掘り 29 やきいも集会 10下旬 脱穀、もみすり 11/27 もちつき集会</p> <p>*およそ1回/月毎に相談会開催</p>
取組の効果	<p>1 それぞれのイベントや農作業に参加者・協力者があり、楽しく実施できたこと自体が成果と考えている。 2 特に、障害のある子どもさんの母親が「誰でも受け入れてくれる居心地の良い場所で、社会とのつながりに一歩が踏み出せたように感じる」という感想から、いろいろな方が参加してくれたから楽しい催しになったと思う。 3 農作業はスムーズにはいかなかったが、ぼちぼち協力してくれる方がおり、イベントに必要な以上の材料の収穫があった。 4 参加者や協力者にお礼のお便りを渡していくと、「こんなにやったんだ」とか「来年は協力したい」等の声が寄せられた。</p>
今後の取組	<p>1 2月の松尾文化祭に、今年度の活動内容と会のアピールを展示する。 2 2月中に、富山の共生施設「この指と一まれ」の見学をする。 3 来年度の活動が、今年度よりスムーズにできるよう準備を進める。 4 NPO法人立ち上げに向け、イベント参加の意識から「おいでなんしょ」への理解を少しずつ広げていく。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		70,000円(見込み)
うち助成金(見込み)		63,000円(見込み)
主な経費内訳 (上位3項目)	パラソル	10,260円
	農作業の用具	9,762円
	肥料・畦並みシート・マルチ	6,873円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	未来へつなぐ 風越山麓わくわくプロジェクト
団体名	丸山まちづくり委員会
代表者氏名	会長 小澤 伸好
地区名	丸山

取組みの目的	昨年度から「丸山地区基本構想・基本計画」に基づく各種事業に取り組んでいるが、目指すべき丸山の将来像実現のため今年度も更に各種事業を実施していく。取り組み事業の中でも、特に大切にしたい環境保全計画のテーマである、「みんなで守り育てる自然豊かな美しいまち丸山」を目指し、昨年引き続き事業の実施を行う。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> 丸山地区のシンボル花木である、ナデシコ、ベニマンサクの種子を、風越山の自生地から種子採取や挿木を行い育苗する。 風越山から採取したヤマザクラの種から育苗した苗を管理し、植栽場となる山林の整備を行う。(植栽H30年度予定) 風越登山マラソンの参加者に対するおもてなし事業として、次代を担う小中学校児童生徒も参加してもらい、スタート、ゴール地点へナデシコの花を飾る。 地域住民への当事業への理解と参加を促すために、イベント時にシンボル花の苗を配布したり、パネル展示を行いPRすることで地域ぐるみの活動に広げていく。



説明 順調に育つヤマザクラの苗



ナデシコの苗



ベニマンサクの苗

説明 丸山の花・木の苗



説明 小学生参加のおもてなし花鉢植え作業



説明 文化祭でのPRパネル展示

取組の経過	<p>通年 育苗管理(水やり、草取り他)</p> <p>5月26日 ベニマンサク挿木</p> <p>7月25日 夕源平現地確認(享保会役員とプロジェクト役員)</p> <p>9月21日 登山マラソンおもてなし花鉢植え(飯田西中学生と協働)</p> <p>8月～9月 ナデシコ種子採取</p> <p>9月29日 ナデシコ播種</p> <p>8月29日 登山マラソンおもてなし花鉢植え(丸山小学校児童と協働)</p> <p>9月30日 夕源平立木調査(享保会役員とプロジェクト役員)</p> <p>12月20日 苗床準備</p> <p>11月～12月 プロジェクトメンバー募集</p> <p>以下実施予定</p> <p>2月中旬 夕源平山林整備</p> <p>3月初旬 ヤマザクラ、ベニマンサク苗を畑に定植</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボル花木の育苗を進め各家庭や地域内へ苗をみんなの手で植え育てる。 ・ヤマザクラの育苗と山林整備を地域の幅広い年代層で実施し、地区外の人たちにも呼びかけ交流による地域活性化に繋げる。 ・登山道沿いへのシンボル木のベニマンサク植栽に向けての研究を行う。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボル花木の育苗を進め、各家庭や地域内へ苗をみんなの手で植え育てる。 ・ヤマザクラの育苗や植栽する場所の整備を進め、地域の幅広い年代層の交流の機会とし、地区外の人にも呼び掛けてこれらの活動を行っていく。(植樹祭は平成30年の春を予定) ・地域の子供たちにも参加してもらうことで、地域愛を育て将来丸山地区へ戻ってきたいと思える夢のある活動に繋げる。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	310,000円(見込み)
	うち助成金(見込み)	217,000円(見込み)
主な経費内訳 (上位3項目)	シンボル花によるおもてなし	87,000円(見込み)
	ヤマザクラ育苗	70,000円(見込み)
	山林整備	60,000円(見込み)
	その他	93,000円(見込み)

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	高齢者生きがい創出事業
団体名	押出七二会
代表者氏名	玉置洋一
地区名	南信濃

取組みの目的	<p>・自宅に引きこもりがちな高齢者の持っている知識を活用し、地域の子供達と水稻栽培を行う。</p> <p>また収穫祭等を実施し、子供達と高齢者の親睦を図ることで、日常生活においても、顔の見える見守り活動につなげる。</p> <p>高齢者の方々には指導者として、子供達に助言・指導をお願いすることで、孫と同世代の子供達と、会話し体を動かすことで、南信濃地区で生活し「楽しかった」そうした思いを実感してもらおう。</p> <p>また、地域の活動に参加することで、健康で元気な高齢者の推進につなげる。</p>
具体的内容	<p>・和田小学校の役割 5年生に水稻栽培の生徒役になってもらうことで、地域の高齢者には孫の世代と一緒に農作業をする楽しみや、生きがいを感じてもらうための役割を担ってもらう。</p> <p>・南信濃地区農業振興会議 指導者として参加する高齢者の指導補助的な役割と、次年度以降の販売に向け新たな遊休地の情報提供など裏方としての役割と、収穫した米を1kgの袋詰めにし、販売につなげる仕組みづくりの役割を担う。</p>



説明

田お越し作業



説明

田植え作業



説明

稲刈・稲架掛け終了



説明

収穫祭写真(栽培発表)

取組の経過	<p>5月日 田お越し 5月13日 代掻き作業 5月18日 田植え 6月30日 草取り 7月14日 草取り 9月27日 稲刈 10月5日 脱穀（モミの状態で「うるち米3袋半、もち米3袋収穫） 10月26日 精米 11月16日 学校給食に提供（和田小学校） 12月13日 収穫祭（餅つきを行い、参加された関係者と全校で給食として配膳）</p>
取組の効果	<p>○参加いただいた高齢者の皆さんには、和田小学校児童との交流をととても楽しんでいただき、子供達の声が聞けることが楽しみになったとの声が聞かれた。 ○作業に参加されなかった地域の高齢者も、子供達の声が聞こえると近くの畑で草取りに来たり、農作業を楽しみながら行っていた。 ○高齢者に参加していただくための計画であったが、和田小の子供達の殆んどが稲作に係った経験が無く、子供達は毎日食べるご飯がどの様に栽培され、脱穀・精米の過程も勉強したことで、大切なお米にとの思いが強く持つことができた。</p>
今後の取組	<p>○休耕田を活用したことで、農地の荒廃には一定の成果を得られたが、米の収穫量が計画より少なく次年度に向け土づくりから始める必要性を感じた。 ○収穫したお米の味に関しては評判が良かったので、次年度は「和田子米」として販売を計画し、販売収益により継続可能な事業展開を進める。 ○遠山の地域性なのか、参加される高齢者が限定されてしまい、途中からの参加者が確保できなかったため、事前周知の方法を検討し多くの高齢者が集まれるように周知を図る。</p>

○取組経費（単位：円）

事業費総額（見込み）		38,154
うち助成金（見込み）		16,000
主な経費内訳 （上位3項目）	ミニ備中10本	16,000
	稲刈鎌10本	6,980
	バインダー用ジュート紐1巻	850
	その他（稲のらくちん1袋・稲のめぐみ2袋他）	14,324

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の（ ）内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	～若者による地域のおもてなし～ 私たちが『アクティブ座光寺』！！
団体名	アクティブ座光寺
代表者氏名	棚田 健治
地区名	座光寺

取組みの目的	<p>麻績の里桜まつりを始め、座光寺夏祭り、文化祭等の地域イベントへ参加し、地域物産の販売を行うなどの地域外交流活動まで、ここ数年に渡り広く活動する。</p> <p>その中で、活動することで地域をイメージアップし、参加する子ども達が活動を通し地域に誇りを持ち、地域の魅力を感じながら育ってほしい。</p> <p>今後は、地域のアクティブ座光寺として、様々な場面で活動実績を上げると共に、より魅力的な団体としての活動をアピールし、地域内外の団体と連携しながら『座光寺』や『いいだ』を盛り上げていきたい。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動の本丸であるテントを、子ども達を書いた絵をラッピングできるようにして、地域活動に対する理解を深める。 ○ 参加する子ども達が着られるお揃いの法被を製作し、活動に対する一体感を味あわせたい。 ○ 地域内外の各イベントに参加し、地域物産の販売や子ども達との交流を通して座光寺や飯田市をPRする。



説明 天竜川水辺で子どもたちと交流



説明 子どもたちと交流



説明 豊丘まつりにて地域をPR



説明 いいだ丘のまちフェスティバルにて

取組の経過	<p>○28年4月 『麻績の里桜まつり』において、地域物産の販売</p> <p>○28年11月 『豊丘まつり』において、地域物産の販売 『飯田 丘のまちフェスティバル』において、地域物産の販売。(ラム串、りんご) 地域内外からの来訪者に『座光寺』『いいだ』の魅力を伝え、PRの一翼を担った。</p> <p>○28年7月 『水辺の広場で遊ぼう』において、子ども達と交流した。 地元産の食材を調理し、地域の次世代を担う子ども達に地域の魅力を伝えた。</p>
取組の効果	<p>○ ラッピングテントの活用による座光寺地域と飯田市のイメージアップ</p> <p>○ 子ども達の絵や寄せ書きをラッピングテントに掲示することによる参加意識の向上</p> <p>○ 参加者お揃いの法被着用による子ども達の団結意識の向上</p> <p>○ ムトス飯田助成事業を通じた他団体の活動状況の学習</p> <p>○ 地域産品を販売する事により、地域のイメージアップに貢献</p>
今後の取組	<p>○ 地域のニーズを精査し『若者による地域のおもてなし』活動を出来る範囲で継続展開していく</p> <p>○ 『若者による都市交流』の実現</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		332,100
うち助成金(見込み)		232,000
主な経費内訳 (上位3項目)	テントラッピング	172,800
	法被作成	159,300

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	サル去れ警備隊、囲いわな追い込みサル退治！
団体名	羽場まちづくり委員会
代表者氏名	佐々木 祥二
地区名	羽場地区

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ○当委員会(振興部)では26年度、有害鳥獣対策としてサル去れ警備隊を発足し、オレンジベストを着用して巡回し煙火等でサルの追い払いを重ねている。 ○27年2月、飯田地区有害鳥獣対策協議会が正永町にサル囲いわなを設置した。さらに28年3月20日に丸山公民館でサル対策会議が行われた際、小形の囲いわなを羽場用(大休)に貸与され猟友会の皆さんとサルの捕獲に取り組む。 ○サルが農園や住宅地に近づかないよう、警備活動や被害を防ぐ対策を行う。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○26年度のムス助成金を活用し「サル去れ警備隊」の必要品を整備したが、オレンジベストも煙火も足りない状況となった。現在66名の隊員が4つの地区においてチームを組み週1回約1時間の警備活動を実施している。 ○追い払い活動、囲いわなの成果も出てサルを見かけなくなった、特に群れでの出没は住宅地周辺へは殆どなくなった。しかしサルによる農作物の被害は続いているため、「サル囲いわな」、「追い払い活動」を更に展開していく。 ○スタンプカードを作成し、警備活動ごとに押印スタンプして、10回押印(行動参加)で追い払い花火等と交換し隊員の意識啓発をする。 ○日常生活でサルを見かけた時は、近隣隊員に出動を依頼し、即時に追い払いを実施する



サル去れ警備隊用具



パトロール風景



平成28年3月20日小型囲いわな設置と通信装置



平成28年11月取り残しの柿(サルの餌)

取組の経過	<p>○年間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区警備隊班ごとに、週1回約1時間のパトロール実施 ・ サルを見たらすぐ追い払う活動を行う ・ スタンプカードと煙火交換実施と、各班に煙火配布 <p>○4月 動物駆除用煙火の発注量検討及び手配</p> <p>○5月 サル去れ警備隊活動計画作成</p> <p>○6月 ウルフピー(狼の尿⇒サルが嫌がる液体)の手配と試行場所の指定 1.ウルフピーの設置6月から7月 桃畑 2.同 トウモロコシ畑に設置 7月から8月</p> <p>○11月 サルの被害、出没状況の調査、「大休、正永町1, 2 宮本、上川原地区ヒアリング調査、サルのえさの放置状態の調査</p> <p>○12月 囲いわなに動物が入った時、監視員宅へ信号をおくる装置を取り付けた。</p>
取組の効果	<p>○活動は地域の連帯感や、サル去れの追い払い活動が定着しサルの出没頻度が激減した。</p> <p>○日常の追い払い活動と、飯田地区有害鳥獣対策協議会設置の「囲いわな」の活用により、サルの群れの出没が極端に減収した。</p> <p>○サル去れ活動の地区住民の関心と理解度が高まった。</p> <p>○ウルフピーの試行を2か所で行ったが効果は無くサルの被害にあった。原因は不明、使い方か設置方法か？ 今後機会があれば検討する。</p>
今後の取組	<p>○各地区の警備隊と情報を交換し合い、連携して活動を行う。</p> <p>○広報等を通じて、警備隊の活動状況や成果を住民に知らせ、地域全体の理解を深め、より多くの住民に協力をいただく活動とする。</p> <p>○まちづくり委員会や各自治会でも鳥獣被害対策事業の予算化を行い、継続した活動が出来るように体制整備をする。</p> <p>○警備活動や追い払い活動に加え、果実等の取り残しをなくして餌場にしない対策をとり、隠れ場所をなくし、果樹園や畑を守る活動を検討する。</p> <p>○隣接する丸山地区や鼎地区とも情報を共有し、相互協力を行う。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		233,000
うち助成金(見込み)		163,000
主な経費内訳 (上位3項目)	動物用駆除用煙火購入費用 600本	180,000
	調査・研究	38,000
	会議費	5,000
	その他 学習会費他	10,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	羽場地区クリーンアップアクション
団体名	羽場セントラルパーク愛護会
代表者氏名	佐々木 祥二
地区名	羽場地区

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 羽場セントラルパークに花壇をつくり、居心地の良い公園する。 ○ 防犯上の対策及びポイ捨てや不法投棄に対する対策を強化する。 ○ 公園内を流れる水をきれいにして、子供が安心して水遊び出来るようにする。 ○ 公園周辺の路上駐車をなくす様に対策を検討する。 ○ 羽場地区を「環境美化重点区域」にすべく取り組む。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居心地の良い公園にするために、愛護会が中心となって腕章をつけて巡回や掃除活動を行う。 ○ 防犯カメラの抑止力を確認し、必要であれば追加設置して、ポイ捨て行為を未然に防ぎ是正を行う。 ○ 地元企業や高校戦隊テックレンジャー・グリーンバード等と共催して、クリーンアップアクションを行う。 ○ 公園内水路の分水場所の「格子セギ」を定期的に操作して、濁水は暗渠に、清水だけ公園表面に流れるよう清掃する。 ○ 公園のみならず、近隣の道路や河川においてもクリーンアップアクションを展開し、住民や公園利用者へ環境美化意識を啓発する。



説明 公園内定期清掃



説明 公園内水路の清掃



説明 ゴミの不法投棄(7月)



説明 羽場地区クリーンアップアクション

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ○ セントラルパーク定期清掃 …… 月1回 各自治会当番制 実施日:4月17日(126名) 5月8日(40名) 6月19日(72名) 7月10日(76名) 8月14日(58名) 9月11日(20名) 10月16日(38名) 11月13日(250名) 12月11日(32名) ○ 昨年度設置した防犯カメラで、今年度2回(7月と11月)ゴミの不法投棄と不審者確認を行った。 ○ 公園内を流れる水路の汚れは、月1回の清掃では維持できない為、公園内水路の分水場所の「格子セギ」を改良し綺麗な水が流れるようにする。…平成29年2月実施予定 ○ 羽場地区全体でクリーンアップアクションを開催…11月13日 約250名参加
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ セントラルパーク月1回の定期清掃により、公園の環境美化が維持されている。また各自治会の当番制も定着し、セントラルパークに対するの地元の意識が強くなった。 ○ 防犯カメラによるゴミの不法投棄と不審者確認は特定できなかったが、防犯カメラが設置されていることが公園利用者には周知されている。 ○ 羽場地区を「環境美化重点区域」にする一環として、今年度飯田市「秋のごみゼロ運動」に合わせ、羽場セントラルパークと周辺道路のクリーンアップアクションを展開した。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 羽場セントラルパークの利用者は年々増加傾向にあり、他地区からの利用者が増加している。公園の月1回の定期清掃の効果は大きく、今後も愛護会を主体に継続して行う。 ○ 現在の防犯カメラは昼間の確認が出来るが、夜の確認が出来ない。新規赤外線(夜間用)防犯カメラの設置と、防犯カメラの増設を検討する。 ○ 29年度 羽場地区を「環境美化重点区域」すべく、継続して羽場地区全体でクリーンアップアクションを展開する。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		63,000
うち助成金(見込み)		0
主な経費内訳 (上位3項目)	分水用「格子セギ」	54,000
	公園清掃謝礼	9,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	第21回千代河鹿がえるまつり
団体名	千代河鹿がえるまつり実行委員会
代表者氏名	佐々木 賢則
地区名	飯田市 千代 米川

取組みの目的	地域の財産である自然を守り、この財産を地域活性に利用する事と子ども達の記憶に残る祭りにし、将来この地域に戻りたくなる事を願って活動している。
具体的内容	今回はのぼり旗を半分新調し、カジカガエルの生態と千代河鹿がえる祭りの由来を記した告知看板を米川公会堂に設置し、その看板を見た人にカジカガエルの鳴き声を聴いて頂けるような人感スピーカーを設置し、更に、常夜灯を今まで無かった『中の橋』に一基新設し雰囲気を一変した。LEDろうそくも配置方法を変更し、約10mごとに5～6本まとめて置くようにしました。また、週刊ホームニュースなどの飯田下伊那全域をカバーする広告媒体を利用し、地区内外の人々に知ってもらえるようにした。お祭り当日は地域の保育園児、小学生、中学生による出し物を披露して地域全体で盛り上げて頂き、さらに、出来るだけ多くの来場者に浴衣を着てちょうちん行列に参加してもらい、カジカガエルの鳴き声とホテルの乱舞の競演を満喫してもらった。招待者には浴衣と下駄をレンタルしてもらい対応した。



説明

新のぼり旗



説明

告知看板



説明

人感スピーカー



説明

新常夜灯

取組の経過	<p>まず、年度の初めにボランティアスタッフを募集し、ポスターとチラシを作成し飯田市の自治振興センターに配布し掲示して頂き、飯田下伊那全域をカバーする広告媒体の週刊中日ホームニュースに広告を出し地区外の方々に知ってもらえるようにしました。そして例年通りお祭り当日二週間前に実行委員会全員で「1級河川米川」の河川清掃を行い、今回新調したのぼり旗を地区全域に飾りつけ、LEDろうそくと竹筒を準備し、カジカガエルの生態と千代河鹿がえるまつりの由来を紹介した告知看板を設置し、常時カジカガエルの鳴き声を聴ける人感スピーカーを設置し、『米川中の橋』に常夜灯を新設しました。ここ数年7月第1週の土曜日の梅雨の真っ最中に開催させて頂いておりますので例年通り雨天対策には十分配慮しております。また、昨年に引き続き開会式後のイベントは地元の保育園児・小学生・中学生の出し物を楽しんでもらいました。今回は、21周年を迎え千代河鹿がえるまつりが始まった原点を思い返し『ちょうちん行列』の演出を変えてみました。カジカガエルの鳴き声を静かに聴き、ホテルを見てもらえる『浴衣でちょうちん行列』を楽しんでもらうため、多くの参加者が浴衣で参加してもらえるようレンタルの浴衣と下駄を用意させて頂きました。</p>
取組の効果	<p>飯田下伊那全域をカバーする広告を利用したことによって少しは地区外の方々に知ってもらえたと思います。昨年より浴衣で参加してくれる子供たちも多く祭りを盛り上げてくれ、地域の子ども達がほぼ全員集まり楽しんでもらえ、とても良い思い出になったと思います。のぼり旗を新調し、新しい常夜灯を設置した事により祭りの雰囲気も明るくなったように思います。また、告知看板と人感スピーカーは祭り以外に来られた方々にカジカガエルを知ってもらえる事に一役買ってもらえたと思います。お祭り当日の『浴衣でちょうちん行列』は350人位の今までにない参加者があり、この取り組みは成功したと思います。</p>
今後の取組	<p>これからも継続的にお祭りを行い、竜東地区を代表する祭りとして定着させ、地域の多くの方々に水資源を守る事が自分たちの命を守る事である事を知ってもらう。今後もこの千代河鹿がえるまつりを通し『一級河川の米川』を竜東地区の飲料水の源として周辺地区民に理解してもらえるように告知活動を続けていき、竜東地区の宝＝千代として、帰りたい故郷ナンバーワンを目指し、里山整備や河川保護を行う米川桃源郷構想も同時に進めていきます。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		445,824
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	常夜灯作成費	107,460
	のぼり旗作成費&ポール代	100,224
	屋外告知看板作成費	62,100

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	映画「うまれる ずっといっしょ」自主上映会事業
団体名	つながる虹の会
代表者氏名	小出 真理子
地区名	飯田市・下伊那

取組みの目的	3家族のドキュメンタリー映画の上映を行う。テーマとして子供連れの妻と結婚した夫の「血のつながり」について葛藤し、子供に告白したり、42年連れ添った妻をガンでなくした夫の毎日を追いかけて立ち直るまでの日々を追いかけたり、18トリソミーという遺伝子の病気の子供(不治の病で、いつ亡くなるかわからない)を育てる夫婦の挑戦を描いている。 この映画を見ることで家族について考えたり亡くなった家族がいつでもいっしょにいることに気が付いて悲しみから救われる方が一人でもいてほしい。乳児・幼児を子育て中の親は映画に行けないので、(騒ぐのを気にして)子供連れでも見られる場の提供をしてリフレッシュしていただけたらいいなと思っています。
具体的内容	当日までの取組みの中でたくさんの方々の協力を得るためあちこちに声をかけさせていただいた。その際に、協力してくれる方々の温かさに触れて、地域のつながりを深く感じました。中学生にもボランティアを呼びかけたらたくさんの方が参加すると表明してくれました。飯田市文化会館のホールにて午前中はママさんタイムと称し子供連れのママさんたちが気兼ねなく子供の泣き声や騒ぎ声、ドタバタ走り回ってもお互い様の精神で上映会を設定。騒いだり授乳やおむつ交換の必要な方は別室を使って半託児(ボランティアの中学生などが子供と遊んでくれる)も行いました。TVではあるが同じ時間帯でDVD上映も行いママの息抜きタイムが少しつくれました。午後は一般上映としましたが、この時間でも子供連れの方々が来場されましたので午前同様の対応をさせていただきました。



説明 2校の中学生が手伝ってくれました



説明 沢山の方が来場いただきました



説明 午前中の150名の来場風景



説明 ボランティアスタッフ30名です

取組の経過	<p>6月1日 文化会館の予約に並び12月17日を予約する。 7月 上映会の実行員会を募り、配給会社に上映日を伝える。 9月 印刷物のデザイン担当者と打ち合わせ 10月 印刷デザインが決定し 印刷会社に依頼 11月 教育委員会の後援をもらい、各自治体にチラシ配布の依頼をし、保育園・小中学校で配布していただく 12月 いいだFM 週刊いいだ 月刊いいだ 中日ホームニュース 南信州新聞社 Yuika! などに掲載 各自治体の教育委員会の後援によりオフトークなども活用 病院・カフェ・鍼灸院・助産師さん・飲食店・図書館・大型図書館 個人などに協力依頼し、チケット販売する 12月17日 午前・午後 2回上映で映画上映会を行う 旭中と東中の生徒さん約20名の協力を得て当日の運営を行う。小さな赤ちゃんから大人まで含めると330名近くの方が来所いただきました。</p>
取組の効果	<p>(お客様に温かい気持ちをアンケート結果より抜粋)「ママタイムという時を作ってくれて気軽に來れることができてよかった。」「授乳室助かりました」「命について家族について考えさせられました。家族っていいな、大切にしたいなと感動しました。」「こんな機会を与えてくださり本当にありがとう。」「スタッフの方にたくさん助けていただきました。ありがとうございました。」「こういった一般の方々のドラマの映画は時初めて見たので不思議な気持ちになり何か考えさせられ、答えは出るようなものじゃないけれど、温かい気持ちになれてよかった。」「つながる虹の会の皆さん、本当に素敵な機会をくださりありがとうございました。」「どの家族にも愛があり会話があり目指すところです。本当にありがとう。家族みんなで見えたかったです。」「本当にありがとう。大切な家族をずっと幸せにしたいと、本当に感謝します。」(スタッフ側の取り組みの効果) 沢山の関係者、各機関、個人の方に助けていただき、人がつながる、地域がつながるといふ趣旨の自主上映会の企画を通じて温かい方が自分の周りにいることに気が付け感謝することができた。</p>
今後の取組	<p>来年度は映画のシリーズの第1作目「うまれる」の上映会を企画予定です。 今回、たくさんの方々と知り合えたことで地域のため、子供のためのイベントも併せて行いたいと思っています。映画上映もその中の一環として、子供たちのダンスなどの発表の場、フリーマーケットや、飲食ブースなども合わせてたくさんの方が楽しめるイベントに広がっていけるような企画を考え中です。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		1,017,300
うち助成金(見込み)		240,000
主な経費内訳 (上位3項目)	チラシ・ポスター・チケットなど印刷代金	122,900
	飯田文化会館使用料(暖房費・ライト・音響含む)	111,100
	ブルーレイディスクレンタル料金等	175,716

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	裏界線・路地のある暮らし
団体名	いいださんぼ会
代表者氏名	樋口貴彦・木下知美
地区名	橋南・橋北

取組みの目的	2年間の取組みで、戦後の大火にともない整備された都市インフラとされている裏界線が、近世の水路から発達した成り立ちを感じられる、飯田の立地環境と歴史を意識した地図を作成し、さんぼコースに反映させた。本年度の活動は、これまでのまとめとして路地周辺の街の変遷や人々の暮らしに着目して、路地の魅力を発信することを主題とする。そのために水路や裏界線等の路地の調査結果をまとめた①地図の作成、裏界線等の路地に面してくらす市民のインタビューや店舗等を紹介する②小冊子の発行、街の魅力を発信する取り組みを行なっている③専門家を招いたワークショップ・町歩きを開催したい。最後に活動をまとめた写真や小冊子、地図を展示する④企画展を開催する。
具体的内容	①地図の作成：市内の文化施設、観光案内所、主要なカフェ、利用を希望される町歩きイベントにおいて配布する。 ②小冊子の発行：重点を置く地域を決めて、地域性と季節感を反映させた内容で市民や店舗などを紹介する内容で年3回の発行を目指し、市内の主要なカフェや文化施設に配布する。 ③ワークショップの開催：地方都市において歴史的な市街地の情報発信に取り組む専門家を招いて講演とワークショップを開催する(12月頃)。 ④企画展示：市内アートハウスで開催(3月頃)を予定する。



説明 裏界線を歩く



説明 合同庁舎より



説明 12月10日ワークショップ作業風景



説明 子連れ参加のさんぼ

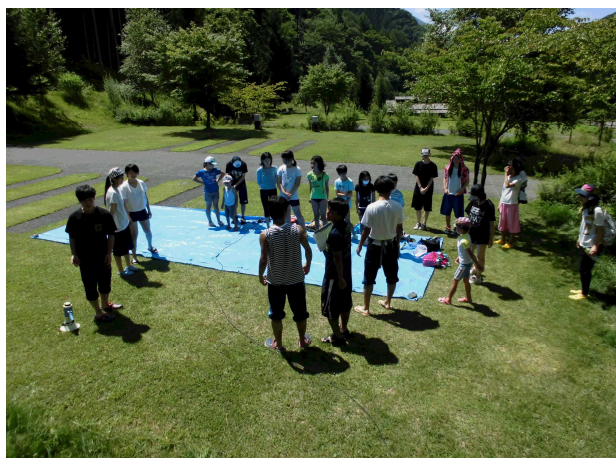
取組の経過	<p>7月10日 さんぽ会メンバーによる裏界線散策と地図作成会議 7月24日 助成団体交流会・さんぽコースの検討 8月27日「水路をめぐる飯田町さんぽ」開催 10月9日 小冊子の構成検討 11月13日 ワークショップのチラシ製作 11月23日 小冊子の構成検討とワークショップの打ち合わせ 12月10日 ワークショップ「くらしの中の裏界線 まちのみかた飯田」開催 以後実施予定 2月19日 小冊子「裏界線通信」発行 3月12日/13日 企画展「裏界線・路地のあるくらし展」開催</p>
取組の効果	<p>①さんぽ会マップは、これまで作成した地図を元に8月と12月に行われた町歩きイベントに合わせ、それぞれのさんぽコース別に解説を加えて2パターン作成した。それぞれの地図は、8月に飯田市教育委員会主催で行われた地域史研究集会の一部として企画された「水路をめぐる飯田町さんぽ」と12月のワークショップ「くらしの中の裏界線 まちのみかた飯田」において参加に配布した。②小冊子は、地域性と季節感を反映させた内容で市民や店舗などを紹介するものとしてA5版サイズにて発行できるように、構成内容を検討したが、取材が予定通りに進まず、来月発行の予定で現在作成中である。③ワークショップは地方都市において歴史的な市街地の散策と情報共有をテーマとした「まちのみかた」に取り組む建築家で専門学校講師の加藤洋誠氏を招き、裏界線に隣接するエコハウスを会場に開催し、主に子育て世代を中心に参加していただき、ベビーカーを伴って町歩きを行なった。④企画展では、3年間の活動の成果の展示を市内アートハウスで予定している。</p>
今後の取組	<p>助成期間が終了するため、今後は独自の地図作成の取り組みは休止する予定で、作成した地図データはムトスまちづくり課や希望する市民に提供し、活用していただく。路地観察や町歩きのイベントは、他団体と協力しつつ企画していきたい。また複数回の発行を目指していた小冊子「裏界線通信」は、今後何らかの形で発行の機会を探りたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	151,000
	うち助成金(見込み)	94,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷費(地図)100部	25,000
	印刷費(チラシ)300部	21,000
	講師謝礼及び招聘費	35,000

取組名称	遠山郷の体験ツアー
団体名	あんじゃーね遠山守り隊
代表者氏名	宮田 大雅
地区名	遠山郷

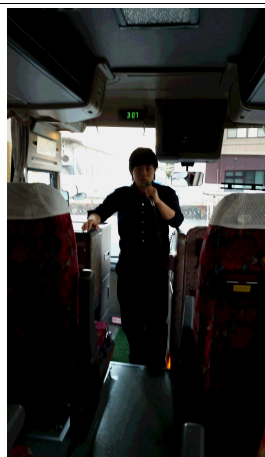
取組みの目的	人口減少、高齢化によって遠山郷が衰退し、私たちは将来自分たちが住んでいる地域がなくなる恐怖心を感じている。このままでは今まで守ってきた伝統の“霜月まつり”までなくなってしまいかもしれない。私たちは厳しい遠山郷の現状をなんとかしたいという思いで活動している
具体的内容	遠山郷体験ツアー 遠山郷を知ってもらうための体験ツアーの企画、運営 夏休みの子ども対象に川遊びと遠山ジンギスを学ぶイベントを開催 高校生を対象に霜月まつりと遠山郷を知ってもらうツアーを開催



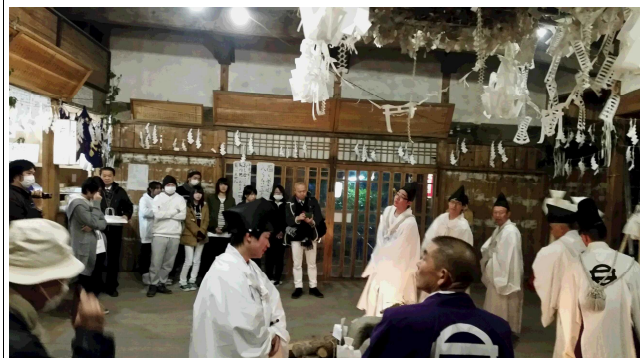
説明 遠山ジンギスについて学ぶ



説明 子どもと遠山の自然体験



説明 遠山郷体験ツアー



説明 霜月まつりの見学

取組の経過	<p>4月15日 プロジェクトチーム結成、原則毎週金曜日に定例会 6月 3日 第1回ツアーに向けたアイデア会議 6月10日 ツアーの具体化に向けた会議 6月17日 関係者との調整、依頼 7月 1日 チラシの作成広報活動 7月15日 タイムスケジュールの調整 7月22日 イベントの準備 7月31日 第1回ツアー(子ども向け川遊びと遠山ジンギスを学ぶイベント)実施 8月26日 第1回ツアーの反省会と第2回ツアーアイデア会議 10月 7日 ツアーの具体化に向けた会議 10月14日 ツアールートの詳細の検討 10月21日 チラシ作成 10月28日 広報活動 11月 ツアーの関係者の調整事前準備 12月11日 第2回ツアー(高校生を対象に霜月まつりと遠山郷を知ってもらうツアー)実施</p>
取組の効果	<p>1回目のツアーでは、夏休みの自由研究をテーマに行った。ワークシートも作成し、参加者は学習をとして遠山郷について学ぶことができた。また、市外からの参加者が4名(子ども2名とその母親2名)おり、遠山の自然を体験した。参加者アンケートでは、初めて遠山郷へ来た方の満足度は高かった。</p>
今後の取組	<p>今回のツアーでは、地元の参加者が多く、今後は地域外の方を対象にしたツアーができるようにしていきたい。 遠山郷はどの世代にとっても飯田市中心部と変わらず生活していける環境になりつつある。しかし、訪れたことのある人が多いことと、仕事があるか不安におもっている人も多くいた。そのため、PR活動を行いながら仕事の紹介もしていきたいと考えている。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		273,043
うち助成金(見込み)		180,000
主な経費内訳 (上位3項目)	参加者移動用バス代	45,000
	物販用コンテナ(見込み)	42,000
	吊り下げネームプレート(見込み)	23,943

*活動状況がわかる写真を入れてください。

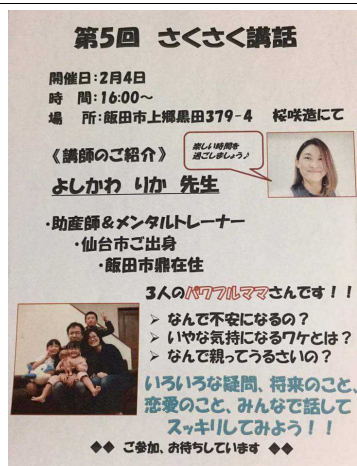
*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	つなぐハウス事業
団体名	シェアスペース“桜咲造”
代表者氏名	鎌倉 朋也
地区名	上郷黒田

取組みの目的	近年増えてきている空き家をリノベーションして、高校生から大人までか交流できる場所づくりを目指す
具体的内容	地域で活躍する方を招き、高校生に向けた講演会を開催 地域イベントの運営サポート 地域の魅力の情報発信をする販売実習 トイレをカラフルにする活動 飯田に来る大学生との交流



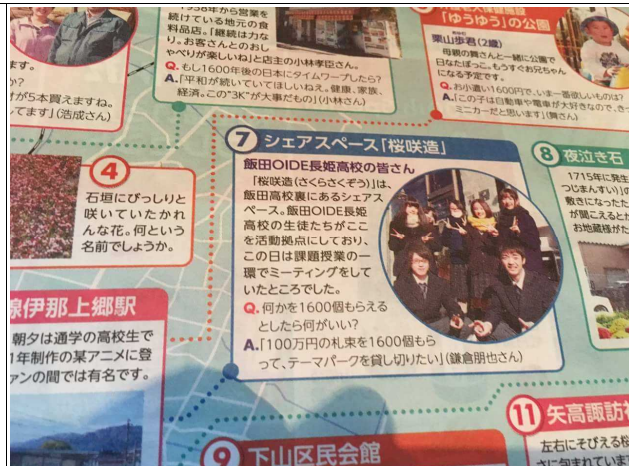
説明

さくさく講話チラシ



説明

地域で活躍する方から話を聞く高校



説明

メディアにも紹介されました



説明

大学生も多くやってきています

取組の経過	<p>4月15日 プロジェクトチーム結成、原則毎週金曜日に定例会 6月 3日 アイデア出しの会議 6月10日 さくさく講話の準備広報活動 6月17日 イベントの準備 6月18日 第1回さくさく講話 8月 8日 第2回さくさく講話 8月31日 大学生による高校生向けの講話 10月 8日 第3回さくさく講話 10月15日、16日 上郷しもなん地域文化祭 12月11日 第4回 さくさく講話 2月 4日 第5回 さくさく講話</p>
取組の効果	<p>さくさく講話を定期的に行うことで、地域で活躍する大人と高校生の接点ができる。フリースペースとしての認知度が徐々に上がりつつあり、飯田に調査研究に来る大学生が頻繁に乙津れるようになった。また、県外の大学生と高校生が交流し、今後の地域づくりに向けたアイデアを出し合うことがあり、スピノフとしてのイベントが行われた。</p>
今後の取組	<p>フリースペースを貸スペースとして事業化していくことで、収益事業にしていきたい。今年度も事業化として計画をしたが、予約や代金決済などのシステム化がうまくいかず実現できなかった。今後事業化に向けた取り組みをしていきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	298,840
	うち助成金(見込み)	188,000
主な経費内訳 (上位3項目)	備品(スタッフ用イベントパーカー)	105,300
	備品(宣伝用バナー)	95,200

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	高校生文化フェスティバル
団体名	GARDEN4S ・ アミューズラボ
代表者氏名	長沼 秀毅(GARDEN4S) 鎌倉朋也(アミューズラボ)
地区名	飯田駅前・中央通り3・4丁目(GARDEN4S) 下伊那郡の高等学校(アミューズラボ)

取組みの目的	近年、郊外への大型店の出店等で「丘の上」と呼ばれる当地域は年々人通りが減少し、以前の人々の交流が無くなりつつある中、新たな交流の場を創出する為、一般的に発表の場の少ないと思われる「高校生の文化活動」をキーワードに、飯田下伊那の高校生の文化部・サークル等の発表の場を飯田駅前中央通り3・4丁目に設け、日頃の成果を発表する「高校生文化フェスティバル『宴』」や商店街のショウウィンドウを利用した作品展をを企画し、高校生と一緒に商店街の活性化と文化交流を図る事を目的とする。 又、学校の枠をこえて活動するアミューズラボを支援し高校生同士の横のつながりを強めることで、高校生の自主性と社会性の向上とを期待し活性化に協力して頂くことを目指す。
具体的内容	○4月の高校生文化フェスティバル『宴』の際は、学校の枠をこえて活動するアミューズラボと連携をとり、チラシ、参加団体、飲食出店ブース、プログラム等を高校生に計画してもらい飯田駅前アイパークにて盛大に開催した。 ○8月のいいだりんごんふれあいアップルタウンではミニ高校生文化フェスティバルとして書道パフォーマンス・軽音楽等で出演頂いた。



説明 4月29日アイパーク



説明 4月29日アイパーク



説明 8月6日ふれあいアップルタウン



説明 8月6日ふれあいアップルタウン

取組の経過	<p>3月8日 事前計画会議 3月29日 高校生文化フェスティバル第1回参加者会議 4月12日 高校生文化フェスティバル第2回参加者会議 4月28日 前日準備(機材運搬等) 4月29日 高校生文化フェスティバル開催(アイパーク) 6月4日 高校生文化フェスティバル反省会 8月6日 ミニ高校生文化フェスティバル開催(いいだりんごんふれあいアップルタウンにて)</p>
取組の効果	<p>○4月の高校生文化フェスティバル『宴』の際は、高校生の自主性を重視しアミューズラボに運営のほとんどを任せたことにより若い力を100%発揮し盛大な盛り上がりで開催できたと思う。</p> <p>○8月のいいだりんごんふれあいアップルタウンとでは各学校教諭の皆様や協力により、書道パフォーマンス・軽音楽等で出演頂き若い人や保護者の皆様で賑わった。</p>
今後の取組	<p>○今年度で3回目の事業でしたが、高校生や保護者その他外部の皆様にも好評ですが年々規模も大きくなり予算がかかるので、会員数の減少が著しい商店街の団体では補助金なくしては行事の開催が難しい状況ですので予算の確保の検討。</p> <p>○高等学校は義務教育と違い学校ごとの行事や日程の違いもあり、高校生諸君も学校行事や学業が忙しく無理も強要できないので、アミューズラボがすべての学校に学校の枠を超えて連携し活動する高校生の団体だと認識されないと商店街組織では学校との繋がりが弱く学校との連携が取りづらいので、アミューズラボという団体を何とか学校や先生方に理解してもらう活動が不可欠。</p> <p>○継続事業とすることが価値があると思うので形を変えても継続することを目指す。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		417,192
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	音響機材	153,106
	習字用紙	77,396
	ポスター・チラシ	67,158
	その他	121,905

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	秋葉街道への観光者誘引事業
団体名	千代地区まちづくり委員会 上久堅地区まちづくり委員会
代表者氏名	川手 重光(千代地区まちづくり委員会) 塩沢 一志(上久堅地区まちづくり委員会)
地区名	千代地域自治区 上久堅地域自治区

取組みの目的	<p>小川路峠を越える秋葉街道は、両地区の観光資源であり、それぞれの地区が遊歩道の整備をおこなってきた。上久堅からの遊歩道には案内看板が設置されているが、千代地区からの遊歩道に向かう案内看板が未設置であるため設置したい。</p> <p>千代地区野池親水公園には多くの家族連れなどが訪れており、公園の一角に案内板を設置することで、秋葉街道を知ってもらい訪れるきっかけとしたい。</p>
具体的内容	<p>案内図は、イラストマップ「秋葉街道」を参考に、各地区からビューポイントなど掲載する箇所を選定してもらい作成する。</p> <p>案内板は、千代地区産材を利用した桧皮葺き屋根及び木枠とし、公園内に設置しても違和感のないものとする。</p> <p>案内板設置作業は、上久堅、千代両地区から関係者が参加し、共同作業として実施する。</p>



説明 作業当日。まずは穴掘りから。



説明 水平を見て木枠を入れ、生コンを注入



説明 看板を木枠に取り付ける。



説明 完成。全員で記念撮影

取組の経過	<p>平成27年9月18日 千代、上久堅両地区の代表者による事業実施の検討会 平成27年11月12日 両地区の会合において次年度の事業実施予定を決定 平成28年5月 千代地区から看板の屋根及び木枠の製作を業者に発注 上久堅地区から看板製作を業者に発注 平成28年6月 看板設置準備 平成28年6月18日 千代、上久堅両地区から26人が参加し、看板設置作業を実施 平成28年11月10日 現地確認、次年度の取組に向けた協議</p>
取組の効果	<p>秋葉街道を多くの方に知ってもらうことができ、訪れる方の増加が期待できる。 観光資源としての里山の活用が期待できる。 2地区の協働により秋葉街道の魅力アップが図られ、さらに2地区の地域づくりへの連帯意識の醸成及び連携した活動に繋がる。</p>
今後の取組	<p>上久堅、千代両地区に共通する観光資源としての秋葉街道の環境整備に、今後も上久堅、千代両地区の交流、情報交換及び共同作業などを行いながら検討し、及び取り組んでいく。 また、さらに、秋葉街道が通る他地区等との交流を図り、協働による来訪者の増加に取り組みたい。 両地区においては、この活動によってより深まった関係性を生かし、これ以外の地域として抱える共通した課題等にも連携協働して取り組んでいきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		356,400
うち助成金		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	屋根、木枠製作費	198,720
	案内看板製作費	157,680

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。



(ふりがな)	いなしがくかい		
団体名称	伊那史学会		
(ふりがな)	はらだ のぞむ		
代表者氏名	原田 望		
設立年月日	1972年8月1日		
ホームページ			
活動内容	<p>1、毎月、郷土史誌「伊那」を発行(通巻1064号 第65巻1号2017.1月)会員に配布。 2、毎年郷土巡礼を実施。459回(萩・山口・尾道へ2泊3日21名参加) 第460回 根羽村探訪(根羽村、伊那谷地名研究会と共催40名参加) 3、年次大会を実施。本年で62回、記念講演を行う。 4、古文書クイズによる学習活動を毎月実施。633回を重ねる。 県外の研究グループも「伊那」を購読し学習に利用。 5、南信州文化財の会の活動に協力し文化財保護活動への参加。 6、春草菊慈童購入募金活動や田中芳男胸像御金活動等への協力。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">第460回根羽村への郷土巡礼</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">第459回萩・山口・尾道(瑠璃寺にて)</div> </div>		
PRしたいこと	<p>新入会員の促進 年次大会の記念講演は会員外でも無料で聴講できます。 地名の会のフィールドワークと共催の郷土巡礼は会員外でも参加自由です。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	伊研協の主要構成員の一員としてシンポジウムなどに参加。		
困っていること	<p>会員の高齢化により毎年百名近い会員が(死亡)退会。 活字ばなれITの普及により新入会員の減少。 発行者の高齢と後継者がいないこと。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	年会費6,000円の納入。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだぶんかきょうかい		
団体名称	飯田文化協会		
(ふりがな)	しみず まさのり		
代表者氏名	会長 清水正則		
設立年月日	年 月 日		
ホームページ	https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/41/jigyou-kyoukai.html		
活動内容	<p>伊那谷文化芸術祭の開催 毎年、文化の秋たけなわの11月の日曜日、4日間に亘って飯田文化会館、飯田人形劇場を会場に、飯田下伊那地域で活動しているアマチュア舞台芸術家が一堂に会して、日頃の練習成果を発表し合うとともに、団体相互の連携を深めることを目的として実施しています。</p> <p>平成28年度開催状況 会 期:平成28年11月6日(日)、13日(日)、20日(日)、27日(日) 会 場:飯田文化会館ホール、飯田人形劇場 出演団体数:72団体 出演者数:1,611人 入場者数:6,367人 運営従事者数:235人</p>		
	 		
PRしたいこと	<p>伊那谷文化芸術祭30回記念事業 伊那谷文化芸術祭が30回を迎えたことを記念して、イメージソング「だから一緒に、このふるさとで」を一般公募により制作いたしました。この発表演奏会(ピアノ伴奏版、オーケストラ伴奏版)を次のとおり開催します。</p> <p>期 日:平成29年3月19日(日) 午後2時～ 会 場:飯田文化会館ホール 入場料:無料 内 容:オープニング、開会セレモニー、30年の歩み発表、飯田交響楽団によるオーケストラステージ、イメージソング発表</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	いな だに しぜん とも かい		
団体名称	伊那谷自然友の会		
(ふりがな)	いとう わたる		
代表者氏名	伊藤 渉		
設立年月日	昭和60 年 月 日		
ホームページ	http://inadanishizen.grupo.jp/		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会の開催 ・自然講座の開催(生物・地質・環境分野) ・会報「伊那谷の自然」を年6回発行、会員へ郵送。  		
PRしたいこと	<p>伊那谷の美しい自然を観察体験したり、学び、伊那谷の自然を友とする仲間を作りましょう。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	「伊那谷まるごと博物館」という理念で行動しています。		
困っていること	会報「伊那谷の自然」の原稿、編集作業の協力者募集。観察会でのスタッフ募集。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	年会費二千円支払いのみ。他の活動は会員の自由選択、自己責任参加。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	詳しくは、飯田市美術博物館気付 事務局(0260-22811)へご連絡下さい。

(ふりがな)	いいだしみんすいそうがくだん		
団体名称	飯田市民吹奏楽団		
(ふりがな)	こばやし けんじ		
代表者氏名	小林 憲司		
設立年月日	1982年6月15日		
ホームページ	http://iidashisui.blog3.fc2.com/		
活動内容	<p>毎週月・水曜日の午後7時から9時半まで野底山森林公園ふもとの専用練習場で練習しています。年1回の定期演奏会、吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストへの出場、市内外で開催されるイベントへの参加が主な活動です。</p> <p>団員は18歳から50歳代まで幅広い年代が所属しており、親・子・孫の3世代と一緒に演奏できるような団を目指しています。</p> <p>演奏活動とともに、団員相互の交流を深めることも目的の一つであり、阿南町での合宿やレクリエーションなどの交流事業を積極的に行っています。楽しく演奏することはもちろんのこと、演奏技術向上のため外部講師を依頼し定期的な指導を受けています。地域の音楽文化向上のために活動することも重視し、様々な音楽イベントへの参画と、次代を担う子供たちの指導にも力をいれています。</p>		
PRしたいこと	<p>一般の音楽団体ではあまり例のない団所有の練習場を上郷黒田に構えています。また、打楽器や楽譜も多数所有しており、練習環境に恵まれています。</p> <p>現在全パートについて団員募集を行っています。入団希望の方は練習場専用電話0265-52-3350にご連絡ください。(練習時間以外は事務局に転送されます。)</p> <p>しばらく楽器に触れていなかった人もやる気があれば大丈夫。私たちと一緒に活動しませんか？</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	演奏会や講習会の共同開催など。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	当団の活動に対し賛同いただける方で、基本的には18歳以上の一般社会人を入団の条件としています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	定期演奏会などのスタッフ(裏方)としてお手伝いいただける方を募集しています。音楽経験がある方は大歓迎ですが、特に条件はありません。

(ふりがな)	いいだしれんごうふじんかい		
団体名称	飯田市連合婦人会		
(ふりがな)	もりもと みほこ		
代表者氏名	森本 美保子		
設立年月日	1957年 5月		
ホームページ			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○行政事業への参画 (やまびこマーチ、人形劇フェスタ、生活展ほか) ○各地区行事に参加協力 (文化祭、運動会、ふれあい広場、市民のつどい) ○平和運動 (災害募金、世界平和運動、平和学習研修) ○環境問題への取組 (資源物回収、ゴミ問題学習、もったいないの気持ちで食材を活かす料理学習) ○福祉活動 (床ずれクッション製作配布、ふれあい広場への参画) ○家庭教育学習 ○国際交流関係協力 (国際交流のタベ) ○伊勢市との親善交流 (婦人会交流会、小学生交流会への協力) ○各種学習会への参加 		
	 		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育団体として、まちづくりに貢献。 ○行政の行事や各地区公民館に協力 ○生涯学習の場 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○環境学習 ○ボランティア活動 		
困っていること	○会員の高齢化		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	婦人ならどなたでも
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)			
団体名称	正領田 夕陽グループ		
(ふりがな)			
代表者氏名	松下みさ子		
設立年月日	5/62年 月 日		
ホームページ			
活動内容	 <p>丸山小学校二年生 150余名と 丸山保育園の園児50余名と と季節の野菜を作り 生長と収穫の喜びを味わい そして いろいろな害虫にふかい 野菜の生長におもしろさを感じました</p>		
PRしたいこと	<p>子供等は学校行き帰りに虫や草花を摘み 自然に目を向け 親と語り合える機会にしたい</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	いいだ かんこうがいの の かい		
団体名称	飯田観光ガイドの会		
(ふりがな)	はやし やちみ		
代表者氏名	林 八千美		
設立年月日	平成 8年 10月 21日		
ホームページ			
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>現地研修会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ガイドの様子</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 観光案内 ①丘の上ガイド ②しらびそ高原～下栗の里案内 ③秘境駅ガイド ほか 2 月例会の座学・現地研修による観光案内スキルの向上、研鑽 3 観光ガイドの会パンフレット「案内人と歩く城下町飯田」の発行および配布 4 「飯田駅観光案内所」に於ける土・日・祭日・イベント時の案内所業務支援 5 やまびこマーチ「おもてなしコース」・「案内人と歩く5Kmコース(赤石コース、風越コース)」のご案内 6 りんごん翌日の清掃活動への参加 		
PRしたいこと	<ol style="list-style-type: none"> 1 飯田、下伊那地区の観光案内は、ご依頼があればどこでもご要望にお応えできるように準備しています。是非お声をお掛け下さい。 2 生活している場所でも、案外知らないことが多くあります。一度案内人と一緒に住み慣れた地区を歩いてみませんか、思わぬ発見があるかも知れません。 3 ご案内はお一人様から団体様まで可能です。お申し込み窓口は飯田市観光課 (TEL 0265-22-4852 FAX 0265-22-4567)です。 <div style="text-align: right;">  </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各団体が企画するイベントなどで観光ガイドを実施したい。 		
困っていること	<ol style="list-style-type: none"> 1 飯田観光ガイドの会をもっと活用していただきたい。 2 会員数の確保・増員が難しく、案内依頼が集中した場合の対応が柔軟にできない。 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ol style="list-style-type: none"> 1 飯田・南信州に愛着のある方で、ご案内する事に興味があり、かつウィークデーの日中にもガイドが可能な方。 2 年会費は1,000円となります。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	ろうどくほうし の かい こえ の わ		
団体名称	朗読奉仕の会 「声の輪」		
(ふりがな)	なかむら ちよこ		
代表者氏名	中村 千代子		
設立年月日	S56年12月9日朗読奉仕の会発足 S57年4月「声の輪」結成		
ホームページ			
活動内容	 <ol style="list-style-type: none"> 1. 録音図書(声の本)を作成する。 2. 希望があれば、対面朗読を行う。 3. 「声の輪だより」を作成し、貸し出す。 4. よい録音図書作成のために、例会を開き、勉強、研修を行う。 5. 録音図書利用者と交流会を行う。 		
PRしたいこと	<p>視覚障がい者、高齢で目の不自由な方、物理的に本を利用できない方、入院患者、ねたきりの状態の方等々、是非利用してほしい。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること	<p>・音訳 ー第一校正ー第二校正ー編集の過程なので、完成までに時間がかかる。作業分担を如何したらよいか。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	・図書館で開催する養成講座(1年間)を受講する。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな) 団体名称	いいだこどもげきじょう 飯田子ども劇場		
(ふりがな) 代表者氏名	なかむら ゆみこ 中村 由美子		
設立年月日	1973年 12月 1日		
ホームページ	http://iidakogeki.web.fc2.com/		
活動内容	<p>子ども達の感性・想像力、生きる力を育むために、以下の活動を行っています。</p> <p>○定期的な舞台鑑賞 舞台劇・人形劇・音楽・芸能など、様々なジャンルの舞台を、年齢に合わせて鑑賞。作品を通して、視野を広げる。⇒劇団との交流会、原作を読む会、作品にあわせた工作、等。</p> <p>○キャンプやおまつり等の体験と、子どもの自主的な参加を意識した活動。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="352 707 863 1122" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">おやこキャンプ</p> <p style="text-align: center;">小さい子から大きい子まで、自分のできることは自分で。</p>  </div> <div data-bbox="890 707 1437 1122" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">鑑賞会</p> <p style="text-align: center;">鑑賞会の当日の係りを、分担して担当。見るときのマナーを毎回確認します。</p>  </div> </div>		
PRしたいこと	<p>会員が自分たちで、計画・運営している会です。与えられたものに参加するのではなく、子ども達が自分で考えて動くことができるように取り組んでいます。</p> <p>毎年行っている「おまつり」は、有志によるステージ発表(太鼓演奏・リコーダー演奏・コカリナ演奏)、食べ物やゲーム・工作などの模擬店、小さい子向けのおもちゃや紙芝居の部屋など、赤ちゃんから高校生まで、大人と一緒に楽しみました。「おまつり」を通して、自分で計画して模擬店を出す体験、準備や片づけを進んで行う姿など、子どもの成長を感じています。</p> <div data-bbox="1015 1200 1445 1525" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">おまつり子どもの店「お菓子作り」</p>  </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	◎ 舞台鑑賞の共同開催 ◎ おまつりの紙芝居の依頼、秋の星見会の星座の説明		
困っていること	(None listed)		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	赤ちゃんから、どなたでも、年齢制限ありません。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	ありません。

(ふりがな)	ふうどしや		
団体名称	ひさかた風土舎		
(ふりがな)	はせべ みひろ		
代表者氏名	長谷部 三弘		
設立年月日	1991年 2月 日		
ホームページ			
活動内容	 <div data-bbox="954 510 1417 1086" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>鎮守の杜寺子屋 長野県飯田市上久斐 主催・ひさかた風土舎</p> <p>Ⅰ 寺子屋活動の動機 地域の「教育力を高めたい」との思いから、教育制度（明治5年・1919）がなかった江戸時代にも、上久斐村には寺子屋が10ヶ所、ほほまき集落にあった。先人達は、自分の子弟は自分たちで「学びの場」をつくってきた。この先人たちの知恵と努力に学びたい、寺子屋を開設した。</p> <p>Ⅱ 活動の具体的な内容 1 夏休みの期間中、2 進学の手助け、3 小学生を対象、4 地域社会の体験、5 習題で分からない夏休みの目標に、1991年「別紙」から開設している</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <small>新築の会堂全貌</small> </div> <div style="text-align: center;">  <small>夏休みの子ども達</small> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <small>お寺に空堀を築いて</small> </div> <div style="text-align: center;">  <small>飯倉に絵を原稿も作り</small> </div> </div> </div>		
PRLしたいこと	 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること	・会員の高齢化		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	活動に興味がある人だけでも可
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

団体名称(ふりがな)	黒田人形保存会 くらだ にんぎょうほぞんかい (所在地 飯田市上郷下黒田)		
(ふりがな) 代表者氏名	かいちょう たかだ まさお 会長 高田正男 飯田市 上郷 黒田 1331番地(電話0265-52-5991)		
設立年月日	黒田人形の初まりは元禄年代(酏1600年)で以来遠々と伝承され、一度も途切れた事が無く現在も伝承しています。保存会組織にしたのは昭和28年4月です。		
黒田人形専用舞台	間口8間・奥行4間・総二階建て。「出桁造りの本格構造・古さ・大きさ」が人形専用舞台としては日本一との事で、国の有形重要文化財に指定。所在地 飯田市上郷黒田2346番地。		
黒田人形浄瑠璃伝承館	脇舞台も備えた本格舞台・観客席150人程・楽屋4室等もあり種々の芸能上演や稽古・発表会に最適の重厚和風建物で時間貸出しもします。所在地・飯田市上郷黒田2344番地2。 電話 0265-56-6623 (非常勤) 問合せ・上郷公民館 電話0265-24-7744		
ホームページ	http://www.city.iida.lg.jp/puppet/kuroda/		電話 0265-56-6623 (非常勤) 問合せ・上郷公民館 電話0265-24-7744
活動内容	<p>黒田人形とは、浄瑠璃の語りで演じる人形芝居で、日本独特の伝統芸能であり、淡路人形や大阪の文楽と同様です。黒田人形の芸は国の無形文化財・舞台は国の重要有形文化財に指定されています。</p> <p>郷土に伝承されている伝統芸能を更に伝承していくのが保存会の事業であり、その芝居の上演実技を担当する座員は保存会会員でなくとも同好の人を募集しています。この座員は、黒田以外に住む人でも構わず非常勤で同好クラブ的なもので稽古や上演の時に出席参加してもらえば良いのです。この人形芝居とは、三味線の伴奏で語る義太夫に合わせて人形を動かして演じる人形芝居なので、その人手間が必要です。</p> <p>その必要な人とは、義太夫を語る「太夫」、その伴奏の「三味線を弾く人」、人形を動かす「人形遣い」その外に「裏方」なども必要となります。義太夫や三味線は専門家が来て各個人毎に教えて貰えます。</p> <p>上演は、定期公演と依頼を受けて行う出張上演があります。定期公演は毎年4月の第二日曜日の午後1時からと、その前夜6時30分からの2日間を黒田人形専用舞台で行います。他には、いいだ人形フェスタや、伊那谷の四座の発表会がありますし、上演を依頼されれば出張上演も行います。近年は結婚式披露宴などの席へも、上演に呼ばれ出向いています。</p>		
PRしたい事	<p>※ 上記の定期公演は郷土伝統芸能で入場無料ですのでお出掛け下さい。</p> <p>※ 団体や会社等の行事のアトラクションに呼んで下れば出張上演します。結婚式披露宴などの席へにも、目出度い芸の「寿式三番叟」を10分位なので上演に呼んで下されば出向いています。</p> <p>※ 一緒にやって下さる方を増やしたいので、人形を動かす「人形遣い」、義太夫を語る「太夫」、その伴奏の「三味線を弾く人」、マンツーマンでお教えします。気持ちのある方は、保存会事務局にもなっている上郷公民館(電話 0265-24-7744)へお問い合わせ下さい。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件	<p>高陵中学校に黒田人形クラブ部もあり上郷小学校にチャレンジ授業で黒田人形部があり。保存会で人形をやっているメンバーは、男女ともに入会でき、サラリーマン青年・主婦や熟年の人達が、現在30余人ほどが実演仲間に入っています。</p> <p>人形つかい・三味線弾き・語る太夫など全く無経験の人でも大丈夫です、マンツーマンで細かに教えます。そのほかに、写真カメラ・ビデオ撮影や裏方などやって頂く方も必要です。要員募集の条件等は特にございませぬ。一緒に楽しくやってくれる方を募集しています。上郷にお住みで無くても結構です。三味線はお貸しします。お問い合わせは、黒田人形保存会事務局の上郷公民館(電話0265-24-7744)へどうぞ。</p>



(ふりがな)	飯田交響楽団		
団体名称	飯田交響楽団		
(ふりがな)	やたか もりと		
代表者氏名	矢高 森人		
設立年月日	1989年より		
ホームページ	http://www.geocities.co.jp/MusicHall-Horn/2592/		
活動内容	<p>飯田下伊那に唯一のオーケストラ団体として、クラシック音楽の演奏や、地域への貢献を目指して活動しております。毎週水曜日 19時～ 場所は主に飯田文化会館にて練習しています。</p> <p>5月 オーケストラと友に音楽祭「オーケストラのおと」に参加 名古屋フィルハーモニー管弦楽団の方々と飯田交響楽団の合同オーケストラで多くの子どもたちにオーケストラの魅力をお伝えしました。</p> <p>10月 飯田交響楽団定期演奏会を開催し、ベートーヴェン交響曲第7番をメインに、ソリストに澤田幸江さんをお迎えしシベリウス バイオリンコンチェルトを演奏致しました。</p> <p>11月 伊那谷文化芸術祭に参加 映画音楽などを取り入れ演奏致しました。</p>		
PRしたいこと	<p>オーケストラと友に音楽祭では、小学生を対象とした演奏会を新規プロジェクトに飯田交響楽団も参加し、名古屋フィルハーモニー交響楽団との合同演奏を企画しております。</p> <p>保育園への出張演奏会や、老人ホームへ出張演奏など、ご依頼いただいたところへ出張演奏も積極的に行っております。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	合唱団や劇団とのコラボレーションも考えていきたい その他にも地元で活躍されている音楽家との協奏曲等		
困っていること	弦楽器の団員を募集しています。特にコントラバス、ビオラ、ヴァイオリン、トロンボーン、トランペット経験者大募集です。 お気軽にお越し頂ければと思います。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	クラシック音楽が好きで、ご自身で楽器を持っていればOKです。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	演奏会等の当日スタッフのお手伝いを頂ける方募集しております。 ご協力頂ける方、ご連絡お待ちしております。



(ふりがな)	かがくこうさくきょうしつすいしんきょうぎかい		
団体名称	科学工作教室推進協議会		
(ふりがな)	しろた けんじ		
代表者氏名	代田 賢治		
設立年月日	平成 5 年 4 月 1 日		
ホームページ	なし		
活動内容	 <p>年間4回の子ども科学工作教室を実施 第1回 三極モーターカーの製作 三極モーターを組み立てて電池で動く車を製作します 第2回 ソーラーロボの製作 太陽光パネルを搭載したロボットを製作します 第3回 天体望遠鏡の製作 8種類の筒を組み合わせて天体望遠鏡を製作します。 第4回 センサーロボットの製作 音で動く4本足のロボットを製作します。</p>		
PRしたいこと	<p>飯田下伊那の小学校4年生から6年生までの子どもを対象にして45名定員で行っています。各回のキット代金は個人負担です10の企業等から指導に来てくれて、個人的な指導をしてくれるので、保護者は同伴しなくても一日じっくり製作し、完成して持ち帰れます。製作したものを動かして遊んだり、天体を観測したりできます。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	現在、飯田下伊那の企業9社と飯田OIDE 長姫高等学校の生徒さんなどが毎回指導に参加してくれます。他にも指導を希望する企業などがありましたら受け入れます。		
困っていること	科学工作教室推進協議会への参加企業は9社です。もっと参加企業を増やしていきたいと思えます。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	募集はしていませんが、飯田市工業課で受けれています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	たつおかじゆうがっこう		
団体名称	竜丘自由学校		
(ふりがな)	しもだいら たけひこ		
代表者氏名	下平 威彦		
設立年月日	平成13年6月		
ホームページ	(なし)		
活動内容	<p>【全体での活動】</p> <p>(1) 甘藷栽培(保育園の食育と)</p> <p>(2) 「丘のみちしるべ探索」のガイド(竜丘小学校春の遠足)</p> <p>(3) 竜丘文化祭(大学芋・子どもの遊び)</p> <p>【分科会的活動】</p> <p>(1) 茶道教室(毎月2回 土曜日)</p> <p>(2) 親子料理教室(隔月1回)</p>		
	芋の植付	茶道	
			
PRしたいこと	竜丘の若者・子どもに夢を育てたい。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	(1) 放課後子ども教室への協力・連携 (2) 竜丘古墳の会、昆虫友の会との連携 … 丘のみちしるべ探索にて		
困っていること	会員の固定化(高齢化) … 若い会員の入会を望む		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	どなたでもやる気のある方大歓迎
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きざわちくかつせいかすいしんきょうぎかい		
団体名称	木沢地区活性化推進協議会		
(ふりがな)	かいちょう まつした きよし		
代表者氏名	会長 松下 規代志		
設立年月日	平成3年 4月1日		
ホームページ			
活動内容	<p>○地域資源を活用した交流による主な活動</p> <p>通年 5役会議、役員会、学校周辺整備作業、来校者受け入れ 他団体との交流、遠山森林鉄道復活支援ほか</p> <p>5月 総会 6月 南アルプス開山式 6月～3月 市内の小学校ふるさと体験受け入れ 9月 遠山郷マラニック大会支援 11月 地域住民への活動報告と紅葉まつり</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>小学生のふるさと体験学習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>活動報告と紅葉まつり</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・当協議会は、木沢小学校が休校になった平成3年4月に発足し、今年で26年目を迎えます。地域の活性化を図る為、その後廃校になった木造校舎を活用した各種交流による取り組みを行っています。 ・交流人口も年々増加し、木造校舎保存に賛同される来校者のご厚意と役員ボランティア活動のお陰で、施設の維持管理が行われています。 ・昔懐かしい木造校舎で日常生活からタイムスリップし、癒しの空間で子供のころの思い出に浸ってみませんか。各教室には各種団体の活動紹介や木沢の歴史的(霜月祭り、森林鉄道など)な展示品による紹介がされています。また、校長として親しまれている猫もおり、訪れる方をやさしくお出迎えしています。 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・他団体が企画・計画する各種交流事業への木造校舎をはじめとする地域資源の提供(一部有償) 		
困っていること	役員の高齢化と後継者の確保		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	


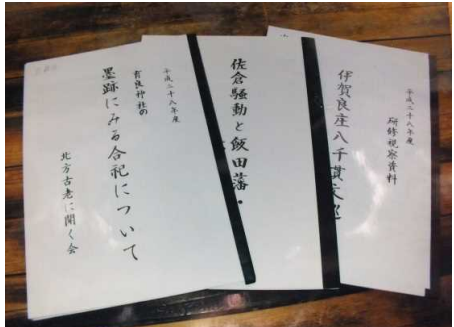
(ふりがな)	きねはらがっこうおうえんだん		
団体名称	杵原学校応援団		
(ふりがな)	いのうえ まさお		
代表者氏名	井上 征雄		
設立年月日	2005年5月		
ホームページ	http://kinehara.net/		
活動内容	  <p>○年間を通じて活動を行っております。平均月に1～2回程度の事業を旧山本中学校、通称「杵原学校」を核にして実施しています。</p> <p>○主に、こども教室開催、農業体験、農場の運営、里山散策、大人向けの勉強会、南信州観光公社の体験教育旅行受入、その他校舎や敷地内の整備作業も行っております。</p> <p><子ども教室・農業体験・食文化教室></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャガイモ、さつまいも、白菜、大根など植付、収穫体験 ・土器づくり、おやすづくり、餅つき、紙飛行機づくり ・柏餅、ジャガイモ料理、流しソーメン、おやき、さつまいも料理、五平もち、ケーキ作り、餅料理、恵方巻き <p><里山・屋外体験></p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイキャンプ <p><施設等整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大掃除 <p><地域おこし></p> <ul style="list-style-type: none"> ・杵原学校桜フォトコンテストの開催 ・杵原学校の枝垂れ桜見頃期間の桜まつり(おもてなし活動) 		
PRLしたいこと	<p>○地域の方が講師になって、経験から生まれた知識を元に、杵原学校を中心にした屋内外活動や自然に触れることからの本物体験を行っています。</p> <p>○同様に地域の伝統、文化の継承を行っていくための活動もしています。</p> <p>○この様な活動を通じて地域の活性化や、地域おこしにつながる活動にしていきたいと考えています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○個々の取り組み内容では出前の講師対応も可能なものもありますのでご相談ください。</p> <p>○木造校舎の保存、利活用を行っている団体と交流を深めたいです。</p>		
困っていること	<p>○今後、応援団員の平均年齢の高さからくる事業の継続性の問題</p> <p>○若い団員の確保</p> <p>○各事業での講師人数確保</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>時間とやる気のある方歓迎、経験不問。</p> <p>費用負担は軽微ですが、報酬はほぼ無いので、それでも構わない方、地域外の方でも入会はOKです。</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>基本は会員と同様です。</p> <p>ボランティア即、団員可ですのでお気軽にご参加下さい。</p> <p>会則、会費などの複雑な縛りはありません。</p>



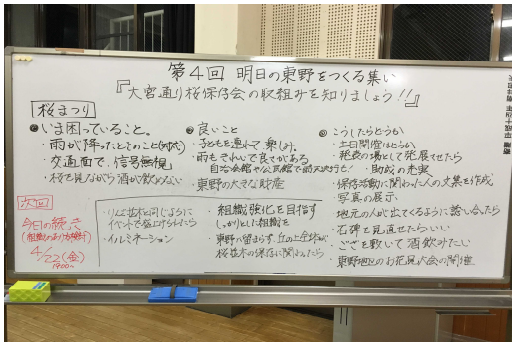
(ふりがな)	みなみしんしゅういーだおもしろかがくこうぼう		
団体名称	南信州飯田おもしろ科学工房		
(ふりがな)	みうら ひろこ		
代表者氏名	三浦 宏子		
設立年月日	平成13年 6月 日		
ホームページ	www.i-kagaku.net		
活動内容	 <ul style="list-style-type: none"> ・理科実験ミュージアム 4月～11月(51回) ・出前工房(40回) ・幼稚園、小学校等の支援活動(40回) 		
PRしたいこと	<p>飯田市出身のサイエンスプロデューサー後藤道夫先生の「故郷飯田の子どもたちに科学の楽しさと不思議さを知ってもらいたい。科学を好きになってもらいたい。」という想いから始まった。かざこし子どもの森公園おいで館に拠点を置き、理科実験ミュージアムを開催している。大人でも子どもでも楽しい実験をめざし、科学をより身近に感じてもらうため、身のまわりにあるものを使った理科実験、工作の指導、実演を行っている。</p> <p>日常のあつと驚く不思議な体験や感動を通じて、子どもたちに考える力や科学の興味を持ってもらい、科学の楽しさを知った大人たちには、科学を通して地域活動の輪を広げ、地域を活性化する一助になりたい。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業に結びつけた実験メニューの開発、実施をしていきたい。 ・地域の青少年関係団体と連携しながら科学の輪を広げていきたい。 		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	理科や科学が好きの方、子どもが好きの方なら特に資格は問わない。

(ふりがな) 団体名称	おみのさとしんこういいんかい 麻績の里振興委員会		
(ふりがな) 代表者氏名	つつい せいいつ 筒井 誠逸		
設立年月日	平成 11年 4月 1日 (平成6年設立平成11年再編成)		
ホームページ	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">座光寺</div> <div style="margin-right: 5px;">で検索</div>  </div>		
活動内容	<p>座光寺地域中段には元善光寺・高岡1号古墳(県宝)・麻績学校舞台校舎(県宝)・南本城(県史跡指定)・麻績の里舞台桜(市天然記念物)・石塚桜(石塚古墳の上)にありさらに恒川官衙遺跡(国史跡指定)等文化遺産が集積している。これらの文化遺産ゾーンを保護活用して地域振興のため、地域住民が自ら行動することを基本に座光寺地域自治会の特別委員会として4班編成で活動を展開してきた。</p> <p>具体的内容: 主な内容として、 1班: 元善光寺門前町(県道市場桜町線)の活性化 2班: 南本城の山林間伐・遊歩道の草刈・史跡案内看板等の整備 3班: 麻績舞台校舎の活用と舞台桜保護と周辺整備 4班: 南信州を軸とする竹宵による地域活性の展開</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="343 808 975 1133">  <p>麻績の里桜まつり</p> </div> <div data-bbox="1002 636 1442 920">  <p>門前町の小菊</p> </div> <div data-bbox="1002 936 1442 1220">  <p>弦楽四重奏(舞台校舎)</p> </div> <div data-bbox="1002 1236 1442 1487">  <p>麻績竹宵の会「かぐや姫」</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>『自ら考え自ら行動する麻績の里づくり』を合言葉に地域の有志ボランティアで活動を継続している。会員の職業も様々で事業においては参加できない時もあるが強制的な召集はしていない。活動にあたっては“自分たちが楽しみながら地域を盛り上げる”が継続の力となっている。</p> <p>☆座光寺のホームページを是非ご覧下さい☆</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>今後はリニア建設・開通に伴い、様々な地域状況や生活の変化が生じ、なにより長野県の玄関口として県内県外大都市から人の往来により、広範囲な交流・国際化が想定される。そのような変化を機として座光寺地域の魅力を発信し地域振興のため、従来からの活動の継続と充実はもとより、新たな発想で新たな活動および組織柔軟な対応が必要となる。それらを課題とした他団体との意見交換や交流を行いたい。</p>		
困っていること	会員は年代が殆ど50代以上の男性であり、若年層や女性の加入が課題		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地域会員を基本とする
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	大変な作業を笑顔で出来る方

(ふりがな)	とおやまやまのかい		
団体名称	遠山山の会		
(ふりがな)	こざわきんぞう		
代表者氏名	小澤欣三		
設立年月日	平成12年頃 (以前よりの活動を統合)		
ホームページ			
活動内容	 <p>西澤渡の渡し修繕H28.7</p>  <p>登山道整備 西澤渡手前 H28.7</p>  <p>中学登山サポート 熊伏山 H26.7</p>  <p>登山道看板設置 池口岳 H28.9</p>  <p>登山道倒木処理 池口岳 H28.9</p>		
PRしたいこと	 <p>聖岳(百名山)</p>  <p>光岳(百名山)</p>  <p>池口岳</p> <p>こんなに素晴らしい自然が身近にあることを自分の眼と体で確かめてみてください！</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体と情報交換をしながら大勢の人が気楽に山を楽しめるようにしたい。		
困っていること	アクセス道路や、登山道の整備が間に合わないこと。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	入会金2000円、年会費2000円。一緒に山岳と酒を楽しめる老若男女。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	一緒に登山道整備等の環境保全に汗を流してくれる人。

(ふりがな)	しゃかいりりょうほうじん りつざんかい いいだびょういん		
団体名称	社会医療法人 栗山会 飯田病院		
(ふりがな)	ちば きょう		
代表者氏名	理事長 千葉 恭		
設立年月日	明治36年 9月 1日(1903)		
ホームページ	http://www.iida.or.jp		
活動内容	  <p>当病院は、病院理念の具現化として「医と文化の融合」を掲げ、各種の文化事業に取り組んでいます。特に一流の演奏家を招いて病院エントランスホールで毎月1回行う「ロビーコンサート」は、非常に好評を博しており、さらにロビー空間への絵画・写真作品などの展示活動等は「公開」の精神に貫かれております。</p> <p>また、最先端精神科医療を学ぶ「精神科公開ゼミ」、院内での事例研究発表を行う「飯田病院学会」などの活動も活発に行っています。</p> <p>病院そのものを地域におけるアメニティー空間として一般に開放するなど、文化による「交流」の場を地域に創出しています。</p>		
PRしたいこと	<p>諸活動の中でも特に病院ロビーをコンサート会場として使用し、入院患者さんをはじめ来院者が、一流の演奏家による生の音楽を無料で気軽に楽しむこと出来る「ロビーコンサート」は、毎月1回原則として土曜日に開催しておりますが、平成28年12月17日で161回となり市民の皆様から極めて高い評価をいただいております。</p> <p>さらに地域の著名な作家や飯田市スポーツ少年団絵画・飯田市動物園写生大会絵画の入選作品の展示、愛好家団体による写真作品の常設展示なども人気となっています。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	特になし		
困っていること	特になし		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きたがたころうにきくかい		
団体名称	北方古老に聞く会		
(ふりがな)	こんどう じゅんじ		
代表者氏名	近藤 純治		
設立年月日	平成 8年 1月21日		
ホームページ	無		
活動内容	 <p>北方区民祭 西の原古墳出土品展示 伊賀良の庄刻印の瑞光院の梵鐘を訪ねて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方地区内の歴史文化風俗習慣等を古老(先輩)より聞き取り文書化啓発し、後世へ伝えることを目的とするから古老が語り継ぐことが目的になりつつある。 ・ 歴史的内容で研修視察を年一回行い、今年は伊賀良の庄刻印梵鐘を阿南町新野瑞光院を訪ねた。 		
PRしたいこと	<p>平成28年度発刊小冊子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伊賀良の庄八千貫文巡り ・ 墨跡に見る育良神社合祀について ・ 他地区との歴史的情報の交換を望む 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館事業(ゲームウォーキング 伊賀良を学ぼう)等への協力 ・ 北方公民館事業(文化祭 笠松登山 里山ウォーキング)のガイド役 		
困っていること	今までに調達した資料のまとめ方		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	北方地区在住で歴史に関心のある方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

<p>(ふりがな)</p>	<p>おおみやとおりさくらほぞんかい</p>		
<p>団体名称</p>	<p>大宮通り桜保存会</p>		
<p>(ふりがな)</p>	<p>いのうえ もとし</p>		
<p>代表者氏名</p>	<p>会長 井上 基</p>		
<p>設立年月日</p>	<p>昭和46年 4月 1日</p>		
<p>ホームページ</p>			
<p>活動内容</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>＜第1回桜祭り前夜祭公演橋北屋台囃子＞</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>＜第39回桜祭りの様子パピーウォーカー＞</p> </div> </div> <p>・平成28年4月2日、3日の大宮通り桜祭りは、初めての試みとして前夜祭公演を4月2日飯田市民館を舞台に太鼓演奏2団体(橋北屋台囃子、命響館)とプロのバンド(パピーウォーカー)1団体の参加で開催しました。4月3日の桜祭り、写生大会も好天により実施しました。(協力団体、東野連合青壮年会、東野まちづくり会議)</p> <p>・平成28年11月24日(木曜日)、桜の保存活動の勉強会をグリーンプロテクション渡邊理事さんに講師を依頼し開催しました。</p> <p>・9月には桜154本にマイナンバーによるカルテが完成しました。</p>		
<p>PRしたいこと</p>	<p>1大宮通桜並木 地域の人々が大宮通り桜保存会の活動を知る勉強会を開催しました。 地域の意見により、前夜祭が実施されました。</p> <p>2桜並木の再整備 桜の木の健康診断調査を実施し、154本のそれぞれにカルテを作りデータ化しました。 次年度4月末以降に保存作業を実施する予定です。</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
<p>他団体との連携が可能なこと・したいこと</p>	<p>①冬のイルミネーション点灯を他団体等と連携して桜並木700mの全区間を実施したい。 ②桜祭りの前夜祭公演に各種芸能団体等の参加希望を歓迎します。 ③桜祭りの交通規制区画にフリーマーケット区画を設置し出展者を募集します。</p>		
<p>困っていること</p>	<p>会員のみならず高齢化に伴い、掃除活動等の負担感が増してきている。</p>		
<p>会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)</p>	<p>×</p>	<p>条件等</p>	<p>現在のところ地区内9町内で管理していますが、今後は東野地区全体に広げていきたいと考えています。</p>
<p>ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)</p>	<p>○</p>	<p>条件等</p>	<p>広く一般に募集</p>

(ふりがな)	みなみしんしゅう ししまい ふえずていばる じっこういんかい		
団体名称	南信州獅子舞フェスティバル実行委員会		
(ふりがな)	とぎき たかし		
代表者氏名	戸崎 敬		
設立年月日	平成20年 月 日		
ホームページ	http://minamishinsyu-shishimai.com/9fes/		
活動内容			
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	①子ども達に獅子舞が体験できる場所を設置したい。獅子舞体験コーナー ②他団体、ダンスや太鼓と獅子舞とのコラボレーションな舞		
困っていること	獅子舞の演出方法。資金面での苦勞		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	獅子舞が好きで飯田をより良い所にしたいと思っている方ならOK
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	獅子舞が好きなら誰でもOK

(ふりがな)	いいだおーあいでいーいーおさひめこうとうがっこう コンピュータ制御部 テックレンジャー		
団体名称	飯田OIDE長姫高等学校 コンピュータ制御部 テックレンジャー		
(ふりがな)	にしむら たけひさ		
代表者氏名	西村 武久		
設立年月日	平成23年 4月		
ホームページ	http://www.nagano-c.ed.jp/oideosa/		
活動内容	 <p>コンピュータ制御部の「テックレンジャー活動」は6年目となり、地域ではすっかり有名になるまでに成長している。年間20回のショー出演や、様々なイベントへ参加するなど精力的に活動しており、飯田市にしっかりと根付いている。</p> <p>テックレンジャーを希望する生徒も年々増えており、今年は9人のヒーローが登場し盛大なショーになった。また、その他にも”CM制作”や、”子ども工作教室”を実施しており、様々な形で地域住民と交流をしている。</p>		
PRしたいこと	飯田市を守り続けている「テックレンジャー」はこれからも永遠に続くかはわかりません。そこで、私たちは”今”を大切にしております。地域の皆様にお会いできる場にはできるだけ出勤するようにしています。イベント等で出演依頼を検討されている場合は、まずはご一報ください。生徒ともども頑張りますのでよろしくお願いいたします。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	協力企業と連携した小道具の製作や、ショーの実施などを検討しております。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	飯田OIDE長姫高等学校に入学して、コンピュータ制御部に入部する。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

<p>(ふりがな)</p>	<p>ちいきぐるみかんきょうあいえすおーけんきゅうかい</p>		
<p>団体名称</p>	<p>地域ぐるみ環境ISO研究会</p>		
<p>(ふりがな)</p>	<p>せき しげお</p>		
<p>代表者氏名</p>	<p>代表 関 重夫 (多摩川精機株式会社 代表取締役社長)</p>		
<p>設立年月日</p>	<p>1997年11月</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>http://www.city.iida.lg.jp/site/kankyouseisakujouhou/isokenkyuukai.htm</p>		
<p>活動内容</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>飯田市の環境記念日に協働して開催</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ISO規格改訂の対応も地域ぐるみ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>地域独自の環境ISO「南信州いいむす」</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>参加事業所代表者による会議・実務者の会</p> </div> </div>		
<p>PRしたいこと</p>	<div style="display: flex;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p>研究会は設立20周年 12月13日に人形劇場で行われた記念式典 代表者もボランティア 研究会は組織も活動も次のステージへと移った</p> </div> </div>		
<p>他団体との連携が可能なこと・したいこと</p>	<div style="display: flex;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;"> <p>研究会はノーマイカーや省エネ活動など一斉行動の週間を設定して研究会参加事業所以外にも参加を呼びかけています。研究会ホームページにあるアドレスにメールをしていただき取り組みの輪を広げましょう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;"> <p>研究会は規模の小さな事業所が力量に応じて取り組むことができる地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」を構築・審査・運用支援しています。事業所の環境改善、ご相談ください。</p> </div> </div>		
<p>困っていること</p>			
<p>会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)</p>	○	<p>条件等</p>	<p>研究会はボランティアな組織です。それぞれの事業所内での環境改善のノウハウを地域に還元しませんか。</p>
<p>ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)</p>		<p>条件等</p>	

(ふりがな)			
団体名称	特定非営利活動法人 南信州おひさま進歩		
(ふりがな)	こぼやし としあき		
代表者氏名	小林 敏昭		
設立年月日	2004年5月27日		
ホームページ	http://www.ohisama-shinpo.or.jp		
活動内容	<p>①地球温暖化防止を図る活動 ②まちづくりの推進を図る活動 ③社会教育の推進を図る活動 ④子どもの健全育成、環境教育の推進を図る活動 ⑤前号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言、援助の活動</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="359 712 762 1010">  <p>橋北イベント ソーラークッカー</p> </div> <div data-bbox="991 506 1394 808">  <p>保育園 パネルシアター</p> </div> <div data-bbox="836 846 1219 1115">  <p>市民向け講演会</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>NPO発足当初、市民からの寄付を集め、飯田市内明星保育園に太陽光パネル「おひさま発電所1号」として3kWの市民太陽光発電所を設置しました。そこでは子どもたちが太陽光発電を身近に捉え、未来のエネルギーを創造する力を養っています。おひさま発電所の他の児童施設でも幼児向け環境教育(パネルシアター)を実施し、太陽光発電の仕組み、自然の大切さ、省エネの大切さをわかりやすく子供たちに伝えています。</p> <p>2016年5月には、地域における自然エネルギーの更なる普及を見据え、現場で求められるエキスパートの育成を目的に飯田自然エネルギー大学を開校しました。</p> <p>また、地区公民館、まちづくり委員会と協働で環境学習講座の開講や文化祭への出店を実施。今年度の市民向け講演会は、「エネルギー自立が地域を変える～太陽、森、水と里山資本主義～」と題し、藻谷浩介氏に登壇いただきました。自身のエネルギー消費やライフスタイルを見直す機会を作っていたからこそ企画した古いエアコンコンテストでは、42年前のクーラーがグランプリを獲得しました。今後も、再生可能エネルギー・省エネルギーで持続可能な地域社会を実現するために、ますます努力していきます。</p> <div style="text-align: right;">  <p><さんぼちゃんの誓い> いらないでんきはつかいません あかるいでんきは たいようからの おくりもの おひさまパワーで あかるい まいにち みんなでなろう さんぼちゃん</p> </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>◇他団体と連携して地球温暖化防止活動や環境教育の推進を図る事業。 ◇各地区の公民館やまちづくり委員会と連携し、環境問題を課題に地域のまちづくりに関わる事業。(住民向け省エネ講座、文化祭へのワークショップ出展、春休み・夏休みのイベント企画・出前講座)</p>		
困っていること	一緒に活動してもらえる新規会員を求めています。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地球温暖化防止や南信州おひさま進歩の活動に関心がある
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地球温暖化防止、環境教育、まちづくりなどに関心・関心がある

(ふりがな)	てんりゅうきょうしょうわおとめのかい		
団体名称	天龍峡昭和乙女の会		
(ふりがな)	おそ かずこ		
代表者氏名	尾曾 和子		
設立年月日	平成20年 6月 1日		
ホームページ			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の天龍峡遊歩道清掃活動(草刈) ・飯田やまびこマーチの接待 ・天龍峡をどり子ども縁日の実施 ・天龍峡花祭り「天龍峡コンテスト」実施 ・来峡者へのご意見箱設置し、意見感想の集約、検討 ・天龍峡お雛様めぐり ・水引細工講習により、水引細工作品をおもてなし品として提供、プレゼントなどに活用 ・今年度は来峡者用に傘を購入し、遊歩道沿い何か所に設置しお客様に気楽に使ってもらえるようにした。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>遊歩道清掃</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水引講習会</p> </div> </div>		
PRしたいこと	天龍峡では、是非お越しいただけますよう、おもてなしの心でお待ちしております。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	天龍峡温泉観光協会や地域住民との協力、連携で、天龍峡遊歩道全般の清掃、手入れが継続的にできるようにしていきたい。 天龍峡ご案内人との連携で天龍峡での「おもてなし」をさらに向上させたい。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	随時検討	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きっずやまもとだいさくせんすいしんいいんかい		
団体名称	キッズ山本大作戦推進委員会		
(ふりがな)	かめい つよし		
代表者氏名	亀井 剛		
設立年月日	平成23年 7月		
ホームページ			
活動内容	<p>山本のすべての人が子どもたちの親(P)であり教師(T)であるという理念のもと、山本の子どものために「見守り」「教え」「はぐくむ」活動を展開しています。左側の写真は、杵原学校応援団、山本地域づくり委員会育成部とキッズ山本大作戦推進委員会が共催で行った「杵原学校デイキャンプ」(8/7)の様子です。右側の写真は、山本小学校体育館に旭ヶ丘中学校吹奏楽部、合唱部、伊賀良小の金管バンドー伊賀良IGR sounds、飯田市民吹奏楽団、山本小学校6年生などが集まり、それぞれの演奏やコラボレーションを楽しんだ「キッズ山本大作戦音楽フェスタ」(11/13)の様子です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>杵原学校デイキャンプ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>キッズ山本大作戦音楽フェスタ</p> </div> </div>		
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とおやまごうかんこうきょうかい		
団体名称	遠山郷観光協会		
(ふりがな)	こんどうちかお		
代表者氏名	近藤力夫		
設立年月日	平成17年10月1日		
ホームページ	tohyamago.com		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>遠山郷観光大使 とおやま丸 ゆるきゃら天国inりんご並木にてH26.4</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>チャレンジマラニックin遠山郷 H26.9</p> </div> </div> <p>伊那山脈と南アルプスに挟まれた遠山郷。 遠山へ来たら、かぐらの湯のとなりにある「アンバマイ館」にぜひお寄り下さい。遠山郷観光協会はこのアンバマイ館の中にあります。「アンバマイ館」の名前の由来は、「あんばまいか」。「アンバマイカ」とはこの地方の方言で「遊びましょう」という意味。 観光案内所やホームページを通して、遠山郷の魅力を知ってもらったり、住民との交流を持っていただけたらと、全国の皆さんへ情報発信しています。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。</p>		
PRしたいこと	<p>遠山郷は長野県の最南端、南信濃・上村地方の山深い谷これぞ日本の秘境です。 国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉「かぐらの湯」、日本の原風景が残る場所下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水、山と渓谷に囲まれた里山がここにあります。 心安らぎ、人情味溢れる遠山郷へのお越しをお待ちしています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	情報発信、地域振興における連携、役割分担。		
困っていること	地域として、過疎化・高齢化が深刻になってきていること。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	遠山郷では、遠山郷の外に住んでいて、遠山郷を応援して下さる「第二のふるさと村民」を募集しています。入会金も会費も無料ですが、特にお得な特典はありません！何も特典はありませんが、あなたの心のふるさとにして、応援してくれると嬉しいです。

(ふりがな)	きょうほく おもしろ くらぶ		
団体名称	橋 北 面 白 俱 楽 部		
(ふりがな)	あいづ ひろと		
代表者氏名	座長 相 津 博 人		
設立年月日	平成19年 4月 1日		
ホームページ			
活動内容	  <p>活動内容 4月 橋北桜まつり 7月 橋北夏祭り 11月 県縦断駅伝の応援 12月 橋北イルミネーションフェスタ(旧飯田測候所) 橋北まちづくり委員会と連携しながら事業の企画実施をしています。 橋北地区にある施設、自然を地区内はもちろん、地区外の方に知ってもらいたいとの 思いから住民有志で活動しています。</p>		
PRしたいこと	<p>私たちの趣旨は、「面白そうならやってみる」「出来ることは自分たちでやる」です。 橋北の桜PR、橋北夏祭りの賑わい、駅伝小旗作成、イルミネーションの飾り付けなどを 会員の手だけで協力し合い作業しています。 写真のイルミネーションは、ビニールハウスの 材料を加工して作り上げました。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>イルミネーションフェスタについては趣旨に賛同して下さる団体、企業、学校などのお力をお借りできると幸いです。(イルミネーション制作、展示) 平成28年度は飯田OIDE長姫高校、下伊那農業高校の方にお手伝いいただきました。 例年、おひさま進歩エネルギーさんに御協力いただき、旧飯田測候所の有効利用、及びPRを考えて一緒に活動しています。</p>		
困っていること	<p>会員の高齢化の為、事業の継続 若い会員の確保</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	<input type="radio"/>	条件等	橋北地区在住者で趣旨に賛同して協力できる方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	<input type="radio"/>	条件等	毎年、12月に行っているイルミネーションフェスタにつき、他地区、企業、学校の協力及び参加を募集しています。

(ふりがな)	きょうほくまちづくりいいんかい		
名 称	橋北まちづくり委員会		
(ふりがな)	みやざき えいじ		
代表者氏名	宮崎 栄治		
ホームページ			
メールアドレス	kyouhoku@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「豊かな歴史・文化がいきづき、活力にあふれ、誰もが健康で安心して暮らせる明るいまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康で生きがいをもって暮らせるまちづくり ○安心、安全で快適なまちづくり ○人材育成と、各世代が交流しあい、顔の見えるまちづくり ○まるごと博物館事業・個性のあるまちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1. 旧飯田測候所への歩道開通</p> <p>二本松から旧飯田測候所への歩道が開通しました。 菱田春草生誕地公園方面から、歩いて旧飯田測候所まで来られるようになりました。 5月には開通イベントが盛大に行われ、石畳風の舗装を人力車が往来しました。</p>		 <p style="text-align: center;">歩道開通イベント</p>
	<p>2. 実効ある自主防災組織、自主防災計画づくり</p> <p>総務部が中心となって、いざという時にそれぞれどういう役割を果たしたらよいか、まちづくり委員会全員参加の自主防災組織と、実効ある自主防災計画の策定に取り組んでいます。各町内自治会との役割分担を明らかにし、次年度には防災訓練にも反映できるとよいと考えています。</p>		
	<p>3. 橋北夏祭り、橋北イルミネーションフェスタの賑わい</p> <p>恒例の橋北夏祭りでは、今年は多くの出店をお願いし、様々な企画も時間配分を工夫して多くの参加が頂けるイベントとなりました。高校生にも協力いただきました。</p>		 <p style="text-align: center;">イルミネーション</p>
	 <p style="text-align: center;">夏祭りで高校生の宝投げ</p>	<p>イルミネーションフェスタでは、旧飯田測候所から改修された東栄公園や新設された歩道まで電飾をほどこし、「光の回廊」となりました。クリスマスイベントでは多くの出店を目当てに多くの参加者で賑わいました。</p>	
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○旧飯田測候所の利活用 ○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用 ○歴史的建造物の保存活用 ○空き家の利活用 		
ボランティア募集希望の有無・内容	有り	内容・条件	<ul style="list-style-type: none"> ○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用 ○空き家の利活用 ○イルミネーションフェスタ飾りつけ

(ふりがな)	きょうなんまちづくりいいんかい		
名 称	橋南まちづくり委員会		
(ふりがな)	はら つとむ		
代表者氏名	会長 原 勉		
ホームページ			
メールアドレス	kyounan.machi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	①まちづくり委員会の活性化と総合力の発揮 ②安心して住めるまちづくりの形成 ③環境にやさしいまちづくりの形成 ④地育力の醸成 ⑤道路・河川等の環境整備 ⑥中心市街地活性化の促進		
重点事業又は特徴ある事業や活動	○地域一体となった諸行事への協力体制 橋南夏まつり、文化祭、橋南地区大運動会、ほか ○防災組織体制の強化と計画的な防災用具の整備 ○街頭防犯カメラ設置の推進と防火・防犯巡回 ○ラベンダーの維持管理 ○りんご並木の維持管理と周辺の活性化 りんご並木後援会、収穫祭、周辺清掃など ○地育力の醸成と伝統芸能文化の継承活動 夏休み子ども教室や放課後子ども教室、児童クラブ等を活用し、地域の伝統芸能の継承と、地域への愛着を育む (松一獅子舞子ども教室、天龍太鼓子ども教室、おひまち)		
	救急法講習会		ラベンダー
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容 ・ 条件		

(ふりがな)	はばまちづくりいいんかい		
名 称	羽場まちづくり委員会		
(ふりがな)	ささき しょうじ		
代表者氏名	会長 佐々木 祥二		
ホームページ			
メールアドレス	habamachi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で 目指すまちづくりの目標	安全安心で住みよい羽場地区		
重点事業又は特徴ある 事業や活動	<p>羽場地区まちづくり基本構想・基本計画「羽場の未来構想」を平成27年3月に策定し、2015年度から2027年度までの重点施策を具現化する各種事業を進めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然と伝統文化を守り育てる羽場 2. あいさつと交流で笑顔あふれる羽場 3. 命を大切にする住みよいまち羽場 4. 女性が輝くまち羽場 5. ワクワク体験いっぱいの羽場公民館 6. 清潔で花あふれる羽場 7. 羽場地区土地利用計画の充実 <p>「羽場の未来構想」を柱に据え、より良い地域づくりを進めます。</p>		
			
	羽場地区クリーンアップアクション		サル去れ警備隊、有害鳥獣対策
			
地震総合防災訓練、避難所の開設		羽場セントラルパーク愛護会	
NPO等他団体との連携 が可能なこと・したいこと	地元企業(多摩川精機、飯田病院、カワチほか)、市民団体(グリーンバード等)、小中学校と協働して、主要幹線のポイ捨て防止啓発活動やゴミ拾いに取り組む。		
ボランティア募集希望の 有無・内容	○	内容・ 条件	「環境美化重点区域」の指定を目指し、公園はじめ飯田南木曽線、羽場大瀬木線など、ポイ捨て等防止にご協力ください。

(ふりがな)	まるやま まちづくり いいんかい		
名 称	丸山まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう おざわ のぶよし		
代表者氏名	会長 小澤 伸好		
ホームページ			
メールアドレス	machi-maruyama@aq.wakwak.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「風越山とともに 住み続けたい自然豊かなまち 丸山」(2015～2024年度) 自主・自立の精神の下、丸山地域自治区住民の参加により、住民一人ひとりが豊かさを実感できる、安心・安全で潤いのある地域づくりを進める。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>リニア時代を見据えた丸山地区の10年後を想定した計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域振興【インフラ整備の促進と地域資源を活用した安心安全な地域づくり】 2 健康づくり・地域福祉【子どもの声が響き合う、長寿社会の構築】 3 生活安全【交通安全、防火、防犯対策による安心して暮らせる丸山】 4 環境保全【みんなで守り育てる自然豊かな美しいまち丸山】 5 公民館【より多くの人が集う「公民館」づくりに向けて】 6 自主防災【自分の命は自分で守る・自分たちの地域は自分たちで守る】 <p>計画に基づき各種事業を実施(H28年度の主な取り組み)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 未来へつなぐ 風越山麓わくわくプロジェクト「夕源平ママザクラ植栽」 ・ヤマザクラ育苗、丸山地区シンボル花木の育苗(花:ナデシコ 木:ベニマンサク) 2 丸山の歌を作ろうプロジェクトの発足(H28～H29年度で丸山の歌を作る) 3 防災訓練の実施(避難所開設訓練の実施) 		
			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 風越登山マラソンおもてなし 花壇作成(小中学生と協) </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 防災訓練(避難所開設訓練) </div>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	放課後子ども教室のボランティアスタッフ 第1・2・3水曜日 午後3:20～4:30、土曜日(学期に1回程度)午前9:00～11:30 子どもが好きで一緒に遊んでいただける方

(ふりがな)	ひがしのまちづくりかいぎ		
名 称	東野まちづくり会議		
(ふりがな)	しもだいら きんじ		
代表者氏名	下平 勤司		
ホームページ	http://www.minapo.jp		
メールアドレス	higashinokaigi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>東野まちづくり会議は、飯田市が地域自治組織を平成19年度に導入したことに伴い、従来の東野連合自治会に代わって発足した自治活動組織です。専門委員会として、総務、生活安全、健康福祉、環境保全、公民館があり、東野地区が、元気で住みよい地域になることを目指して、総合的なまちづくり活動に取り組んでいます。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○東野地区基本構想・基本計画の策定(H28～H29年度) 東野地区では、独自の事業や活動を進める上で、道しるべとなるべく具体的なテーマ(めざすべき姿・目標)を盛りこんだ「東野地区基本構想・基本計画」を策定することとなりました。この基本構想・基本計画は、平成30年度から平成39年度までの10年間を対象にして策定します。29年度末までに策定を完了する予定です。</p> <p>○桜並木の再整備に向けた取り組み 桜並木再整備の基本的な考え方をまとめた整備方針(案)が策定されました。基本的には、「桜並木」を市民や来訪者が四季を通じて楽しみ、歩行者に優しい歩道空間を確保するために整備を進めていく予定ですが、桜の内部診断の結果、ほとんどの桜がまだまだ元気であることがわかりましたので、元気な桜を生かした計画となるよう引き続き検討委員会を中心に検討していきます。</p> <p>○桜まつり・桜並木イルミネーション 桜並木の賑わいを創出するために桜保存会を中心に桜まつり及び桜並木イルミネーションを実施しました。イルミネーションは、冬のイベントとして今年で2回目を迎えましたが、今年も市長のカウントダウンを皮切りに12月13日(火)に点灯式を行いました。来年以降さらにイルミネーションのエリアを拡大するよう計画中です。 ※桜まつり:平成28年4月3日(日) ※イルミネーション点灯期間:平成28年12月13日(火)～平成29年1月14日(土)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>桜まつり</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イルミネーション</p>  </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 ・ 条件	

(ふりがな)	ごこうじちいきじちかい		
名 称	座光寺地域自治会		
(ふりがな)	きたはら さんぞう		
代表者氏名	会長 北原 三三		
ホームページ	http://zakoji.jp 		
メールアドレス	ominosato@zakoji.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>文化と歴史の薫る・心豊かに暮らせる『麻績の里 座光寺』 ～自ら考え自ら行動する里づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心通い合うふれあいの里づくり ・地域を愛し自ら行動する人が育つ里づくり ・自然・歴史・文化の誇れる里づくり ・快適で、安心・安全なやすらぎの里づくり ・地域の特性が光る活力ある産業の里づくり ・麻績の里づくりを支える基盤整備 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○長期的な視野に立った取組を行うために、有志で結成する特別委員会を自治組織の中に設置 麻績の里振興委員会、水辺の広場委員会、麻績の里ふるさと応援倶楽部、歴史に学び地域をたずねる会、パノラマファーム大門</p> <p>○リニア中央新幹線に備えるために策定した「リニアを見据えた地域づくりの基本方針」を踏まえて、整備に係る具体的対策組織として「リニア地域づくり推進会議」を新設し、リニア・SIC・アクセス道路等の課題に対応</p> <p>○国史跡「恒川官衙遺跡」をはじめ、数ある歴史文化を活かして、市民の憩いの場や都市との交流と学習の拠点としてまちづくりを推進するために協議・活動する組織として、「2000年浪漫の郷委員会」を新設 主な活動として間伐材を活用した南本城城跡の遊歩道整備事業の実施、専門的な講師を招聘した学習会の開催など、地域文化資産の価値を高め、交流人口増大の一翼を担った。</p> <p>○都市と農村交流による新たな価値観の創造を目的とした、渋谷区との交流事業の推進 渋谷区へのリンゴの植樹、渋谷駅前への竹垣設置、渋谷区からの体験旅行の受け入れ</p> <p>○地域への愛着心を育むため、自然や地域の資源に活用した体験学習への取組への強化。また、地域の情報発信を効果的に行う住民主体のホームページの開設(H26.9開設)</p> <p>○地域住民参画のもと、時期基本構想・基本計画を策定中</p>		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容・条件	

(ふりがな)	まつおちくまちづくりいいんかい		
名 称	松尾地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	おぎそ ひろと		
代表者氏名	会長 小木曾 博人		
ホームページ			
メールアドレス	matuo@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>○松尾地区基本構想 自分たちのまちは自分たちの手で、やらまいか松尾「共生、共働、サステナブルコミュニティ」</p> <p>○松尾地区のまちづくり 重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが心と力を合わせる元気なまちづくり ・安心して暮らせる安全なまちづくり ・子どもから高齢者まで健やかに暮らせるまちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ 平成23年度から継続して開催。八幡宮を中心とした地域の活性化、住民の郷土意識や地区の一体感の醸成、人づくりを目的として11月初旬から中旬に実施。期間の最終日には、笛コンサートなどの催事を行った。</p> <p>○地域安全大会 平成21年度から継続して実施。今年度は交通安全と災害時の対応の内容で開催。地域住民やPTAなど約180名が参加して地域の安全を考えた。</p> <p>○交通規制「ゾーン30」 12月下旬から松尾小学校周辺エリアにおいて交通規制「ゾーン30」を開始。</p> <p>○「今こそ、学校・家庭・地域の絆を深めよう！」講演会 青少年の健全育成事業として今年度初めて開催。東日本大震災の体験に基づいた講演を聞き、地域ぐるみの子育ての重要性を考えた。</p> <p>○学校支援ボランティア(松尾小学校への支援) 松尾を良く知り、専門的な技術等をお持ちの方が、年5回、クラブ活動を指導。</p>		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有り	内容・条件	グリーンベルト(段丘崖の緑地帯)保全活動の実施(竹林伐採、間伐等)

(ふりがな)	しもひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	下久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう ひらさわ ひでひこ		
代表者氏名	会 長 平沢 英彦		
ホームページ	http://www.shimohisakata.com(下久堅地区まちづくり委員会)		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>第8次下久堅地区基本構想「今 そして未来へつなぐ里 ひさかた」平成25～29年度</p> <p>①みんなの絆で未来へつなぐ里づくり ②みんなで助け合い、安心・安全に暮らせる里づくり ③誰もが安心して暮らせる健康・福祉の里づくり ④いきいきとした人と自然の調和する里づくり ⑤地域に愛着と誇りがもてる心豊かな教育・文化の香る里づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>(1)桜色に染まる里づくり・伝統継承 地域の団体や下久堅小児童等の協力で「梶曲輪の桜保全」「桜の苗づくり」「紙すき」などの活動を継続している。</p> <p>(2)地域ぐるみで子育て支援 児童クラブ・放課後子ども教室などによる子育て支援にあたり、保護者・住民ボランティアが参加・協力している。また、「地域は大きな教室」をモットーに平成26年度から下久堅子ども応援隊が活動中。</p> <p>(3)道路整備 リニア・三遠南信自動車道の高速交通網に対応すべく、国道256号下久堅バイパス、(主)飯田富山佐久間線などの地区内幹線道路網整備に向けて取り組んでいる。</p> <p>(4)ツアー・オブ・ジャパン(TOJ) 南信州ステージへの支援と協力を行っている。</p>		
			
	<p>楮のたくり作業(ひさかた和紙)</p>		<p>放課後子ども教室</p>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>(1)公民館・自治振興センターがJA下久堅支所と併設されたことから、地域のコミュニティ強化と農業振興面から新たな連携や展開を期待している。</p> <p>(2) UIターン者の定住を支援するための住宅や農業技術支援者等の確保</p>		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容 ・ 条件	<p>・放課後子ども教室のボランティアスタッフ(平日の午後3時～6時の活動に参加可能な方)</p> <p>・地元高校生・飯田女子短期大学生の協力も歓迎します。</p> <p>・ひさかた和紙保存会活動への協力と会員増強</p>

(ふりがな)	かみひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	上久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	しおざわ かずし		
代表者氏名	会長 塩沢 一志		
ホームページ	http:// kamihisakata.sakura.ne.jp		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「住んでみたい 住み続けたい元気な郷“上久堅”」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1 従来の最重点課題『少子化対策』『高齢者健康対策』を実施。</p> <p>(1)『上久堅児童クラブ』事業 延長保育に代わる園児預かり事業を併設した児童クラブ事業の実施。市の協力により、実施場所を拡充</p> <p>(2) 将来の子育て支援をにらんだ検討 市政懇談会での協議、保護者等との協議を実施</p> <p>(3) 高齢者健康対策事業 ア 「食工房 十三の里」による高齢者向け配食サービスの支援 イ 高齢者健康対策 健康講演会、健康セミナー、常会健康教室、ウォーキング事業の実施 ウ 囲碁ボールリーグ戦の実施</p> <p>2 次期基本構想に向けた検討の実施</p> <p>(1) 飯田市のみらいデザイン2028の検討に合わせ、地域の次期基本構想に向けた検討を実施</p> <p>(2) 検討結果を小冊子にまとめ、新春フォーラムで発表</p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> 囲碁ボールリーグ </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> 新春フォーラム </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容・条件	

(ふりがな)	ちよちくまちづくりいいんかい		
名 称	千代地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かわて しげみつ		
代表者氏名	会 長 川手 重光		
ホームページ	http://chivo-x.jp 千代地区まちづくり委員会		
メールアドレス	chiyo@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>豊かな緑と果てなきロマン～千年の里 千代・千栄を紡ぐ～</p> <p>1 そこに住む人々が、心豊かに生き生きと暮らせる地域</p> <p>2 特有の魅力が醸し出され、地区内外の多くの人々による交流が活発な地域</p> <p>3 地域の力を結集して支え合い、前へ向かって歩もうとする活力に満ちた社会</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1 平成28年度重点事業</p> <p>①持続可能な地域づくりのため「健康で生涯現役」をめざし、地区の皆さんの健康づくりを支援する取り組み</p> <p>②合併50周年記念誌の刊行に向けた取り組み</p> <p>③三遠南信自動車道千代IC(仮称)供用に対する地域計画の策定</p> <p>④空き家を増やさないための研究</p> <p>2 特徴的な活動</p> <p>①棚田百選「よこね田んぼ」の保全管理、来訪者の増加に向けた研究</p> <p>②社会福祉法人しゃくなげの会と連携した「地域の子どもやお年寄り地域で守り、育てる」取組み</p>		
			
	『音楽と落語の宅配便』公演		「よこね田んぼ」稲刈り体験
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	「よこね田んぼ」保全活動の協働や助言		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	「よこね田んぼ」保全作業(草刈り・田植え・稲刈り等)

(ふりがな)	たつえちいきづくりいいんかい		
名 称	龍江地域づくり委員会		
(ふりがな)	いちのせ こうし		
代表者氏名	会長 一ノ瀬 孝司		
ホームページ	http://www.tatue.jp		
メールアドレス	tatue@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>誰もが住みたい地域 “みんなで創る 豊かで元気な 住みよい龍江”</p> <p>①人が行き交う和みの地域づくり「憩」 ②便利で豊で住みよい地域づくり「豊」 ③健康で生き活きと暮らせる地域づくり「活」 ④安全で安心して快適に暮らせる地域づくり「安」 ⑤思いやりを持って支え合う地域づくり「絆」</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>(1) 三遠南信自動車道、千代、天龍峡、龍江ICを生かした地区内アクセス道路の整備促進。土地利用計画の策定充実。空家の利用促進 (2) 天龍峡を核とした観光資源の開発。花の里構想の実施。地域の魅力の発掘 (3) 災害時助け合いマップの活用。日常的に助け合いが出来る土壌の醸成 (4) 社会教育活動を通じ、住民相互の信頼関係の構築、結びつきを高める (5) 「第3次龍江21構想」に基づき定住人口や交流人口、観光人口を増やす地域振興の在り方についての研究および積極的取り組み (6) 地域振興住宅建設の受け入れ (7) 出会いのプロデュースによる結婚支援 (8) 高齢者の生活支援 (9) 龍江ホームページの積極的活用</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>IJUターンの皆さんとの懇談会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>藻谷浩介氏による講演会</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域づくりに関する事であれば連携可		
ボランティア募集希望の有無・内容	なし	内容・条件	

(ふりがな)	たつおかちいきじちかい		
名 称	竜丘地域自治会		
(ふりがな)	くまがい かずみ		
代表者氏名	熊谷 和美		
ホームページ	http://tatuoka.nagano.jp		
メールアドレス	tatuoka@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>・竜丘地区基本構想(2014年度～2030年度)の将来像「ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり」を実現するための7つの「丘づくり」</p> <p>①住民の支え合いによる丘づくり ②地域資源の保全・活用、景観形成による丘づくり ③災害予防活動と豊かな人間関係による丘づくり ④歴史文化の活用で人材育成を進める丘づくり ⑤地域産業の振興と地域ぐるみ支援による丘づくり ⑥秩序ある適正な土地利用による丘づくり ⑦地域力の強化による丘づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>・基本構想を実現するための戦略として、「景観・環境」及び「教育文化」分野に重点的に取り組み、短期的、中・長期的な重点事業を実施することで「環境・文化地区」を目指している。</p> <p>【地域自治会による太陽光発電事業】 良好な景観づくりを目的として売電収益による再投資先として遊休農地を活用したガーデニング講習会、保育園園庭と長野原区民センター広場の一部へ芝生化の実証事業に取り組んだ。</p> <p>【天竜川鷺流峡環境美化活動推進事業】 「地域ぐるみによる不法投棄対策と景観美化活動の促進」を施策として位置づけ、名勝鷺流峡周辺の不法投棄をなくすため、事業者である天竜舟下り株と連携し、「天竜川鷺流峡復活プロジェクト」による竹林伐採・維持管理作業等による景観保全に努めながら、環境・教育・産業という視点で様々な事業を展開した。</p> <p>【環境家計簿の取り組み】 基本構想に基づき、環境委員が中心となって環境家計簿に取り組んでいる。課題となっているエネルギーの確保や地球温暖化に対応し、省エネルギーや省資源など環境に配慮した取り組みを具体化するため、今後は委員だけでなく、各家庭での取り組みを推進し、地域住民の環境意識を高めていくことを目指している。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	多くの企業、NPO等と連携を進め、地域の課題解決に取り組んでいきたい。		
ボランティア募集希望の有無・内容	内容・条件		



(ふりがな)	かわじまちづくりいいんかい		
名 称	川路まちづくり委員会		
(ふりがな)	よしかわ たけお		
代表者氏名	会長 吉川 武夫		
ホームページ			
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>地区キャッチコピー「不老長寿の郷 心も体も生き活きと」 地区目標 『豊かで活力ある安全安心な川路』 基本方針 1 住民協働による支え合い 2 産業振興と若者定住 3 安全安心・快適生活環境づくり 4 歴史文化と川路を思う心豊かな人づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>H23年度に策定した「地区目標・地区計画・土地利用計画」を踏まえた地区キャッチコピー「不老長寿の郷」を目ざし、3つの重点を中心に取り組んでいます。</p> <p>○活動指針 1 自立 自分達のことは、出来る限り自分達の力で！ 2 共助 共に助け合う気持ちを大切に！ 3 親睦 お隣近所・地域の人々との絆を深め！ 4 環境 住みよい環境づくり、皆で考え協力しよう！</p> <p>○重点取組 1 各区並びに委員会・部会活動で住みよい川路を実現 ・小・中学校周辺の竹林伐採 ・バイパスの植栽帯景観保全 ・心と体の健康づくり講演会 2 組織及び事業の見直し ・まちづくり委員会組織及び事業の見直し 3 子育て支援 子供達は地域の宝、環境を整える。 ・延長・未満児保育実現への取組み</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ウォーキング講座</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小・中学校周辺の竹林伐採</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>心と体の健康づくり講演会</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が行う経済活動 ・地域が行う子育て活動 ・地域が行う環境活動 		
ボランティア募集希望の有無・内容	今のところなし	内容・条件	

(ふりがな)	みほまちづくりいいんかい		
名 称	三穂まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう はら まさお		
代表者氏名	会 長 原 征雄		
ホームページ	http://iidamiho.wpblog.jp/		
メールアドレス	miho@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>自然とロマンの里 三穂 「子どもから高齢者まで 元気な声が響き渡り 活力あり 支え合い 心豊かな 人も自然も輝ける里」</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○地域資源の活用による活性化 地域資源を地域が認識し、活用・情報発信により地域の活性化に繋げる。 <input type="checkbox"/>ふるさとめぐり三穂 三穂小学校との共催により地区内の文化財や名所などを2つのコースでウォーキング。地域の歴史を学ぶと共に大人と子どもたちのふれあいの機会にもなっている。また、本年度は、成人式実行委員会の皆さんも参加。地域での思い出を振り返りながら地域を巡った。 <input type="checkbox"/>小笠原書院「神無月の宴」 地域の文化財を利用した2回目の落語会を開催。伝統芸能と貴重な文化財を融合して地域内外の方に情報発信する機会としている。</p> <p>○地域間交流 阪神淡路大震災を契機に始まった神戸真陽地区との地域間交流。交流20年を記念し、互いの地域でのイベントで交流の継続を確認すると共に、災害時の相互支援協定も締結した。</p>		
	 <p>ふるさとめぐり</p>  <p>交流20周年ペナント</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	やまもとちいきづくりいいんかい		
名 称	山本地区づくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう なかじま ゆうぞう		
代表者氏名	会長 中 島 雄 三		
ホームページ			
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「美しく、心豊かに、集うさと 山本」 この言葉を旗印に、地区内外を問わず、全ての人々が楽しめる地域、住んでよかった、来てみてよかったと言われる地域を皆で創出する。 ＜10の地域づくり目標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土地を活用した住みよい地域づくり ○自然が豊かで潤いのある地域づくり ○思いやり支え合う地域づくり ○安全に暮らせる地域づくり ○文化や歴史・スポーツに親しむ地域づくり ○地域自治の推進と交流の地域づくり ○拠点が整備された地域づくり ○産業の発展する地域づくり ○健康で快適な地域づくり ○ひとが育つ地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【杵原学校での物品販売】 杵原学校に来られる観光客(ツアー客)への物品販売を商工会議所山本支部が開始。</p> <p>【飯田山本おひさま広場の整備】 トイレが完成し長時間安心して過ごせる事が可能となり、また、バーコラに屋根を敷設し快適に利用できるよう整備している。</p> <p>【山本地区基本構想見直し】 飯田市次期総合計画、アンケート調査結果等により、他地区方が「住んでみたい」、地区の方が「住み続けたい」地区を目指す事、2028年(平成40年)の山本地区の目標人口達成に向けた個性ある取り組みについて明記した。</p> <p>【山本小学校屋根への太陽光設置の申請】 花の木山本小学校太陽光発電事業として、山本小学校屋根への太陽光パネル設置について承認されました。山本地区内では、山本おひさま広場、杵原学校多目的ホール久米会館、さくら保育園久米分園に続く設置を目指しています。また、山本公民館の屋根にも太陽光パネル設置の予定で進んでいます。</p> <p>【伝統文化】 平成28年3月に、「山本七久里神社の秋季祭典」を映した写真が、内閣官房・内閣府主催の「伊勢志摩サミット「世界に届けたい日本」フォトコンテスト」カルチャー部門において、内閣総理大臣賞を受賞し、世界に発信されました。</p>		
	 <p>〈杵原学校での物品販売〉</p>		
	 <p>〈バーコラに屋根を敷設〉</p>		
	 <p>〈山本七久里神社の秋季祭典〉</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容条件	

(ふりがな)	いがらまちづくりきょうぎかい		
名 称	伊賀良まちづくり協議会		
(ふりがな)	はしべ ひでお		
代表者氏名	橋部 秀夫		
ホームページ			
メールアドレス	igara@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>伊賀良地区基本構想(2011～2020)「緑輝き、人と文化が行き交うまち 伊賀良」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人に自然に優しい土地利用 2 誰もが安心して暮らせる地域づくり 3 自然を大切にし、「地の利」を生かした産業づくり 4 香り高い文化の創造 5 心が通い合う地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【西部山麓活用推進事業】 自然に恵まれた西部山麓一帯を、市民に親しまれる憩いの場、観光客を呼べる資源として地区民の手により整備を進めている。 ・西部山麓フェスティバルの開催(28年度は雨天により中止) ・沢城湖周辺の手入れと清掃作業</p> <p>【ふれあい広場事業】 健康福祉委員会が中心となって地区内健康福祉団体が一堂に会し、高齢者、子供、障がい者等住民相互の交流を目的に開催するイベント。</p> <p>【ひまわり子ども委員会事業】 「子育てを地域で支援していこう」という趣旨で、地域自治組織発足時から独立した委員会として設置。20歳未満を対象に子育て支援事業を展開している。 ・乳幼児学級 ・ミニキャンプ ・スポーツ大会、かるた大会 ほか</p> <p>【青色回転灯搭載車パトロール事業】 まちづくり協議会が導入した青色回転灯搭載車を活用し、地域住民の安全を守るため迅速できめ細かい広報・啓発活動及びパトロール活動を展開している。</p> <p>【あいさつ運動】 「あいさつ・声かけ運動に取り組むことにより、地域の連帯感を強め、思いやりの心を醸成するとともに、不審者の入りづらい安全で住みやすい地域をつくるための事業。 ・7月と10月を強調月間とし、組合ごとに小学生、中学生、通勤者に「あいさつ・声かけ」を行っている。</p> <p>【アップルロードのりんご並木事業】 飯田の玄関口「飯田IC」周辺に植えられたりんごの木を「人と道にやさしく」を合い言葉に、地域を挙げて大切に守り育てている。この活動には伊賀良小学校の児童も参加し、毎年全校生徒による収穫、そして「収穫祭」も開催している。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容・条件		



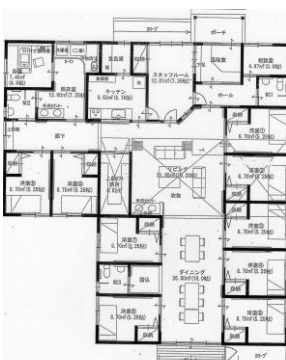


(ふりがな)	かなえちくまちづくりいいんかい		
名 称	鼎地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう みずぐち よしあき		
代表者氏名	会長 水口 芳昭		
ホームページ			
メールアドレス	kanae@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>『豊かで 潤いある 元気な 鼎』 ～かなえよう 住みよいまち かなえたい 心安らぐまち～</p> <p>【行動理念】 私たちは、飯田市の一員として、飯田市のまちづくりの基本にある『自然と文化の調和と地球環境保全』『自主自立の精神と多様性』を念頭に、自分たちの地域を自分たちの力や考えで、『住み続けたいまちづくり』のためにまちづくり委員会が中心になって行動していきます。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【鼎地区パワーアップ事業】 鼎地区では、特色ある地域づくりや人づくりを推進するため、地区独自の『パワーアップ事業』を実施しています。自主グループの活動や事業、まちづくり委員会で実施しがたい事業などに毎年助成しています。また、各区で所蔵する美術工芸品の修復や祭り関連事業の備品の整備等についても助成を行っています。平成28年度は8団体に約130万円を助成する予定です。</p> <p>【公立保育園・幼稚園の統合民営化】 鼎東保育園と鼎幼稚園の統合民営化による経営移管が平成29年4月に決定し、移管を円滑に行い、より良い保育園にするため、今年度から四者懇談会を設置して協議を重ねています。 両園では民営化に向けた引継ぎ保育が実施されており、平成29年4月から現在の鼎幼稚園の園舎を利用して「鼎あかり保育園」がスタートします。また、建設用地の取得、新保育園の園舎建設にも取り掛かります。</p> <p>【公民館事業】 鼎公民館では、乳幼児学級、夏休み中の「かなえっこどっきどきスクール」、地育力向上講座ふるさと再発見「ずんずんず～ん隊」、子を持つ親のための「すくすくの樹」、「おとなのBUKATU」など、子育てに対する多彩な活動を行っており、未来を背負う若者の育成のため鼎地区成人式も大切にしています。また、体育や文化事業を通じて地域の活性化に努めています。</p>		
	 <p>かなえっこどっきどきスクール</p>		 <p>成人式で誰でも踊れる『鼎の花』を皆で演舞</p>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容・条件	


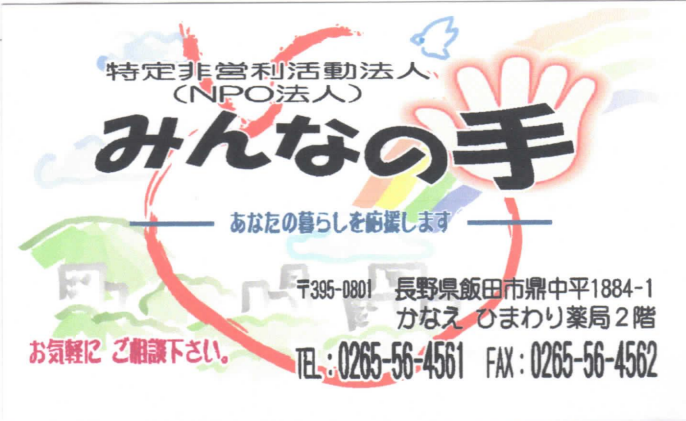
(ふりがな)	かみさとちいきまちづくりいいんかい		
名 称	上郷地域まちづくり委員会		
(ふりがな)	やまだ まさし		
代表者氏名	山田 雅士		
ホームページ			
メールアドレス	kamisato@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「地域で育み支え合う 個性と魅力を生かした 活力ある未来を切り開く 新たな上郷地域の創造と挑戦」</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 リニア中央新幹線の建設及びリニア駅周辺整備並びにリニア関連道路整備について、JR東海及び行政機関に対し早期の情報提供及び誠実丁寧な対応、生活環境等への影響を極力回避、低減するため、地域全体で取り組みます。 2 上郷地域まちづくり拠点施設の建設に向け、具体的な検討を市と協議し進めます。 3 上郷なかよし保育園新園舎の建設と周辺整備を市及び園と協議し推進します。 4 リニア駅周辺整備、リニア関連道路整備に係る土地利用、景観について、地域独自のルールの定着を図るとともに、適正な用途地域の指定や見直しの検討を進めます 5 野底山森林公園については、まちづくり委員会、管理人、モーリーの森応援隊が連携して管理運営するとともに、リニア時代を見据えた地域密着型の公園づくりを進めます。 6 組合加入に向け、加入しやすい環境の整備の検討し、全員参加で生まれる理想の地域づくりを推進します。 7 役員会及び各委員会は他の委員会及び各種団体等と相互に連携を図りながら、具体的かつ計画的に施策を展開し、進行管理します。 		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容・条件		

(ふりがな)	かみむらまちづくりいいんかい		
名 称	上村まちづくり委員会		
(ふりがな)	きたざわ りょうたろう		
代表者氏名	北澤 良太郎		
ホームページ			
メールアドレス	kamisoumu@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	上村振興計画 「環境・伝統文化・人々がかがやく上村」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【平成28年度重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小沢川小水力発電事業実現に向けた取組 小水力事業の事業主体となる会社(まちづくり全額出資)を設立し、発電事業の実現に向け新たな一歩を踏み出した。 ○霜月祭伝承に向けた取組 小学生による横笛の練習、地区外からの応援団の受入等を行っている。 ○地域環境美化事業(アマゴの稚魚の放流事業) 環境保全教育の一環で、小学生による上村川へヤマメの稚魚を放流。故郷のきれいな川を保全していく取組を行った。 ○若い衆で地域を語らまいか！の活動支援 運動会・文化祭等に、若者が積極的に参加できる葉の提供、支援を実施。 ○地域防災力の強化(避難所運営ゲーム) 避難所の運営体験ゲームを役員を対象に実施。秋の地震総合防災訓練では各地区住民の参加により実施し、実践的な訓練を行うことができた。 		
	 <p style="text-align: center;">避難所運営ゲームの様</p>		 <p style="text-align: center;">若者によるハンドマッサージ(文化</p>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 ・ 条件	

(ふりがな)	みなみしなの まちづくり いいんかい		
名 称	南信濃まちづくり委員会		
(ふりがな)	たまおき よういち		
代表者氏名	会長 玉 置 洋 一		
ホームページ			
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>地域づくりの7つの目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 住みたい、住み続けたい郷づくり 2 快適に暮らせる郷づくり 3 南信濃らしさを活かした産業の郷づくり 4 安心安全に暮らせる郷づくり 5 豊かな自然と共生する郷づくり 6 誰もが健やかに暮らせる健康と福祉の郷づくり 7 学びあい、文化を守る郷づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1. 平成28年度重点事業</p> <p>①秋葉街道下市場トンネル開通前イベント 11月19日(土)国道152号秋葉街道下市場トンネル開通記念事業として、中央構造線ウォーキング・中央構造線講演会・遠山郷の郷土食まつり・伝統芸能の鑑賞会を実施しました。</p> <p>②秋葉街道下市場トンネル開通式 12月17日(土)国道152号和田バイパス全線開通を祝い、開通式を開催しました。</p> <p>③まちづくり委員会専門委員会委員定数削減 合併10年を経過し、約2,000千人の人口が約1500人まで減少したことで、各区からの役員選出が厳しくなっており、委員定数の削減を求める意見が出ていたため、総務委員会にて協議検討し、地域振興委員会にて承認となった。</p>		
			
	<p style="text-align: center;">秋葉街道下市場トンネル開通前イベント</p>		<p style="text-align: center;">国道152号和田バイパス開通式</p>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容・条件	

(ふりがな) 団体名称	とくていひえいりかつどうほうじん あやめ 特定非営利活動法人 あやめ	
認証年月日	平成16年 6月 18日	
(ふりがな) 代表者氏名	まきうち のぶおみ 牧内 信臣	
主な事務所の所在地	飯田市川路2682番地	
ホームページ		
主な活動分野	老人介護福祉(地域密着型通所介護・予防通所介護・総合事業A型・生きがいデイ・居宅介護支援)グループホームあやめ(平成29年3月中旬開所予定)	
活動内容	<p style="text-align: center;">特定非営利活動法人あやめ理念</p> <p>特定非営利活動法人あやめは多くの皆さんに支えられて誕生した発足の原点をしっかりと心に刻み、地域福祉の拠点として地域の人に愛され、信頼され、住み慣れた地域で最後までその人らしく住み続けられる地域づくりに貢献できる施設としての役割を果たして行く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、利用者様の尊厳を守ります 2、利用者様の個々の思いに寄り添い利用者様のたくさんの笑顔を受け取るように努めます 3、地域やご家族の支えになる施設を目指します 4、職員は生き生きと笑顔でサービスにあたります <p>NPO法人あやめは、今年で12年を迎えます。さろんあやめ(宅老所) 韮16年9月～・介護相談センターあやめ(居宅) 韮16年11月～・三穂のまめだに(宅老所) 韮25年10月～各事業所共に地域福祉の拠点として地元の方を中心にたくさん利用して頂いております。</p>	
PRしたいこと	<p style="text-align: center;">グループホームあやめ設立への思い</p> <p>あやめを最初に立ち上げた時の思いは「私達が年を取っても地元である川路で生き残りたい。地域の中で自分らしく生きて行きたい」そんな思いから始まりました。なかなか、多人数の施設に馴染めなかった利用者さんたちが、小規模の宅老所にやっとの思いで出てきてくれました。地元の馴染みのある利用者さんの繋がりや小規模ならではのきめの細かい対応で、少しずつ慣れていってくれました。しかし段々に、日中誰かの見守りが必要になります。利用日が増えると介護保険の費用では収まらなくなります。そして、夜間の介護負担も徐々に家族を圧迫しはじめます。自立している独居の方も、普段は大丈夫でも風邪をひいて体調を崩された時は、離れて暮らす家族も心配です。この人達をあやめでなんとかできないのか？馴染みのあるさろんあやめと同じ敷地で馴染みの利用者さんといつまでも交流できる場所があれば…そんな思いからグループホームの設立に至りました。</p> <p>地域の中に、さろんあやめ(通所)・介護相談センターあやめ(居宅)の近くにグループホーム(泊まり)の施設が出来る事で、継続した介護が受けられ、人々が安心して生活できる地域の福祉の拠点としての施設を目指します。</p> <p>.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造、平屋 ・敷地 441, 71㎡ ・全室個室(エアコン完備) ・定員 9名 ・建物 243, 46㎡(73, 5坪) ・リフト介護浴槽あり <p>.....</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	個人・団体を問わず、是非連絡下さい。宜しくお願いします。 <p style="text-align: center; font-size: 2em;">- 114 -</p>

(ふりがな)	ちゅうごくきこくしゃとうのためのかいご・ふくしのかいにいはお		
団体名称	中国帰国者等のための介護・福祉の会ニイハオ		
認証年月日	2004年12月27日		
(ふりがな)	くまがい かふね		
代表者氏名	熊谷 加舟		
主な事務所の所在地	長野県飯田市鼎切石4080-1		
ホームページ			
主な活動分野	保健、医療又は福祉の推進を図る活動		
活動内容	<p>中国帰国者等に対して、介護や福祉に関する事業を行い、誰もが安心して生活できる地域づくりに寄与することを目的とする。</p> <p>①中国帰国者等への生活福祉相談 ②中国語を話す医療・介護福祉支援者の養成と派遣 ③中国帰国者等への介護事業の提供 ④中国社会と日本社会との国際交流</p> <p>みんなで作った餃子他中国料理 写真は手作り餃子や中国風サラダが並ぶ食卓</p>		
PRしたいこと	<p>鼎切石で運営している「宅老所ふれあい街道ニイハオは一般のディサービスですが中国帰国者を積極的に受け入れています。現在30人余りの方がご利用されていますが、うち7割近くの方が満豪開拓団として旧満州で幼少を過ごし、幾多の苦難の末、帰国された本人あるいは親族の人達です。介護サービス提供はもとより高齢となられた帰国者仲間の憩いの場となっています。餃子づくり、歌、踊りなどの交流会も行っています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	中国残留孤児援護基金／中国帰国者支援交流センター 日中友好協会 長野県日本中国交流協会		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん みんなのて		
団体名称	特定非営利活動法人 みんなの手		
認証年月日	平成17年8月19日		
(ふりがな)	くまがい げんしゅ		
代表者氏名	熊谷 元守		
主な事務所の所在地	飯田市鼎中平1884-1		
ホームページ			
主な活動分野	保険 医療 福祉		
活動内容	<p>高齢者を始めとする地域の多くの人達に対して移送介助サービス ホームヘルプサービス、家族支援サービス 子育て支援サービスなどに関する事業を行い、地域福祉の向上と住みやすいまちづくりに寄与することを目的として活動しています。</p> 		
PRしたいこと	<p>介護保険ではサービスを受けられない多くの方々への生活支援です。 信頼と安心をモットーに地域福祉の向上と住みやすいまちづくりを目指して活動しています。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	介護事業所、地域包括支援センター等と連携して進めていきます。		
困っていること	利用者、ボランティア共に高齢化が目立ってきました。今後の課題です。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	どなたでも
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	75歳までの方 どなたでも



(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん はんいがくせいぼうはんたいさくしえんきょうかい		
団体名称	特定非営利活動法人 飯伊学生防犯対策支援協会		
認証年月日	2006年12月21日		
(ふりがな)	いわさき まさる		
代表者氏名	岩崎 愈		
主な事務所の所在地	〒395-0041 飯田市中央通り4丁目43番地 新星ビル4階		
ホームページ			
主な活動分野	○地域安全(子どもの安全・高齢者の特殊詐欺被害防止)		
活動内容	<p>○子どもの防犯意識高揚のためオリジナル防犯テキストの(小中学生用)作成配布</p> <p>○学校の安全対策として、防犯機器の寄贈、防犯器具の考案及び寄贈</p> <p>○防犯意識高揚のための防犯ポスター・防犯カレンダーの作成支援</p> <p>○防犯教室、防犯訓練の共同開催、通学路防犯パトロール</p> <p>○防犯意識高揚のためのDVDの作成並びに配布</p>		
PRLしたいこと	<p>○子ども達を犯罪から守るためには、子ども達に対する防犯教育を徹底するとともに、子ども達が自ら「自分の身体は、自分で守る」ことが最も大切であると考え、「イカのおすし」の普及に努めている。</p> <p>○高齢者が自分の財産は自分で守り、特殊詐欺にあわないための「イカのおすしと5つの約束」の普及に努めている。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○子ども達を守る各種地域ボランティア団体等との連携・協力</p> <p>○高齢者が特殊詐欺に遭わないための各種ボランティア団体等との連携・協力</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	条件等		
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	条件等		



NPO法人様式

(ふりがな)	ななわのかい		
団体名称	特定非営利活動法人 七和の会		
認証年月日	平成20年 1月 22 日		
(ふりがな)	かわてとしあき		
代表者氏名	川手利明		
主な事務所の所在地	飯田市龍江8810番地4		
ホームページ			
主な活動分野	・地域住民の福祉増進・不動産の有効利用による地域活性化・地域資源の掘り起こしによる、地域振興・会員相互の連携		
活動内容	<p>○よりあい処「ほたる」の運営(地域住民交流の場)</p> <p>○第10回ほたる祭りの開催 平成28年6月25日(土)</p> <p>○第9回きこの祭りの開催 平成28年10月16日(日)</p> <p>○農産物直売所の運営</p> <p>☆飯田女子短大生によるよさこいソーランの披露 ほたる祭りのひとコマ ⇒</p>		
PRしたいこと	<p>○27年1月オープンした よりあい処「ほたる」の運営、毎週土曜日に営業しておりますが、地域住民の憩いの場所として人気です。地元以外の方も多く来ていただいております。一度いかがですか</p> <p>○29年度もほたる祭り、きこの祭りを開催いたします。多くの人のご参加をお願いいたします。</p> <p>○産直の店は「ふれあい七話館」と称し毎週日曜日開店しています。地域の主婦を主体に新鮮な野菜類の販売活動をしています。</p> <p>☆市長、藻谷浩介講師との交流会 於 ほたる ⇒</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	ほたる祭りは平成24年度から龍江4区地域づくり委員会と共催しています。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	みなみしんしゅう ばいころじー きょうかい		
団体名称	NPO法人 南信州バイコロジー協会		
認証年月日	平成22年1月5日		
(ふりがな)	くまがい ひでお		
代表者氏名	熊谷 秀男		
主な事務所の所在地	飯田市龍江8558-1		
ホームページ			
主な活動分野	サイクルイベントの開催		
活動内容	<p>ツアーオブジャパン南信州ステージを毎年開催しています。サイクリスポートの愛好者を増やす活動として、天龍峡エンデューロ大会を4月に開催して地元を中心に100名の参加をいただいています。</p> 		
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん ともにあゆむかい		
団体名称	特定非営利活動法人 共に歩む会		
認証年月日	平成24年年9月3日		
(ふりがな)	りじ はら ゆみこ		
代表者氏名	理事 原 弓子		
主な事務所の所在地	飯田市羽場赤坂2021-50		
ホームページ	http://www.geocities.jp/habakakasaka/		
主な活動分野	1保険・医療・福祉 2社会教育 8人権・平和 9国際協力 15職業・雇用機会		
活動内容	<p>(1) 介護保険法に基づく居宅サービス事業 (2) 介護保険法に基づく介護予防サービス事業 (3) 介護保険法に基づく施設サービス事業 (4) 介護保険法に基づく居宅介護支援事業 (5) 介護保険法に基づく地域密着型サービス事業 (6) 介護保険法に基づく地域密着型介護予防サービス事業 (7) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業 (8) 国際協力事業 (9) 講師派遣・講演事業 (10) 視察・実習・研修受け入れ・ボランティア事業 (11) 高齢者、障害者、外国人等の医療・介護・福祉に関する事業</p> 		
PRしたいこと	<p>デイサービス、訪問介護の事業所を運営しています。</p> <p>デイサービスでは利用者様を家族のように迎えアットホームな雰囲気でご過ごしていただける地域に密着した施設です。利用者様一人ひとりに寄り添い、充実した一日を送っていただいております。</p> <p>訪問介護では、住み慣れた家での生活を続けられるように、お手伝いいたします。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	介護保険、障害福祉サービスの分野 中国帰国者に関すること 国際協力、国際理解に関すること 等		
困っていること	人材不足		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	(1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体 (2) 準会員 高齢者等この法人事業のサービスを受ける個人及び団体 (3) 賛助会員 この法人の運営を援助する個人及び団体
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	特になし

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん ひなた きょうせいほーむ ひなたぼっこ		
団体名称	特定非営利活動法人 ひなた 共生ホーム ひなたぼっこ		
認証年月日	H25年 7月 8日		
(ふりがな)	もりもと まゆみ		
代表者氏名	森本 真由美		
主な事務所の所在地	飯田市鼎名古熊1711		
ホームページ	なし		
主な活動分野	介護保険事業 自主事業(ニーズにできる限り答えていく)		
活動内容	<p>介護保険事業を中心に、自主事業を行いながら活動しています。来所後は好きな飲み物を淹れたり淹れてもらったりしながらの談笑が始まります。来所早々台所に入り、お米を研いでいただいたり、食材を準備したりした後にコーヒーを一杯などという姿も見られます。自分達のお昼は自分達で作ります。手慣れた手つきで包丁を使う方もあれば、食材の入っている袋を破いたり、野菜をちぎったりという方もあります。力のある男性には、荷物を運んだり、洗剤を小分けにいただくこともあれば、手芸や事務的なことや掃除的なことも行っています。</p> <p>職員は何か行おうとする時、「これは利用者と一緒に出来ないかな？」とまず考えます。どんなことでも一緒に行うことで、まだまだできることはたくさんあります。そこを活動として行っています。また外出の機会も設けています。近い所、遠い所、観覧やドライブ、イベント参加などなど…行きたい場所があれば出かけていきます。</p> <p>宅老所の良さを生かし、制度にのりながら、自由さも生かしつつ、このような活動を行っています。</p>		
PRLしたいこと	<p>理念『人と人との繋がりを大切に絆なく集える共生の場となる』この理念を基本とし、利用する方も職員もその日を一緒に過ごす仲間として出かけることは行い、出きづらいことはお互いさま、で助け合いながら楽しくやっています。</p> <p>ひなたぼっこはどこともが居場所。居間も静養室もお風呂場も。台所や外だってそのひとつ。それぞれが居たい場所でやりたいことを行い、ゆっくり且つ活動的に過ごしています。</p> <p>自由気ままな日々。</p> <p>どうぞいつでも見にいらして下さい。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>地域の連携がこれまで以上に必要となってくる今後。近隣の事業所でお互いに声をかけ合い、この地域のニーズを拾いあげ、話し合っていく機会を持って行けたらと思います。</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	利用者中心で考えて下さること。



(ふりがな)	えぬびーおーほうじんみなみしんしゅうくらぶ		
団体名称	NPO法人南信州クラブ		
認証年月日	平成26年 5月29日		
(ふりがな)	りじちょう おざわけん		
代表者氏名	理事長 小澤 健		
主な事務所の所在地	飯田市本町1-12		
ホームページ	http://www.minamishinshucjub.org		
主な活動分野	社会教育の推進・スポーツの振興・こどもの健全育成・観光の振興・中山間地域の振興		
活動内容	<p>ラグビーの一貫指導 女子ラグビーの普及・強化 柔道教室の開催 住民の健康増進 スポーツ施設開発 地域経済活性化 市民ボランティア育成 身障者スポーツの普及 東京五輪・パラリンピックキャンプ地誘致活動</p>  <p>今田平河川敷芝生化管理作業の様子</p>		
PRしたいこと	スポーツを通じたUターン・Iターンを促進し、定住による人口増への取り組みを始めました。まずは四大卒(女子)の就職先を探しています。皆で力を合わせこの取り組みを広げていきませんか？		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	上記と同じ。 ムトス関係団体のPRしたいことをまとめ、それをUターン及び県外学卒者のIターンの宣伝材料としたい。		
困っていること	若い指導者の育成		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	身障者スポーツに取り組みたい方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	各種イベント・災害ボランティア活動に関心のある方

(ふりがな)	みどりのそよかせ		
団体名称	緑のそよ風		
認証年月日	H27年 7月 21日		
(ふりがな)	はやし そうきち		
代表者氏名	林 宗吉		
主な事務所の所在地	飯田市龍江4299イ		
ホームページ			
主な活動分野	芸術 福祉		
活動内容	<p>保育園・小学校・老人施設でのマリンバ演奏：年間約70回演奏をしております。内約50回はいわゆるボランティア演奏です。</p> <p>28.1.24 喬木村氏乗地区新年会アトラクション H28.2.29 日本禁煙友愛会鼎支部お楽しみ会 H28.4.30 Espressivo公演 友情出演 H28.6.12 飯田高校同窓会アトラクション H28.9.19 竜東Dサービス訪問 H28.11.5 東新町1丁目自治会高齢者慰安会 H28.10.30 高森町センテナリアン訪問 H28.12.9 座光寺児童センターX'mas会 他</p>		
PRしたいこと	<p>大型木琴のことをマリンバといいます。圧倒的な音量があり、ピアノよりも遠くに音が飛びますので音響機器は使わないで生の音を聴いて頂いています。マリンバから発生する木の音は癒やしの音です。</p> <p>連絡頂ければ(090-8138-5372,or 27-3020)出前演奏いたします。</p> <p>【交通費程度のご予算を用意して頂けると今後の活動に有り難いです。】</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	福祉団体等		
困っていること	大型3m、中型2m50cm、小型2mのものを所有しています。楽器が大きいので運搬が大変。いずれも13分割して運搬していますが、一緒に手伝ってくださる人がいると有り難いです。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	マリンバ運搬・組立を手伝っていただきたい。

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじんいいだぶるーべりーしんこうかい		
団体名称	特定非営利活動法人飯田ブルーベリー振興会		
認証年月日	H27年10月27日		
(ふりがな)	しみずみのる		
代表者氏名	清水 實		
主な事務所の所在地	飯田市川路1843-1		
ホームページ	「飯田ブルーベリー振興会」で検索		
主な活動分野	社会教育、科学技術		
活動内容	<p>ブルーベリー栽培体験教室を毎月1回行っています。</p> <p>1月17日 第1回剪定講習 2月21日 第2回剪定講習 3月20日 挿し木、苗の植付講習と土壌PH測定 4月19日 接ぎ木講習 5月15日 防鳥網の取り付け 6月19日 収穫体験、食味会 7月17日 挿し木の鉢上げ、緑枝挿し木講習 8月21日 収穫体験、食味会 9月17日 品種選択講習</p>		
PRしたいこと	<p>会員23名、畑で講習、実習をしたり、ブルーベリーを食べたりと、楽しく行っています。 懇親会も楽しく行っています。 いつでも会員を募集していますので、希望者はホームページから申込み、又は下記の連絡先までご連絡下さい。携帯電話080-5109-3652清水です。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	ブルーベリーに関する事で、地域づくり等の団体と連携できます。		
困っていること	特にありません。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	条件はありません。どなたでも歓迎します。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	加工、調理を指導して頂ける方。

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん おしゃべりさらだ		
団体名称	特定非営利活動法人 おしゃべりサラダ		
認証年月日	2016年 3月 1日		
(ふりがな)	まつむら ゆみこ		
代表者氏名	松村 由美子		
主な事務所の所在地	飯田市追手町2丁目630-8		
ホームページ	nposalad.com		
主な活動分野	1.2.3.8.10.11		
活動内容	<p>1. 地域子育て支援拠点事業という厚生労働省が勧める子育て支援の活動「つどいの広場」の運営をしています。</p> <p>◆「子育てサロンおしゃべりサラダ」、出張ひろば「おしゃべりポトフ」、そして指定管理者として「座光寺つどいの広場」を運営しています。妊婦さんから未就園児を持つご家庭に親子の居場所として利用していただけます。遊んだり、おしゃべりしたり…子育て講習会やお楽しみ会、子育て情報もあり、子育てアドバイザーに相談もできます。温かな笑顔のスタッフがお待ちしています。</p> <p>◆訪問活動「てとて」 妊娠期の不安、授乳や赤ちゃんがいる生活での不安等、家庭で孤独になりがちなママの不安を和らげるお手伝いとして、子育てアドバイザーや助産師がご自宅にお伺いします。お気軽にご連絡ください。</p> <p>2. 集団託児事業 イベントや行事時に集団託児をお引き受けします。ご家族が安心して行事に参加でき、お子さんも安心して楽しい時間が過ごせるよう、託児サポーターがお預かりします。</p>		
PRしたいこと	<p>ママ仲間で「いつでも行ける親子の居場所があったらいいね」とH14年に始めた「子育てサロンおしゃべりサラダ」の活動。ずっと任意の民間団体として活動を続け、2016年3月「NPO法人おしゃべりサラダ」として再スタートしました。親子を迎えるスタッフも子育て中のママたち。みんなの子育ても応援しながら活動しています。子育てが、ひとりだけで頑張る「孤育て」にならないよう、みんなで手と眼と心をかけあって、親子ともに育ちあえることを願っています。困った時に手を伸ばせば、手を添えてくれる人がいる安心、そして今度はあなたがその手を握ってあげる人に！そんな子育てを飯田で一緒にしたいですね。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	小学生・中学生・高齢者、地域の方々との交流		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	子育てを応援し、活動を応援して下さる賛助会員を募集しています。年間1口2000円
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	子育て家庭を温かく見守り、親子に楽しく関わってみたいという方の整備(草取り、剪定、雪かき等)のお手伝いをして下さる方



人と人が手をつないで活動の輪を広げていきます。そしてリンゴの形の輪に「多様な主体の協働によるまちづくり」の精神を込め、ムトス飯田のロゴマークをデザインしていきます。




ムトス飯田
ロゴマーク





～「ムトス」は 地域づくりの合言葉～

ムトス飯田



多様な主体の協働によるまちづくり ムトス飯田

飯田の語源とも言われる「結い」は、「多くの人の協力と役割分担により一つの事を成し遂げる仕組み」であり「協働」です。その前提には一人ひとりの「自立」が欠かせません。飯田のまちづくりの底流には、この長い歴史が息づいています。

●ムトスとは

「ムトス」とは、広辞苑の最末尾の言葉「んとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味であり、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は昭和57年「10万都市構想」において理想とする都市像の実現に向けての行動理念として「ムトス」を使用しました。平成19年4月1日施行の飯田市自治基本条例にもムトスの精神について謳われています。「ムトス」を地域づくりの合言葉に、私たち一人ひとりが持つ「愛する地域を想い、自分ができることからやってみよう」という自発的な意志や意欲により、具体的な行動で地域づくりをしていくことをめざします。

<p>■ムトス飯田表彰事業</p> <p>「ムトス飯田の精神を広めるために」という寄付を契機に、昭和60年度に創設されました。毎年、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰しています。</p>	<p>■ムトス飯田助成事業</p> <p>ムトス飯田推進委員会は、飯田市の交付金を財源に、団体や個人による独創的で波及効果のあるまちづくり活動に対して、助成をしています。</p>
<p>■ムトス飯田交流会・学習会</p> <p>市民協働や相互連携を築くことを目的に、毎年、多くの市民や団体等に呼びかけて、実践事例や課題などを語り合う交流会（または学習会）を開催しています。</p>	<p>■一般社団法人 ムトス飯田市民ファンド</p> <p>市内の特定非営利活動法人を対象に300万円まで「無利子の融資」（貸金業）をしています。</p>

ムトス飯田推進委員会

〒395-8501 飯田市大久保町 2534 飯田市役所内 電話 0265-22-4511

ムトス飯田30周年記念 2015.2作成

ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう！市民協働を推進します